

尼崎市 子どもの健やかな
育ちに関する市民意識調査
報告書

平成 18 年 11 月

尼 崎 市

目次

調査の概要	1
回答者の属性	2
子どもを取り巻く環境について	5
子どもの成長に関することについて	9
家庭や地域における子どもの育ちについて	34
子どもの人権について	48
子どもの健やかな育ちや地域社会のあり方について	62
自由記述	77
資料（調査票）	

調査の概要

1) 調査の目的

児童虐待など、子どもの人権侵害が大きな社会問題となり、次代の大人である子どもたちの健やかな育ちが、たいへん危ぶまれているなか、尼崎市では「尼崎市子どもに関する条例等検討委員会」を設置し、子どもの人権を尊重する視点から、子どもの健やかな育ちや、地域社会のあり方などに関して検討を進めている。本調査は、「尼崎市子どもに関する条例等検討委員会」における検討の基礎資料とすることを目的に実施した。

2) 調査の方法

- (1) 調査対象者 尼崎市在住の19歳以上の市民3000人(無作為抽出)
- (2) 調査方法 郵送による配布および回収。
- (3) 調査期間 平成18年7月15日～7月31日

3) 調査の内容

調査項目は以下のとおりである。ただし、本報告書で、「子ども」とは児童福祉法で定められた「18歳未満の全てのもの」をいう。

- ・子どもを取り巻く環境について
- ・子どもの成長に関することについて
- ・家庭や地域における子どもの育ちについて
- ・子どもの人権について
- ・子どもの健やかな育ちや地域社会のあり方について

4) 回収結果

回収結果は以下のとおりである。但し、有効回収数とは回収数から白票を除いたものである。

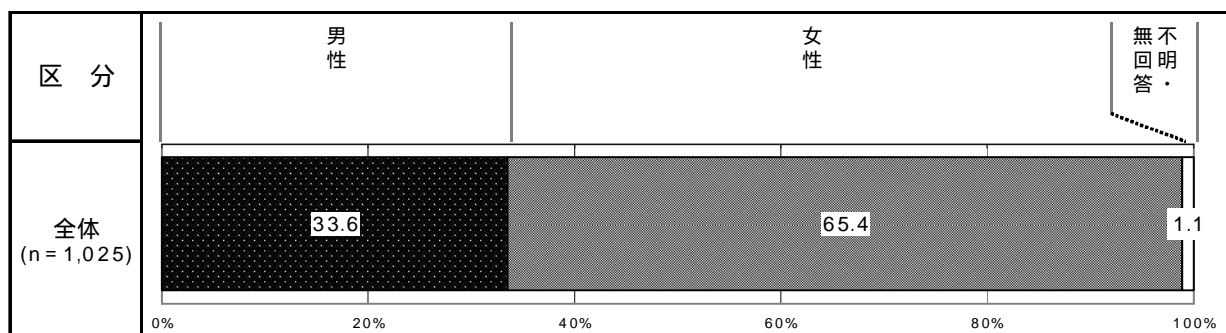
配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
3000	1026	34.2%	1025	34.2%

5) 調査データの表示

- ・グラフに付加されている「n」は質問に対する回答者数である。
- ・結果数値(%)は少数点第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならないことがある。
- ・複数回答の場合、回答者数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超える。
- ・クロス集計は、基本的には「性別」「年齢」「子どもの有無」「子どもの同居有無」をクロス項目として実施しているが、設問内容により、「子どもの属性」「地域における子どもとのかかわり」「共働きの有無」などのクロス項目を追加している。
- ・クロス集計の表内の「全体」には、各クロス項目の不明分(性別不明、年齢不明など)も含む。
- ・クロス集計の表内の網掛けは、単数回答の場合は最も値が高いもの、複数回答の場合は規定されている選択数内の上位のもの(例えば、「が5つまで」の場合は上位5項目)とする。また、選択数が規定されていない(「はいいくつでも」の)場合は、30%以上のものとする。

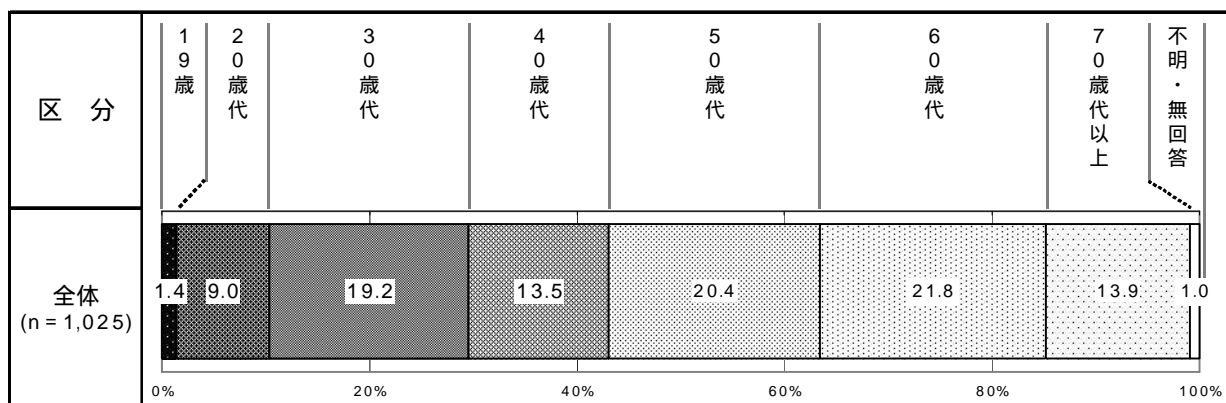
回答者の属性

1) 性別



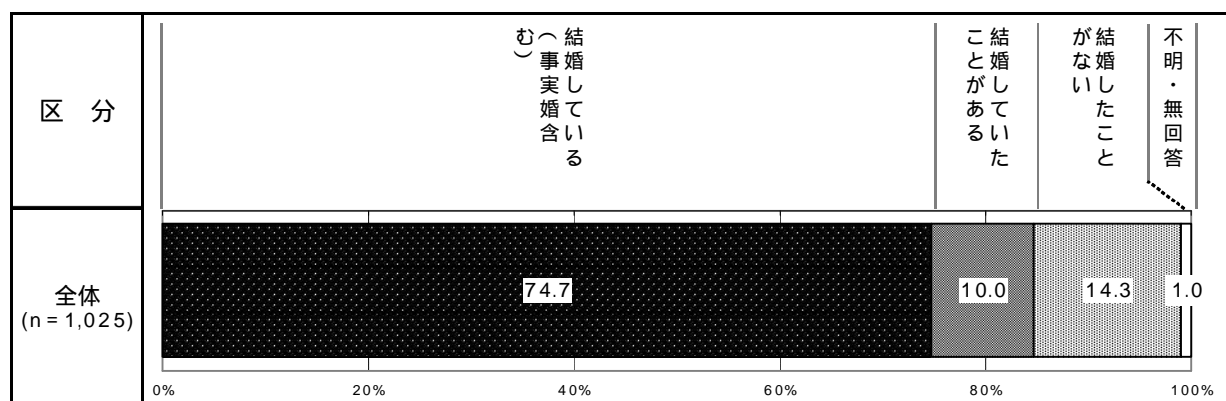
「女性」が65.4%、「男性」が33.6%となっている。

2) 年齢構成



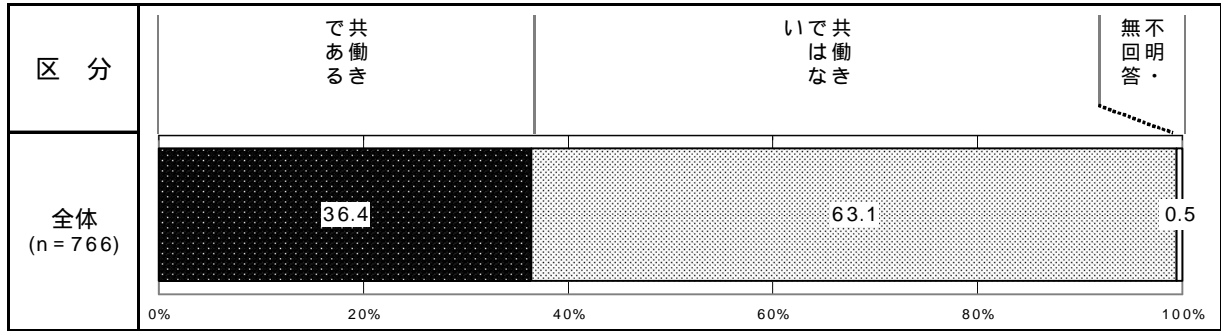
「60歳代」が21.8%で最も多く、「50歳代」(20.4%)、「30歳代」(19.2%)がつづいている。

3) 婚姻状況



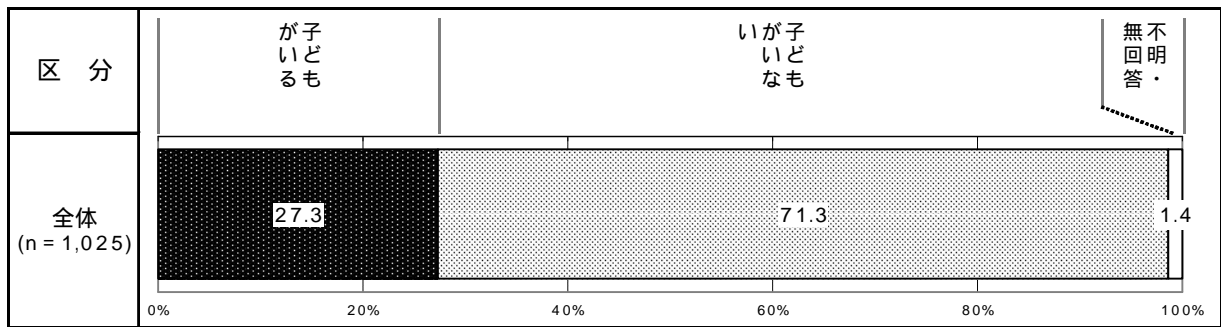
「結婚している(事実婚含む)」が74.7%で最も多く、「結婚したことがない」(14.3%)、「結婚していたことがある」(10.0%)がつづいている。

4) 共働き状況(「結婚している(事実婚を含む)」と答えた人)



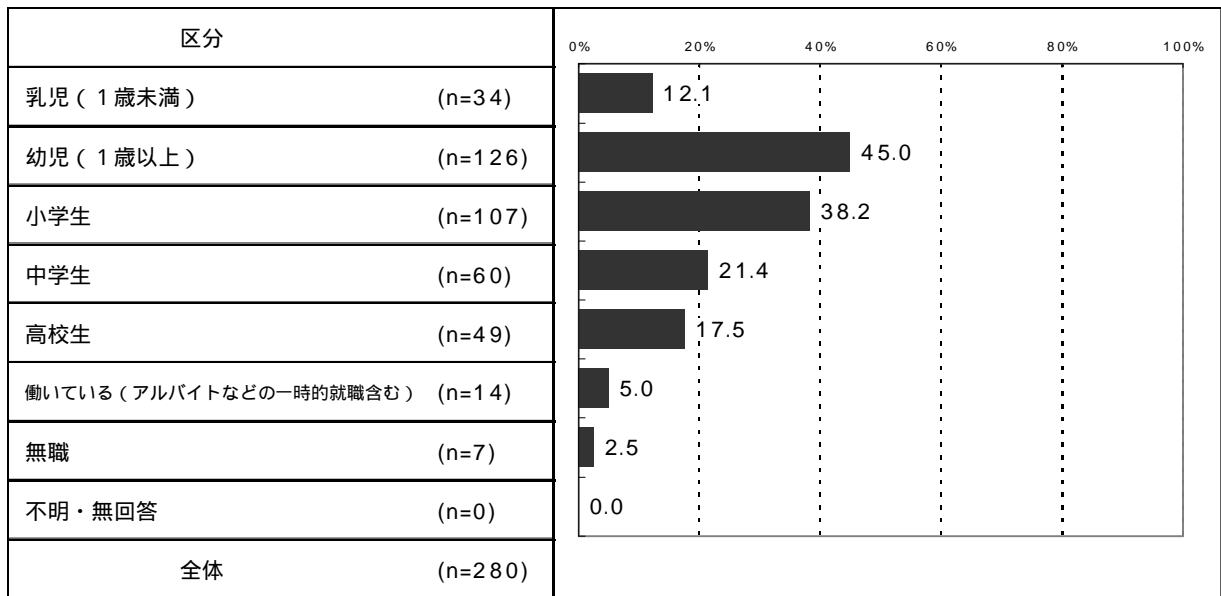
「共働きではない」が63.1%、「共働きである」が36.4%となっている。

5) 18歳未満の子どもの有無



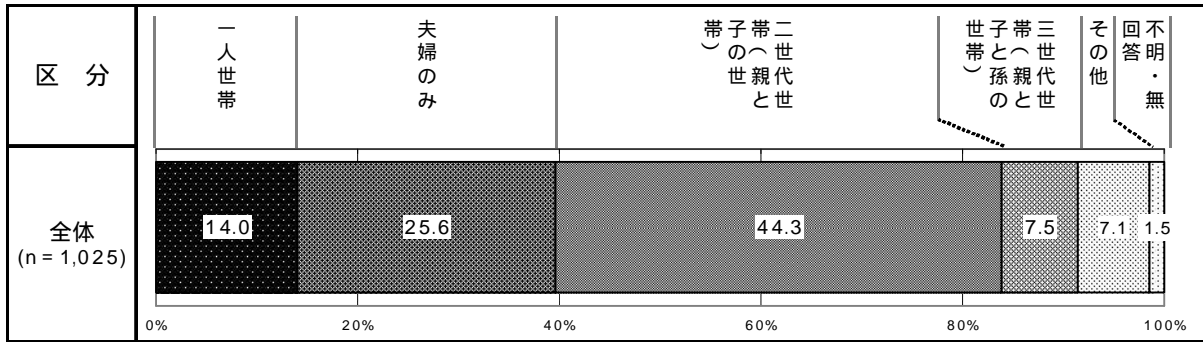
「子どもがいない」が71.3%、「子どもがいる」が27.3%となっている。

6) 5)の子どもの属性



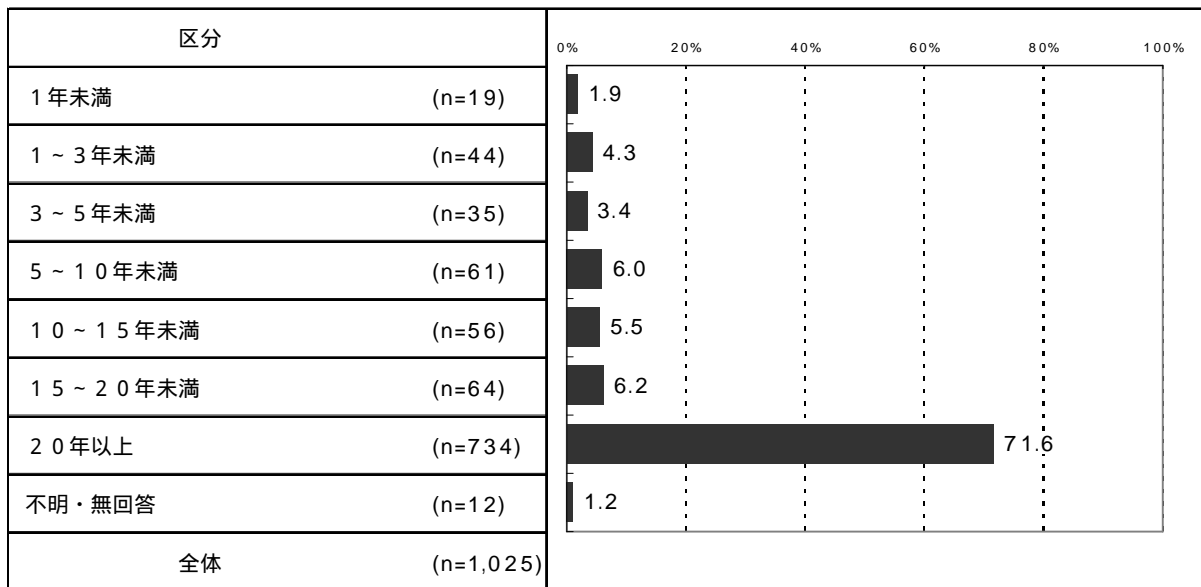
「幼児(1歳以上)」が45.0%で最も多く、「小学生」(38.2%)、「中学生」(21.4%)がつづいている。

7) 世帯構成



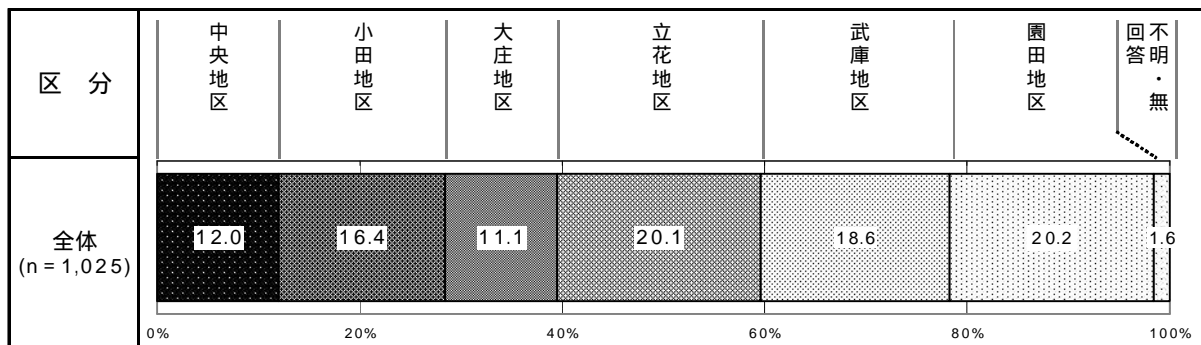
「二世帯世帯(親と子の世帯)」が44.3%で最も多く、「夫婦のみ」(25.6%)、「一人世帯」(14.0%)がづづいている。

8) 尼崎市における居住年数



「20年以上」が71.6%で最も多く、「15~20年未満」(6.2%)、「5~10年未満」(6.0%)がづづいている。

9) 居住地区

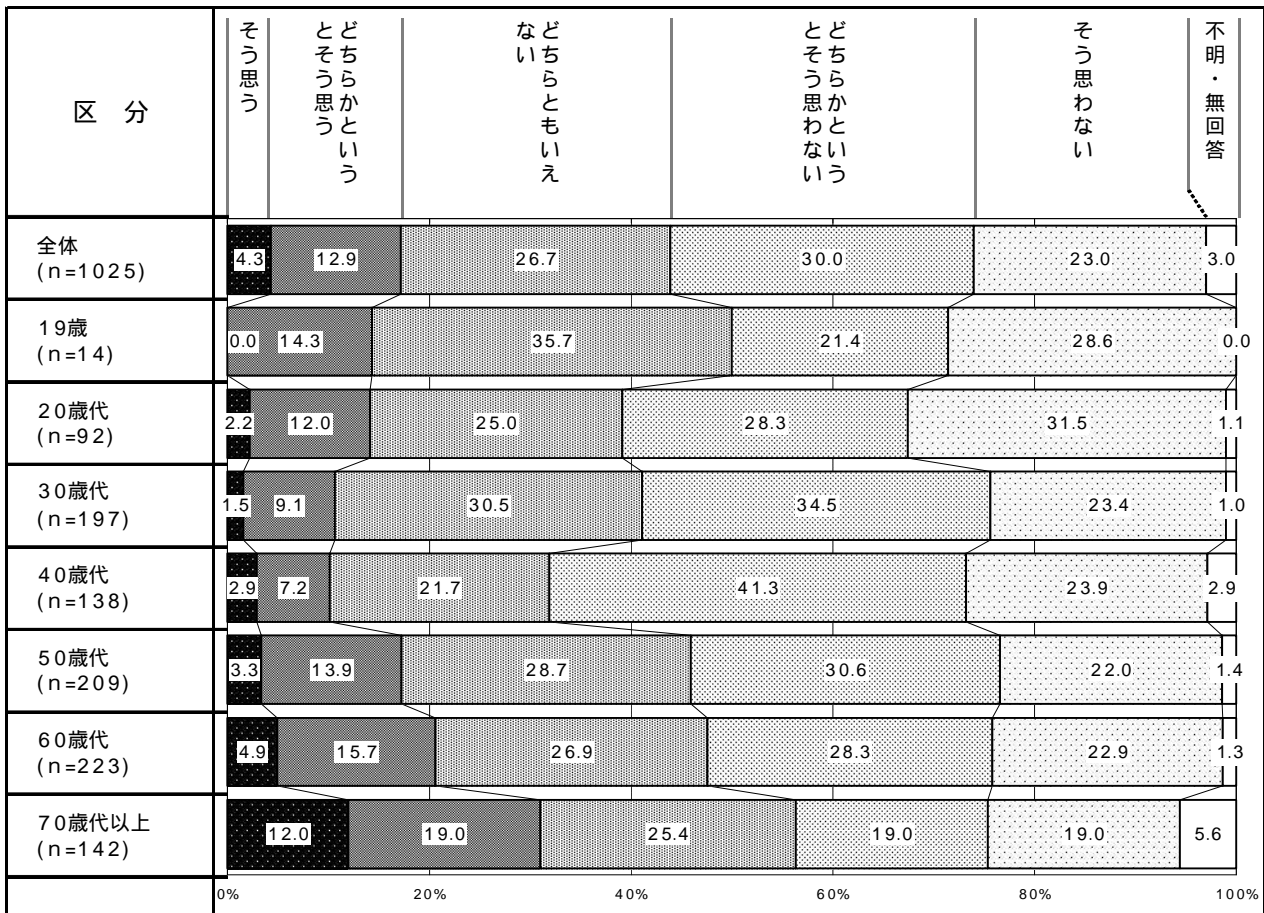


「園田地区」が20.2%で最も多く、「立花地区」(20.1%)、「武庫地区」(18.6%)がづづいている。

子どもを取り巻く環境について

問1 今の子どもたちには、健やかに育つ環境が整えられていると思いますか。(は1つ)

図：健やかに育つ環境が整えられていると思うかについて(全体・年齢別)



今の子どもたちには、健やかに育つ環境が整えられていると思うかについて、全体で見ると、「どちらかというと思わない」が30.0%で最も多く、「どちらともいえない」(26.7%)、「そう思わない」(23.0%)が続き、「そう思わない」、「どちらかというと思わない」と答えた人は、過半数を占めている。

年齢別にみると、「そう思わない」、「どちらかというと思わない」と答えた人は、40歳代までは年齢が高くなるに従って増加傾向にあるが、40歳代をピークにその後は減少に転じている。

一方、「そう思う」、「どちらかというと思う」と答えた人は、年齢が高くなるに従って増加傾向にあり、特に50歳代から大きく増加している。

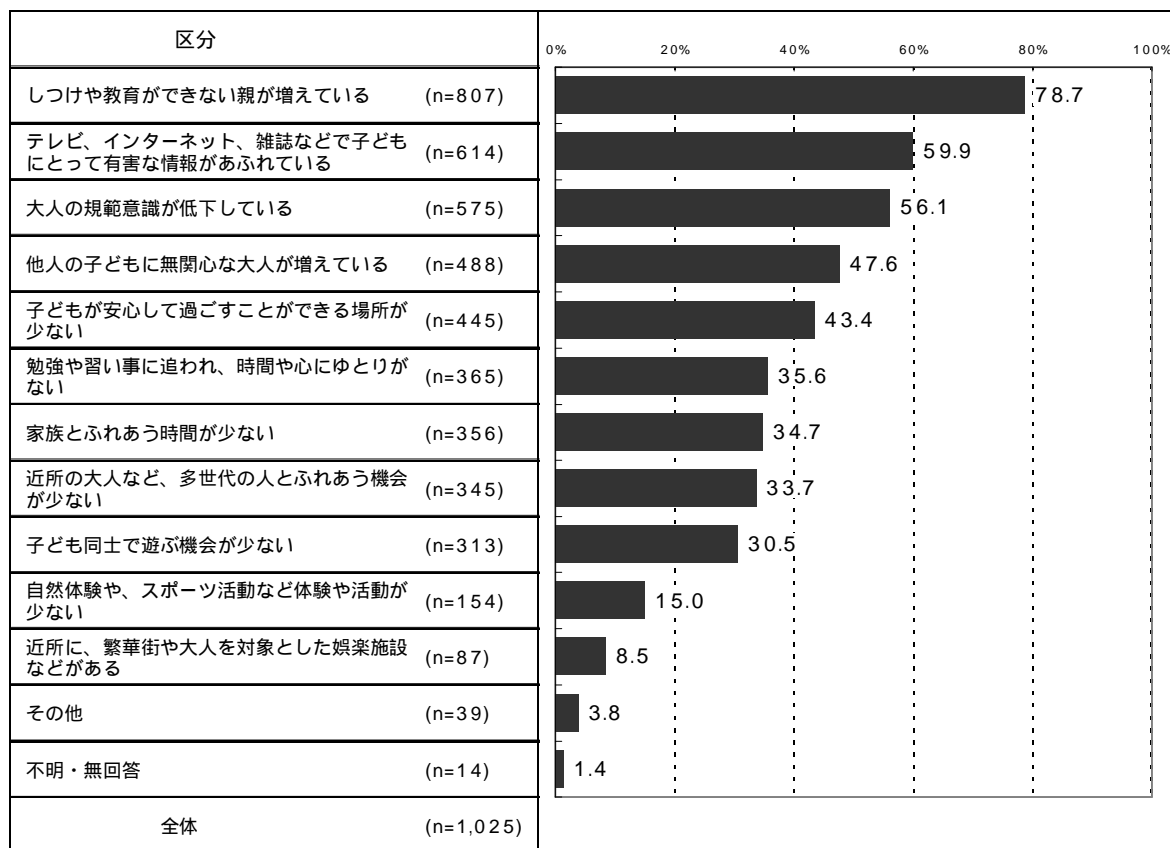
クロス表：健やかに育つ環境が整えられていると思うかについて
 (全体・性別・子どもの有無・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計(人)	そう思う	どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		1025	4.3	12.9	26.7	30.0	23.0	3.0
性別	男性	344	4.9	15.7	25.6	28.8	23.0	2.0
	女性	670	4.0	11.6	27.8	31.2	23.4	1.9
の子ども 有無	子どもがいる	280	0.4	10.4	27.5	36.8	23.9	1.1
	子どもがいない	731	5.9	14.1	26.7	27.8	23.1	2.5
の子ども 有無同居	同居している	229	0.4	10.5	26.2	38.4	23.6	0.9
	同居していない	51	0.0	9.8	33.3	29.4	25.5	2.0

問2 子どもの健やかな育ちに、良くない影響を及ぼすと思われることは何ですか。(は5つまで)

図：子どもの健やかな育ちに、良くない影響を及ぼすと思われること(全体)



子どもの健やかな育ちに、良くない影響を及ぼすと思われることについて、全体でみると、「しつけや教育ができない親が増えている」が78.7%で最も多く、「テレビ、インターネット、雑誌などで子どもにとって有害な情報があふれている」(59.9%)、「大人の規範意識が低下している」(56.1%)、「他人の子どもに無関心な大人が増えている」(47.6%)、「子どもが安心して過ごすことができる場所が少ない」(43.4%)がつづく。

クロス表：子どもの健やかな育ちに、良くない影響を及ぼすと思われること

(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無・地域における子どもとのかかわり)

(単位：%)

	合計(人)	家族とふれあう時間が少ない	しつけや教育ができない親が増えている	大人の規範意識が低下している	他人の子どもに無関心な大人が増えている	自然体験や、スポーツ活動など体験や活動が少ない	子ども同士で遊ぶ機会が少ない	近所の大人など、多世代の人とふれあう機会が少ない	テレビ、インターネット、雑誌などで子どもにとって有害な情報があふれている	近所に、繁華街や大人を対象とした娯楽施設などがある	勉強や習い事に追われ、時間や心にゆとりがない	子どもが安心して過ごすことができる場所が少ない	その他	不明・無回答	
全体	1025	34.7	78.7	56.1	47.6	15.0	30.5	33.7	59.9	8.5	35.6	43.4	3.8	1.4	
性別	男性	344	34.0	79.9	57.0	50.6	17.7	30.2	34.0	59.6	9.6	32.3	37.2	5.5	0.3
	女性	670	35.7	79.3	56.6	46.9	13.9	31.2	34.0	60.9	8.1	37.9	47.3	3.0	0.4
年齢別	19歳	14	71.4	78.6	50.0	50.0	21.4	7.1	42.9	57.1	14.3	21.4	28.6	14.3	0.0
	20歳代	92	45.7	71.7	60.9	44.6	19.6	15.2	38.0	53.3	10.9	31.5	47.8	6.5	0.0
	30歳代	197	31.0	68.5	59.4	32.5	19.8	22.3	28.9	51.3	13.2	27.9	60.9	4.6	0.5
	40歳代	138	32.6	73.9	54.3	45.7	14.5	31.9	30.4	52.2	6.5	39.9	53.6	3.6	0.7
	50歳代	209	31.6	84.7	58.4	48.8	12.9	30.6	32.5	64.1	7.7	39.7	41.1	2.4	0.5
	60歳代	223	37.7	84.3	52.0	57.4	14.3	38.1	40.4	63.7	6.3	40.4	31.4	3.1	0.0
	70歳以上	142	33.8	89.4	57.7	58.5	10.6	43.0	33.1	75.4	7.0	35.2	33.1	3.5	1.4
有も子無のど	子どもがいる	280	26.8	67.9	57.9	40.7	19.3	28.2	29.6	51.4	10.4	31.8	64.3	2.9	0.0
	子どもがいない	731	38.0	83.9	56.1	50.9	13.4	32.0	35.6	64.0	7.9	37.6	36.1	4.2	0.7
子どもの属性	乳児(1歳未満)	34	26.5	64.7	55.9	44.1	20.6	14.7	41.2	47.1	14.7	35.3	55.9	0.0	0.0
	幼児(1歳以上)	126	27.0	57.9	53.2	37.3	26.2	32.5	30.2	52.4	11.1	27.8	69.0	2.4	0.0
	小学生	107	23.4	68.2	57.9	39.3	15.9	29.9	24.3	50.5	5.6	30.8	74.8	2.8	0.0
	中学生	60	21.7	83.3	58.3	36.7	16.7	25.0	25.0	53.3	8.3	31.7	68.3	1.7	0.0
	高校生	49	22.4	75.5	59.2	49.0	14.3	28.6	30.6	55.1	8.2	36.7	53.1	2.0	0.0
	働いている	14	50.0	71.4	57.1	50.0	7.1	35.7	35.7	64.3	21.4	50.0	28.6	0.0	0.0
	無職	7	28.6	100.0	42.9	28.6	0.0	42.9	42.9	28.6	14.3	57.1	57.1	0.0	0.0
有無の同居子ども	同居している	229	25.3	67.2	58.5	41.5	19.7	27.9	29.3	51.1	9.2	31.9	63.8	3.1	0.0
	同居していない	51	33.3	70.6	54.9	37.3	17.6	29.4	31.4	52.9	15.7	31.4	66.7	2.0	0.0
地域における子どもとのかかわり	出会ったときは、あいさつをする	659	35.2	78.1	55.8	49.9	15.9	28.8	33.2	59.2	7.7	35.4	44.8	3.3	1.2
	出会ったときは、声をかけたり、話をする	357	37.8	79.6	56.9	53.2	16.5	33.1	37.0	64.4	6.2	33.9	42.3	3.9	0.8
	悪いことをしているところを見たときは、注意する	413	36.1	82.8	59.6	54.5	14.5	32.7	36.6	62.2	8.0	34.1	38.0	3.6	1.0
	良いことをしているところを見たときは、ほめる	331	36.0	82.2	57.7	56.8	14.5	33.2	36.9	62.2	8.5	36.6	39.3	3.6	1.5
	子どもが困ったときや悩んでいるときに相談にのっている	58	56.9	82.8	58.6	56.9	19.0	37.9	24.1	62.1	6.9	29.3	32.8	1.7	1.7
	子ども会などの地域活動や、スポーツ活動などを一緒にしている	63	33.3	73.0	57.1	44.4	19.0	25.4	31.7	49.2	3.2	28.6	52.4	7.9	3.2
	地域の子どものかかわりはない	200	35.5	79.0	56.5	39.5	14.5	32.0	35.0	58.0	11.0	38.0	43.5	4.5	1.0
	その他	18	38.9	83.3	50.0	38.9	5.6	38.9	38.9	44.4	11.1	38.9	44.4	16.7	0.0

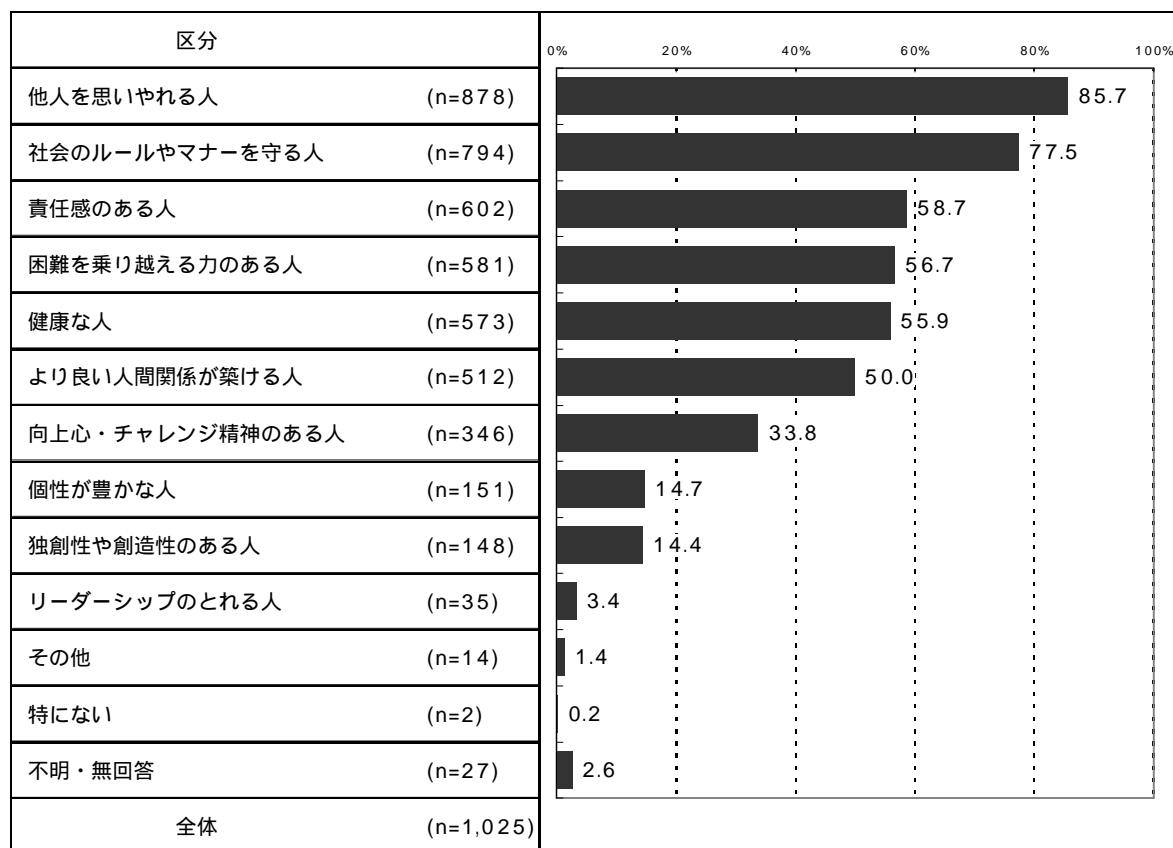
年齢別でみると、「自然体験や、スポーツ活動など体験や活動が少ない」や「近所に、繁華街や大人を対象とした娯楽施設がある」については、年齢が高くなるに従って減少傾向にある。一方、「子ども同士で遊ぶ機会が少ない」については、年齢が高くなるに従って増加傾向にある。

また、「子どもが安心して過ごすことができる場所が少ない」と答えた人は、30～40歳代に特に多く、18歳未満の子どもがいる人といない人を比べると、いる人の方が高い。

子どもの成長に関することについて

問3 子どもたちが、将来、どのような大人になることを望みますか。(は5つまで)

図：子どもたちに対して希望する将来の大人像（全体）



子どもたちに対して希望する将来の大人像については、「他人を思いやれる人」が85.7%で最も多く、「社会のルールやマナーを守る人」(77.5%)、「責任感のある人」(58.7%)、「困難を乗り越える力のある人」(56.7%)、「健康な人」(55.9%)がつづく。

クロス表：子どもたちに対して希望する将来の大人像

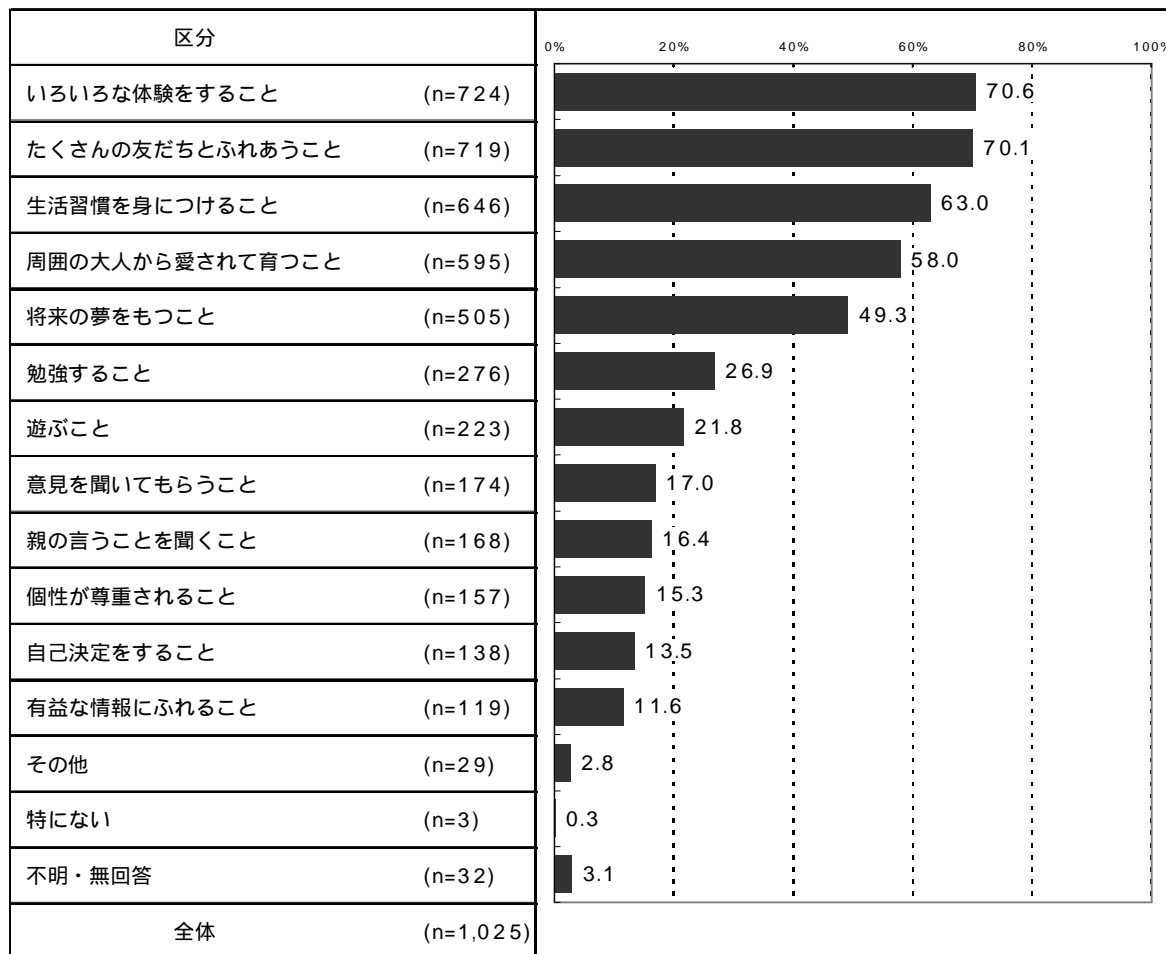
(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無・地域における子どもとのかかわり)

(単位：%)

		合計(人)	個性が豊かな人	向上心・チャレンジ精神のある人	独創性や創造性のある人	困難を乗り越える力のある人	健康な人	社会のルールやマナーを守る人	責任感のある人	より良い人間関係が築ける人	他人を思いやれる人	リーダーシップのとれる人	その他	特にない	不明・無回答
全体		1025	14.7	33.8	14.4	56.7	55.9	77.5	58.7	50.0	85.7	3.4	1.4	0.2	2.6
性別	男性	344	18.0	30.8	20.1	42.2	53.8	78.2	61.6	50.9	82.0	5.2	1.7	0.6	2.6
	女性	670	13.0	35.7	11.8	64.3	57.0	77.2	57.2	49.9	87.9	2.4	1.2	0.0	2.4
年齢別	19歳	14	7.1	35.7	7.1	21.4	71.4	85.7	57.1	42.9	85.7	7.1	0.0	0.0	7.1
	20歳代	92	14.1	47.8	13.0	55.4	56.5	76.1	43.5	52.2	87.0	2.2	3.3	1.1	2.2
	30歳代	197	9.6	39.1	9.6	64.0	55.3	75.1	49.2	47.7	90.4	1.5	1.5	0.0	2.0
	40歳代	138	10.9	31.9	15.9	58.0	52.2	74.6	61.6	53.6	86.2	3.6	2.2	0.0	2.9
	50歳代	209	13.9	35.9	18.7	48.3	50.7	79.4	57.4	53.1	86.6	3.8	1.4	0.5	2.9
	60歳代	223	21.5	30.9	17.0	57.0	58.3	76.2	63.7	46.2	80.3	4.0	0.0	0.0	3.1
	70歳以上	142	16.9	21.8	12.0	62.0	62.0	82.4	72.5	51.4	85.9	4.2	1.4	0.0	1.4
の子ども有無	子どもがいる	280	8.2	38.6	11.1	63.9	62.9	76.4	52.5	51.1	89.6	2.1	1.1	0.0	1.8
	子どもがいない	731	17.2	32.3	15.9	54.0	52.9	77.8	61.0	49.9	84.3	3.7	1.5	0.3	2.9
子どもの属性	乳児(1歳未満)	34	5.9	41.2	5.9	55.9	67.6	79.4	41.2	47.1	91.2	0.0	0.0	0.0	2.9
	幼児(1歳以上)	126	9.5	41.3	11.1	67.5	71.4	76.2	46.8	47.6	90.5	0.0	0.0	0.0	0.8
	小学生	107	5.6	35.5	9.3	72.0	56.1	73.8	55.1	52.3	91.6	1.9	2.8	0.0	1.9
	中学生	60	8.3	33.3	10.0	70.0	60.0	80.0	56.7	53.3	86.7	5.0	0.0	0.0	0.0
	高校生	49	10.2	49.0	10.2	51.0	63.3	75.5	63.3	40.8	85.7	6.1	0.0	0.0	4.1
	働いている	14	7.1	28.6	21.4	50.0	71.4	85.7	78.6	57.1	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	7	14.3	28.6	0.0	57.1	28.6	71.4	85.7	57.1	100.0	0.0	14.3	0.0	0.0
の子ども同居有無	同居している	229	7.9	41.9	9.6	62.9	62.4	76.0	52.0	51.5	88.6	2.2	1.3	0.0	2.2
	同居していない	51	9.8	23.5	17.6	68.6	64.7	78.4	54.9	49.0	94.1	2.0	0.0	0.0	0.0
地域における子どもとのかかわり	出会ったときは、あいさつをする	659	16.1	34.9	14.4	58.7	57.5	78.5	59.3	50.8	86.5	3.2	1.2	0.2	2.1
	出会ったときは、声をかけたり、話をする	357	14.6	32.2	14.6	62.5	56.0	78.2	63.9	49.9	87.7	4.5	2.0	0.0	3.4
	悪いことをしているところを見たときは、注意する	413	18.4	32.4	14.8	57.6	57.6	78.5	63.7	47.7	84.7	4.6	1.7	0.0	3.1
	良いことをしているところを見たときは、ほめる	331	18.1	30.2	15.7	59.5	60.4	80.1	64.0	47.7	86.1	4.5	1.8	0.0	2.1
	子どもが困ったときや悩んでいるときに相談にのっている	58	22.4	34.5	13.8	69.0	60.3	70.7	67.2	43.1	84.5	3.4	0.0	0.0	3.4
	子ども会などの地域活動や、スポーツ活動などを一緒にしている	63	19.0	34.9	17.5	63.5	50.8	76.2	68.3	47.6	81.0	4.8	1.6	0.0	1.6
	地域の子どものとはかわりはない	200	14.0	32.5	16.5	51.5	52.5	76.5	55.0	48.5	87.5	3.5	1.5	0.5	2.0
	その他	18	11.1	22.2	16.7	66.7	77.8	77.8	38.9	50.0	77.8	0.0	11.1	0.0	5.6

問4 問3で選んだような大人になるには、子どもたちにとって何が必要だと思いますか。(は5つまで)

図：希望する大人になるために子どもたちに必要だと思うこと（全体）



希望する大人になるために、子どもたちに必要だと思うことについて、全体でみると、「いろいろな体験をすること」が70.6%で最も多く、「たくさんの友だちとふれあうこと」(70.1%)、「生活習慣を身につけること」(63.0%)、「周囲の大人から愛されて育つこと」(58.0%)、「将来の夢をもつこと」(49.3%)がづく。

クロス表：希望する大人になるために子どもたちに必要だと思うこと

(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無・地域における子どもとのかかわり)

(単位：%)

		合計(人)	勉強すること	親の言うことを聞くこと	将来の夢をもつこと	生活習慣を身につけること	たぐさんの友だちとふれあうこと	意見を聞いてもらうこと	いろいろな体験をすること	自己決定をすること	遊ぶこと	周囲の大人から愛されて育つこと	個性が尊重されること	有益な情報にふれること	その他	特にない	不明・無回答
全体		1025	26.9	16.4	49.3	63.0	70.1	17.0	70.6	13.5	21.8	58.0	15.3	11.6	2.8	0.3	3.1
性別	男性	344	32.3	22.4	54.1	56.1	66.6	16.9	70.6	11.9	22.7	47.1	15.4	14.2	2.9	0.9	2.6
	女性	670	24.2	13.1	47.2	66.7	72.1	17.3	71.2	14.5	21.3	63.9	15.4	10.3	2.7	0.0	3.1
年齢別	19歳	14	14.3	0.0	35.7	35.7	64.3	21.4	85.7	28.6	35.7	28.6	35.7	7.1	14.3	0.0	7.1
	20歳代	92	22.8	10.9	34.8	50.0	69.6	19.6	76.1	21.7	33.7	68.5	14.1	9.8	5.4	1.1	2.2
	30歳代	197	21.8	8.6	41.6	58.9	69.5	15.7	77.7	16.8	27.4	72.6	11.7	6.6	2.5	0.0	2.0
	40歳代	138	32.6	11.6	44.2	58.7	73.2	16.7	74.6	15.9	19.6	59.4	17.4	10.1	4.3	0.7	2.9
	50歳代	209	22.0	12.0	50.2	68.9	69.9	17.2	74.2	11.0	23.9	54.1	14.8	13.4	2.4	0.5	2.9
	60歳代	223	30.5	20.6	56.5	73.5	68.6	16.1	65.9	7.6	17.0	52.5	15.7	13.9	0.9	0.0	3.6
	70歳以上	142	33.8	35.9	64.1	59.2	71.8	19.0	56.3	13.4	11.3	47.9	17.6	15.5	2.1	0.0	4.2
有無の子ども	子どもがいる	280	25.0	8.9	42.1	61.8	75.7	16.1	80.0	16.8	26.1	69.6	14.3	7.9	1.8	0.0	1.8
	子どもがいない	731	27.2	18.9	52.3	63.6	68.3	17.6	67.4	12.4	20.1	53.6	15.9	13.1	3.1	0.4	3.6
子どもの属性	乳児(1歳未満)	34	23.5	2.9	35.3	58.8	79.4	17.6	76.5	17.6	26.5	82.4	5.9	5.9	2.9	0.0	2.9
	幼児(1歳以上)	126	17.5	10.3	43.7	61.9	77.0	19.0	80.2	17.5	31.0	77.8	11.9	4.8	2.4	0.0	0.8
	小学生	107	29.9	12.1	42.1	59.8	78.5	15.9	80.4	15.9	25.2	67.3	13.1	4.7	0.9	0.0	1.9
	中学生	60	40.0	10.0	43.3	58.3	76.7	16.7	81.7	18.3	10.0	65.0	18.3	13.3	0.0	0.0	0.0
	高校生	49	28.6	6.1	40.8	75.5	67.3	8.2	87.8	14.3	18.4	59.2	22.4	8.2	0.0	0.0	4.1
	働いている	14	21.4	7.1	35.7	71.4	92.9	21.4	71.4	7.1	35.7	71.4	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	7	14.3	14.3	28.6	71.4	85.7	42.9	71.4	14.3	0.0	57.1	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0
有無の同居	同居している	229	25.3	9.6	45.0	62.4	77.3	14.4	81.2	16.6	25.3	69.0	12.2	7.9	2.2	0.0	2.2
	同居していない	51	23.5	5.9	29.4	58.8	68.6	23.5	74.5	17.6	29.4	72.5	23.5	7.8	0.0	0.0	0.0
地域における子どもとのかかわり	出会ったときは、あいさつをする	659	27.5	17.8	50.4	66.2	73.3	17.3	71.8	12.9	21.9	59.9	15.6	10.5	2.3	0.2	2.7
	出会ったときは、声をかけたり、話をする	357	26.9	19.6	55.7	66.4	74.2	16.2	70.9	14.3	21.6	58.0	16.0	12.3	2.8	0.0	3.9
	悪いことをしているところを見たときは、注意する	413	27.4	20.3	54.0	64.6	72.2	17.9	72.2	12.3	19.1	56.4	16.7	12.3	2.9	0.0	3.4
	良いことをしているところを見たときは、ほめる	331	29.3	20.2	55.6	68.9	76.1	16.9	68.0	11.8	19.0	58.6	17.5	14.5	2.7	0.0	2.4
	子どもが困ったときや悩んでいるときに相談にのっている	58	24.1	29.3	67.2	62.1	74.1	17.2	75.9	15.5	20.7	50.0	17.2	13.8	1.7	0.0	3.4
	子ども会などの地域活動や、スポーツ活動などを一緒にしている	63	28.6	25.4	54.0	65.1	68.3	19.0	73.0	19.0	22.2	60.3	11.1	4.8	3.2	0.0	1.6
地域の子どものとはかわりはない	200	28.0	11.0	44.5	57.5	66.0	16.0	69.0	16.0	26.0	55.5	15.5	14.0	4.5	1.0	2.0	
その他	18	33.3	16.7	33.3	61.1	66.7	27.8	61.1	5.6	11.1	66.7	11.1	16.7	16.7	0.0	5.6	

年齢別でみると、「いろいろな体験をすること」や「周囲の大人から愛されて育つこと」「遊ぶこと」については、20歳代以上は年齢が高くなるに従って減少傾向にある。

一方、「親の言うことを聞くこと」や「将来の夢をもつこと」「有益な情報にふれること」などについては、年齢が高くなるに従って増加傾向にある。

クロス表：希望する大人になるために子どもたちに必要だと思うこと

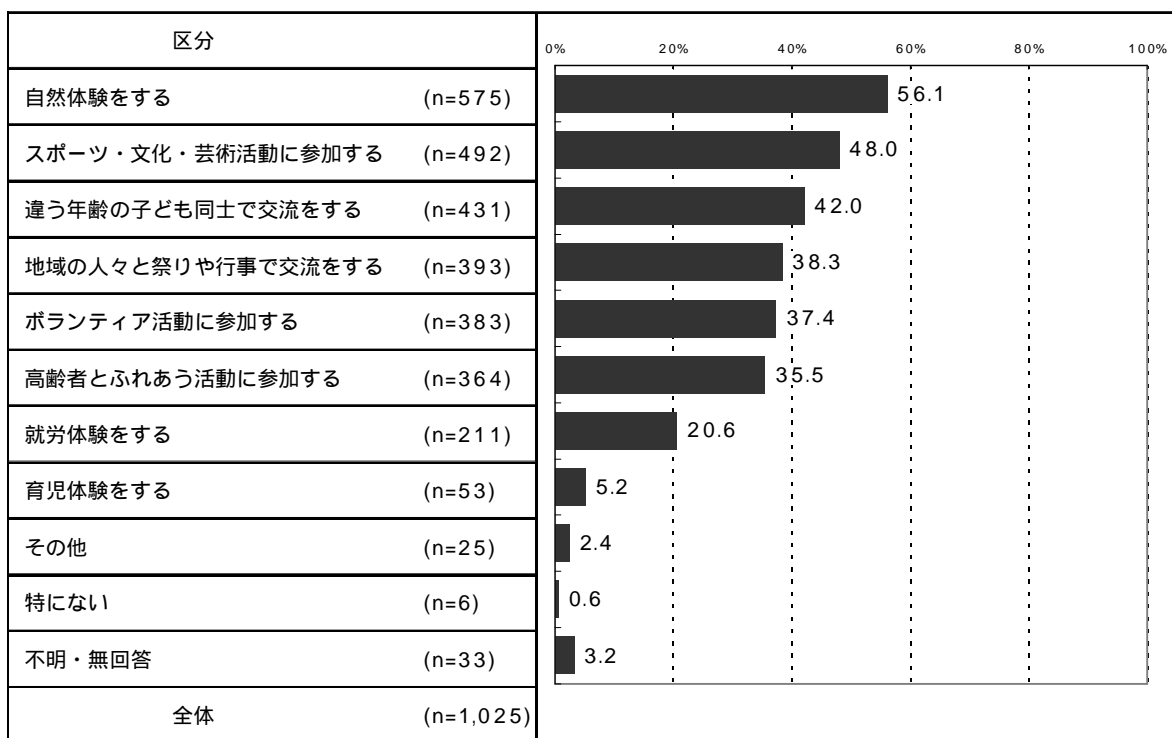
(子どもたちに対して希望する将来の大人像別)

(単位：%)

	合計(人)	勉強すること	親の言うことを聞くこと	将来の夢をもつこと	生活習慣を身につけること	たくさんの友だちとふれあうこと	意見を聞いてもらうこと	いろいろな体験をすること	自己決定をすること	遊ぶこと	周囲の大人から愛されて育つこと	個性が尊重されること	有益な情報にふれること	その他	特にない	不明・無回答	
全 体	1025	26.9	16.4	49.3	63.0	70.1	17.0	70.6	13.5	21.8	58.0	15.3	11.6	2.8	0.3	3.1	
希望する子どもたちの将来像	個性が豊かな人	151	28.5	17.2	58.9	67.5	73.5	13.2	68.9	14.6	26.5	51.0	31.8	12.6	0.7	0.0	0.7
	向上心・チャレンジ精神のある人	346	32.4	13.9	59.2	61.8	72.0	15.3	78.3	15.9	21.1	65.0	17.3	12.7	3.8	0.0	0.0
	独創性や創造性のある人	148	29.1	11.5	63.5	65.5	70.3	20.3	75.0	20.3	24.3	56.1	26.4	12.2	2.7	0.0	0.0
	困難を乗り越える力のある人	581	30.1	16.0	50.8	62.7	75.6	19.6	73.5	17.6	23.1	62.7	15.8	12.0	2.9	0.0	0.7
	健康な人	573	30.7	17.5	52.4	68.2	73.1	18.3	71.7	13.4	23.2	60.6	14.8	10.5	2.6	0.0	0.7
	社会のルールやマナーを守る人	794	27.5	19.0	49.6	68.4	73.0	17.6	72.5	12.5	21.9	60.6	15.1	12.2	3.5	0.1	0.3
	責任感のある人	602	29.1	20.9	53.0	66.1	73.3	17.4	73.3	14.1	21.3	58.1	15.0	12.1	2.2	0.0	0.8
	より良い人間関係が築ける人	512	26.2	15.4	49.2	65.6	76.2	18.9	75.4	14.6	24.2	61.7	15.6	14.3	2.7	0.0	0.8
	他人を思いやれる人	878	26.8	16.7	50.8	65.3	73.1	17.1	73.9	13.6	23.0	62.2	15.3	11.6	3.1	0.0	0.6
	リーダーシップのとれる人	35	28.6	25.7	62.9	57.1	68.6	14.3	77.1	20.0	8.6	51.4	17.1	22.9	0.0	0.0	0.0
	その他	14	28.6	7.1	35.7	35.7	57.1	28.6	78.6	7.1	28.6	42.9	21.4	28.6	28.6	0.0	0.0
特にない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	

問5 子どもたちが健やかに成長するために、大切だと思われる体験や活動は何だと思いますか。(は3つまで)

図：健やかな成長のために大切だと思う体験や活動（全体）



子どもたちが健やかに成長するために、大切だと思う体験や活動について、全体でみると、「自然体験をする」が 56.1%で最も多く、「スポーツ・文化・芸術活動に参加する」(48.0%)、「違う年齢の子ども同士で交流をする」(42.0%)がつづく。

クロス表：健やかな成長のために大切だと思う体験や活動

(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無・地域における子どもとのかかわり)

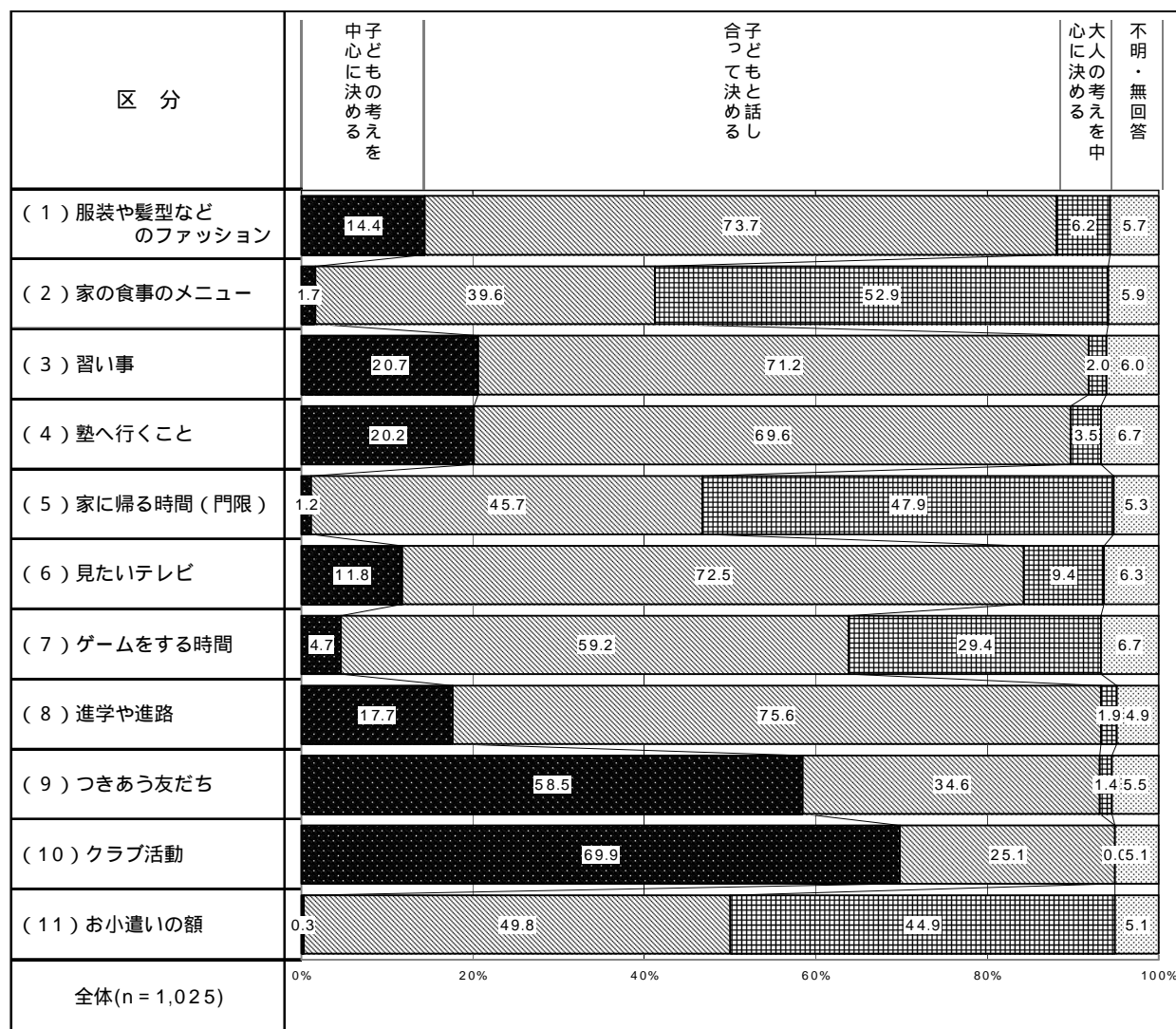
(単位：%)

		合計(人)	自然体験をする	違う年齢の子ども同士で交流をする	ボランティア活動に参加する	高齢者とふれあう活動に参加する	就労体験をする	地域の人々と祭りや行事で交流をする	芸術活動に参加する	スポーツ・文化・育児体験をする	その他	特にない	不明・無回答
全体		1025	56.1	42.0	37.4	35.5	20.6	38.3	48.0	5.2	2.4	0.6	3.2
性別	男性	344	56.4	38.4	35.5	34.0	20.6	39.2	52.9	4.9	2.3	1.2	3.2
	女性	670	56.1	44.0	38.2	36.3	20.7	37.9	45.7	5.4	2.4	0.3	3.0
年齢別	19歳	14	57.1	28.6	14.3	7.1	28.6	50.0	42.9	0.0	7.1	7.1	7.1
	20歳代	92	58.7	41.3	27.2	33.7	20.7	43.5	54.3	7.6	6.5	0.0	2.2
	30歳代	197	65.5	40.1	18.8	34.0	21.3	35.5	49.2	7.1	4.6	0.0	2.5
	40歳代	138	57.2	42.0	25.4	29.7	23.9	42.0	47.8	10.1	1.4	0.7	3.6
	50歳代	209	49.8	45.5	47.4	34.9	24.4	34.9	43.1	2.9	1.9	1.0	3.3
	60歳代	223	54.7	42.2	47.1	39.9	16.6	39.5	47.5	3.1	0.9	0.4	3.1
	70歳以上	142	52.1	41.5	52.8	40.8	16.9	37.3	51.4	3.5	0.0	0.7	3.5
子どもの有無	子どもがいる	280	66.4	43.6	21.1	30.0	24.6	33.9	51.8	7.9	2.5	0.0	2.1
	子どもがいない	731	52.3	41.5	43.5	37.3	19.3	39.9	46.6	4.2	2.3	0.8	3.6
子どもの属性	乳児(1歳未満)	34	73.5	50.0	17.6	23.5	14.7	32.4	58.8	0.0	2.9	0.0	5.9
	幼児(1歳以上)	126	71.4	46.0	16.7	27.8	22.2	31.7	51.6	8.7	4.0	0.0	1.6
	小学生	107	72.0	44.9	14.0	30.8	26.2	34.6	48.6	12.1	0.0	0.0	1.9
	中学生	60	61.7	38.3	31.7	31.7	31.7	33.3	55.0	8.3	1.7	0.0	0.0
	高校生	49	40.8	34.7	42.9	30.6	30.6	40.8	57.1	2.0	4.1	0.0	4.1
	働いている	14	85.7	57.1	21.4	35.7	14.3	21.4	50.0	7.1	0.0	0.0	0.0
	無職	7	100.0	85.7	28.6	14.3	0.0	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0
子どもの同居有無	同居している	229	67.2	42.4	20.1	27.9	24.0	34.5	52.0	7.9	2.6	0.0	2.6
	同居していない	51	62.7	49.0	25.5	39.2	27.5	31.4	51.0	7.8	2.0	0.0	0.0
地域における子どもとのかかわり	出会ったときは、あいさつをする	659	58.0	42.3	36.9	38.2	21.2	38.4	48.3	4.7	2.1	0.5	2.6
	出会ったときは、声をかけたり、話をする	357	54.3	46.5	40.1	36.7	21.0	39.8	49.0	5.0	2.0	0.0	3.9
	悪いことをしていると ころを見たときは、注意する	413	53.0	44.8	42.6	39.0	19.9	40.2	48.4	5.6	1.5	0.2	3.6
	良いことをしていると ころを見たときは、ほめる	331	51.7	43.8	43.8	44.4	22.4	39.3	48.3	3.3	2.1	0.0	2.4
	子どもが困ったときや 悩んでいるときに相談 にのっている	58	55.2	41.4	44.8	50.0	17.2	36.2	60.3	6.9	6.9	0.0	3.4
	子ども会などの地域活 動や、スポーツ活動な どを一緒にしている	63	52.4	44.4	27.0	41.3	17.5	38.1	50.8	9.5	4.8	0.0	1.6
	地域の子どものかかわり はない	200	55.0	45.5	37.5	26.0	20.0	37.0	50.0	5.5	4.0	1.0	2.5
その他	18	38.9	27.8	33.3	50.0	11.1	22.2	50.0	5.6	11.1	5.6	5.6	

年齢別でみると、「ボランティア活動に参加する」については、年齢が高くなるに従って増加傾向にあり、50歳代から大きく増加している。

問6 以下の項目に関して、どのように対応することがよいと思いますか。((1) ~ (11) それぞれ1つずつ)

図：子どもに関する項目についての対応方法(全体)



子どもに関する項目の対応方法について、全体で見ると、「服装や髪形などのファッション」「習い事」「塾へ行くこと」「見たいテレビ」「ゲームをする時間」「進学や進路」「お小遣いの額」においては、「子どもと話し合っ

て決める」が5~7割を占めて最も多くなっている。

一方、「つきあう友だち」「クラブ活動」においては、「子どもの考えを中心に決める」が6~7割を占めて最も多くなっている。

また、「家の食事のメニュー」や「家に帰る時間(門限)」においては、「大人の考えを中心に決める」が5割程度を占めて最も多くなっている。

(1) 服装や髪型などのファッション

クロス表：子どもに関する項目についての対応方法

(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無・地域における子どもとのかかわり)

(単位：%)

		合計 (人)	子どもの考えを 中心に決める	子どもと話し 合って決める	大人の考えを中 心に決める	不明・ 無回答
全体		1025	14.4	73.7	6.2	5.7
性別	男性	344	16.0	68.6	10.2	5.2
	女性	670	13.6	76.4	4.3	5.7
年齢別	19歳	14	50.0	35.7	7.1	7.1
	20歳代	92	28.3	66.3	3.3	2.2
	30歳代	197	13.2	77.7	5.6	3.6
	40歳代	138	22.5	70.3	4.3	2.9
	50歳代	209	16.3	73.7	5.3	4.8
	60歳代	223	5.8	77.1	7.6	9.4
	70歳以上	142	6.3	74.6	10.6	8.5
有る 無のど	子どもがいる	280	17.1	75.0	4.6	3.2
	子どもがいない	731	13.4	73.5	6.6	6.6
子どもの 属性	乳児(1歳未満)	34	11.8	82.4	2.9	2.9
	幼児(1歳以上)	126	12.7	78.6	4.8	4.0
	小学生	107	10.3	79.4	7.5	2.8
	中学生	60	23.3	68.3	5.0	3.3
	高校生	49	40.8	53.1	2.0	4.1
	働いている	14	7.1	71.4	21.4	0.0
	無職	7	0.0	85.7	14.3	0.0
有る 無のど	同居している	229	17.5	75.1	4.4	3.1
	同居していない	51	15.7	74.5	5.9	3.9
地域に おける 子ども とのか かわり	出会ったときは、あいさつをする	659	14.0	75.4	5.5	5.2
	出会ったときは、声をかけたり、話をする	357	9.8	76.2	6.7	7.3
	悪いことをしていると ころを見たときは、注意する	413	10.7	75.1	7.5	6.8
	良いことをしていると ころを見たときは、ほめる	331	10.6	77.6	6.0	5.7
	子どもが困ったときや 悩んでいるときに相談 にのっている	58	8.6	72.4	12.1	6.9
	子ども会などの地域活 動や、スポーツ活動な どを一緒にしている	63	19.0	74.6	3.2	3.2
	地域の子どものかかわり はない	200	16.5	73.0	7.0	3.5
	その他	18	16.7	50.0	22.2	11.1

(2) 家の食事のメニュー

クロス表：子どもに関する項目についての対応方法

(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無・地域における子どもとのかかわり)

(単位：%)

		合計 (人)	子どもの考えを 中心に決める	子どもと話し 合って決める	大人の考えを中 心に決める	不明・ 無回答
全体		1025	1.7	39.6	52.9	5.9
性別	男性	344	1.7	40.7	50.9	6.7
	女性	670	1.5	39.1	54.2	5.2
年齢別	19歳	14	7.1	35.7	50.0	7.1
	20歳代	92	0.0	45.7	52.2	2.2
	30歳代	197	1.0	34.0	59.9	5.1
	40歳代	138	2.2	38.4	55.8	3.6
	50歳代	209	0.5	38.3	56.9	4.3
	60歳代	223	1.3	41.7	48.9	8.1
	70歳以上	142	4.2	43.7	42.3	9.9
有無の 子ども	子どもがいる	280	0.4	35.0	60.4	4.3
	子どもがいない	731	2.1	41.3	50.2	6.4
子ども の属性	乳児(1歳未満)	34	0.4	34.9	61.1	3.5
	幼児(1歳以上)	126	0.0	35.3	56.9	7.8
	小学生	107	0.0	41.2	55.9	2.9
	中学生	60	0.0	38.9	56.3	4.8
	高校生	49	0.0	32.7	63.6	3.7
	働いている	14	1.7	28.3	66.7	3.3
	無職	7	0.0	28.6	65.3	6.1
有無の 同居も	同居している	229	0.0	28.6	71.4	0.0
	同居していない	51	0.0	14.3	85.7	0.0
地域 における 子ども とのか かわり	出会ったときは、あい さつをする	659	2.1	40.2	52.8	4.9
	出会ったときは、声を かけたり、話をする	357	0.8	40.9	51.3	7.0
	悪いことをしていると ころを見たときは、注 意する	413	2.7	42.4	49.4	5.6
	良いことをしていると ころを見たときは、ほ める	331	2.4	43.5	48.6	5.4
	子どもが困ったときや 悩んでいるときに相談 にのっている	58	5.2	43.1	48.3	3.4
	子ども会などの地域活 動や、スポーツ活動な どを一緒にしている	63	3.2	33.3	57.1	6.3
	地域の子どものかか わりはない	200	0.5	35.5	60.0	4.0
	その他	18	0.0	16.7	72.2	11.1

(3) 習い事

クロス表：子どもに関する項目についての対応方法

(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無・地域における子どもとのかかわり)

(単位：%)

		合計 (人)	子どもの考えを 中心に決める	子どもと話し 合って決める	大人の考えを中 心に決める	不明・無回答
全体		1025	20.7	71.2	2.0	6.0
性別	男性	344	23.3	68.0	2.0	6.7
	女性	670	19.6	72.8	2.1	5.5
年齢別	19歳	14	21.4	64.3	7.1	7.1
	20歳代	92	26.1	69.6	2.2	2.2
	30歳代	197	19.8	75.6	1.5	3.0
	40歳代	138	20.3	73.9	2.2	3.6
	50歳代	209	15.8	78.0	1.9	4.3
	60歳代	223	22.0	67.3	0.9	9.9
	70歳以上	142	24.6	59.9	4.2	11.3
有も子 無のど	子どもがいる	280	20.0	75.4	1.8	2.9
	子どもがいない	731	21.2	69.4	2.2	7.3
子 ど も の 属 性	乳児(1歳未満)	34	19.2	76.4	1.7	2.6
	幼児(1歳以上)	126	23.5	70.6	2.0	3.9
	小学生	107	26.5	67.6	2.9	2.9
	中学生	60	19.8	76.2	0.8	3.2
	高校生	49	13.1	84.1	0.0	2.8
	働いている	14	18.3	75.0	3.3	3.3
	無職	7	24.5	65.3	6.1	4.1
有無 の 子 ど も 同 居	同居している	229	21.4	71.4	7.1	0.0
	同居していない	51	42.9	57.1	0.0	0.0
地 域 に お け る 子 ど も と の か か わ り	出会ったときは、あいさつをする	659	20.6	72.7	1.4	5.3
	出会ったときは、声をかけたり、話をする	357	20.2	69.5	3.4	7.0
	悪いことをしていると ころを見たときは、注意する	413	19.9	71.7	1.7	6.8
	良いことをしていると ころを見たときは、ほめる	331	22.1	69.8	1.5	6.6
	子どもが困ったときや 悩んでいるときに相談 にのっている	58	13.8	70.7	3.4	12.1
	子ども会などの地域活 動や、スポーツ活動な どと一緒にしている	63	14.3	77.8	1.6	6.3
	地域の子どものかかわり はない	200	17.0	76.5	2.5	4.0
	その他	18	16.7	72.2	0.0	11.1

(4) 塾へ行く

クロス表：子どもに関する項目についての対応方法

(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無・地域における子どもとのかかわり)

(単位：%)

		合計 (人)	子どもの考えを 中心に決める	子どもと話し 合って決める	大人の考えを中 心に決める	不明・無回答
全体		1025	20.2	69.6	3.5	6.7
性別	男性	344	23.3	64.8	4.7	7.3
	女性	670	18.7	72.1	3.0	6.3
年齢別	19歳	14	14.3	71.4	7.1	7.1
	20歳代	92	23.9	71.7	2.2	2.2
	30歳代	197	18.8	74.6	2.0	4.6
	40歳代	138	19.6	74.6	2.2	3.6
	50歳代	209	15.8	75.6	3.3	5.3
	60歳代	223	22.4	62.3	4.0	11.2
	70歳以上	142	23.9	58.5	7.0	10.6
有る 無のど	子どもがいる	280	18.9	75.4	2.5	3.2
	子どもがいない	731	20.7	67.3	4.0	8.1
子どもの 属性	乳児(1歳未満)	34	15.7	78.6	3.1	2.6
	幼児(1歳以上)	126	33.3	60.8	0.0	5.9
	小学生	107	26.5	64.7	5.9	2.9
	中学生	60	19.0	74.6	2.4	4.0
	高校生	49	9.3	86.0	0.9	3.7
	働いている	14	18.3	75.0	5.0	1.7
	無職	7	18.4	75.5	2.0	4.1
有る 無のど 同居	同居している	229	42.9	50.0	7.1	0.0
	同居していない	51	28.6	71.4	0.0	0.0
地域 における 子ども とのか かわり	出会ったときは、あいさつをする	659	19.6	70.9	3.3	6.2
	出会ったときは、声をかけたり、話をする	357	20.4	66.7	4.5	8.4
	悪いことをしていると ころを見たときは、注意する	413	21.3	67.3	4.4	7.0
	良いことをしていると ころを見たときは、ほめる	331	21.5	66.8	4.8	6.9
	子どもが困ったときや 悩んでいるときに相談 にのっている	58	24.1	58.6	6.9	10.3
	子ども会などの地域活 動や、スポーツ活動な どを一緒にしている	63	12.7	81.0	4.8	1.6
	地域の子どものかかわり はない	200	16.5	75.5	4.5	3.5
	その他	18	22.2	66.7	0.0	11.1

(5) 家に帰る時間(門限)

クロス表：子どもに関する項目についての対応方法

(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無・地域における子どもとのかかわり)

(単位：%)

		合計 (人)	子どもの考えを 中心に決める	子どもと話し 合って決める	大人の考えを中 心に決める	不明・無回答
全体		1025	1.2	45.7	47.9	5.3
性別	男性	344	1.2	47.1	45.1	6.7
	女性	670	1.2	45.1	49.4	4.3
年齢別	19歳	14	0.0	42.9	50.0	7.1
	20歳代	92	2.2	46.7	48.9	2.2
	30歳代	197	1.0	38.1	57.4	3.6
	40歳代	138	2.9	38.4	54.3	4.3
	50歳代	209	0.5	50.7	44.5	4.3
	60歳代	223	0.0	48.4	44.4	7.2
	70歳以上	142	2.1	51.4	38.0	8.5
有も子 無のど	子どもがいる	280	1.1	36.4	60.0	2.5
	子どもがいない	731	1.2	49.2	43.2	6.3
子 ど も の 属 性	乳児(1歳未満)	34	1.3	38.0	58.5	2.2
	幼児(1歳以上)	126	0.0	29.4	66.7	3.9
	小学生	107	0.0	38.2	58.8	2.9
	中学生	60	0.0	38.1	59.5	2.4
	高校生	49	0.9	27.1	70.1	1.9
	働いている	14	1.7	33.3	65.0	0.0
	無職	7	4.1	40.8	51.0	4.1
有 無 の 子 ど も 同 居	同居している	229	0.0	42.9	57.1	0.0
	同居していない	51	0.0	42.9	57.1	0.0
地 域 に お け る 子 ど も と の か か わ り	出会ったときは、あいさつをする	659	1.5	44.6	49.6	4.2
	出会ったときは、声をかけたり、話をする	357	2.0	45.4	48.2	4.5
	悪いことをしているところを見たときは、注意する	413	1.5	44.6	48.9	5.1
	良いことをしているところを見たときは、ほめる	331	1.5	45.9	48.6	3.9
	子どもが困ったときや悩んでいるときに相談にのっている	58	3.4	37.9	53.4	5.2
	子ども会などの地域活動や、スポーツ活動などを一緒にしている	63	6.3	33.3	58.7	1.6
	地域の子どものかかわりはない	200	1.0	44.5	50.5	4.0
	その他	18	0.0	55.6	38.9	5.6

(6) 見たいテレビ

クロス表：子どもに関する項目についての対応方法

(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無・地域における子どもとのかかわり)

(単位：%)

		合計 (人)	子どもの考えを 中心に決める	子どもと話し 合って決める	大人の考えを中 心に決める	不明・無回答
全体		1025	11.8	72.5	9.4	6.3
性別	男性	344	11.9	72.7	9.0	6.4
	女性	670	11.9	72.7	9.4	6.0
年齢別	19歳	14	14.3	71.4	7.1	7.1
	20歳代	92	25.0	63.0	8.7	3.3
	30歳代	197	9.6	74.6	11.7	4.1
	40歳代	138	18.8	71.7	5.8	3.6
	50歳代	209	11.5	74.2	10.0	4.3
	60歳代	223	7.2	74.0	9.9	9.0
	70歳以上	142	7.7	72.5	7.7	12.0
有る 無のど	子どもがいる	280	15.0	72.5	9.3	3.2
	子どもがいない	731	10.8	72.5	9.3	7.4
子どもの 属性	乳児(1歳未満)	34	14.4	73.8	9.2	2.6
	幼児(1歳以上)	126	17.6	66.7	9.8	5.9
	小学生	107	5.9	82.4	8.8	2.9
	中学生	60	13.5	71.4	11.1	4.0
	高校生	49	14.0	74.8	8.4	2.8
	働いている	14	25.0	65.0	6.7	3.3
	無職	7	16.3	69.4	10.2	4.1
有る 無のど	同居している	229	21.4	71.4	7.1	0.0
	同居していない	51	42.9	57.1	0.0	0.0
地域に おける 子ども とのか かわり	出会ったときは、あいさつをする	659	11.8	73.7	8.8	5.6
	出会ったときは、声をかけたり、話をする	357	9.8	76.2	6.7	7.3
	悪いことをしていると ころを見たときは、注意する	413	9.4	74.6	9.4	6.5
	良いことをしていると ころを見たときは、ほめる	331	10.3	73.1	10.6	6.0
	子どもが困ったときや 悩んでいるときに相談 にのっている	58	6.9	69.0	17.2	6.9
	子ども会などの地域活 動や、スポーツ活動な どを一緒にしている	63	17.5	71.4	9.5	1.6
	地域の子どものかかわり はない	200	13.5	73.5	9.0	4.0
	その他	18	5.6	66.7	16.7	11.1

(7) ゲームをする時間

クロス表：子どもに関する項目についての対応方法

(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無・地域における子どもとのかかわり)

(単位：%)

		合計 (人)	子どもの考えを 中心に決める	子どもと話し 合って決める	大人の考えを中 心に決める	不明・無回答
全体		1025	4.7	59.2	29.4	6.7
性別	男性	344	6.4	58.4	27.3	7.8
	女性	670	3.7	59.7	30.7	5.8
年齢別	19歳	14	14.3	64.3	14.3	7.1
	20歳代	92	5.4	55.4	35.9	3.3
	30歳代	197	2.0	55.3	39.6	3.0
	40歳代	138	7.2	61.6	27.5	3.6
	50歳代	209	5.3	64.1	26.8	3.8
	60歳代	223	3.1	60.1	26.0	10.8
	70歳以上	142	5.6	55.6	24.6	14.1
有も子 無のど	子どもがいる	280	3.2	60.0	33.9	2.9
	子どもがいない	731	5.2	59.0	27.8	8.1
子 ど も の 属 性	乳児(1歳未満)	34	3.1	59.4	34.9	2.6
	幼児(1歳以上)	126	3.9	62.7	29.4	3.9
	小学生	107	0.0	55.9	41.2	2.9
	中学生	60	0.8	61.1	34.9	3.2
	高校生	49	3.7	55.1	38.3	2.8
	働いている	14	10.0	63.3	23.3	3.3
	無職	7	6.1	69.4	20.4	4.1
有無 の同 居も	同居している	229	7.1	50.0	42.9	0.0
	同居していない	51	14.3	42.9	42.9	0.0
地 域 に お け る 子 ど も と の か か わ り	出会ったときは、あいさつをする	659	4.7	59.5	30.0	5.8
	出会ったときは、声をかけたり、話をする	357	5.3	58.0	28.6	8.1
	悪いことをしていると ころを見たときは、注意する	413	5.6	56.4	30.8	7.3
	良いことをしていると ころを見たときは、ほめる	331	4.8	56.5	31.1	7.6
	子どもが困ったときや 悩んでいるときに相談 にのっている	58	3.4	44.8	43.1	8.6
	子ども会などの地域活 動や、スポーツ活動な どと一緒にしている	63	15.9	52.4	28.6	3.2
	地域の子どものかかわり はない	200	4.5	62.0	29.5	4.0
	その他	18	5.6	55.6	27.8	11.1

(8) 進学や進路

クロス表：子どもに関する項目についての対応方法

(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無・地域における子どもとのかかわり)

(単位：%)

		合計 (人)	子どもの考えを 中心に決める	子どもと話し 合って決める	大人の考えを中 心に決める	不明・無回答
全体		1025	17.7	75.6	1.9	4.9
性別	男性	344	16.3	75.0	2.9	5.8
	女性	670	18.7	76.1	1.0	4.2
年齢別	19歳	14	21.4	71.4	0.0	7.1
	20歳代	92	30.4	66.3	1.1	2.2
	30歳代	197	24.4	72.1	1.0	2.5
	40歳代	138	18.1	76.8	1.4	3.6
	50歳代	209	12.4	81.3	1.9	4.3
	60歳代	223	12.6	80.3	0.4	6.7
	70歳以上	142	16.2	70.4	4.9	8.5
有る 無のど	子どもがいる	280	19.3	76.4	1.8	2.5
	子どもがいない	731	17.4	75.2	1.6	5.7
子どもの 属性	乳児(1歳未満)	34	17.5	78.2	2.2	2.2
	幼児(1歳以上)	126	27.5	68.6	0.0	3.9
	小学生	107	35.3	58.8	2.9	2.9
	中学生	60	22.2	75.4	0.0	2.4
	高校生	49	13.1	81.3	2.8	2.8
	働いている	14	13.3	85.0	0.0	1.7
	無職	7	20.4	75.5	0.0	4.1
有る 無のど 同居	同居している	229	7.1	85.7	7.1	0.0
	同居していない	51	28.6	71.4	0.0	0.0
地域に おける 子ども とのか かわり	出会ったときは、あいさつをする	659	17.9	76.3	1.8	3.9
	出会ったときは、声をかけたり、話をする	357	12.6	80.7	0.8	5.9
	悪いことをしていると ころを見たときは、注意する	413	12.6	79.4	2.2	5.8
	良いことをしていると ころを見たときは、ほめる	331	13.3	79.5	2.4	4.8
	子どもが困ったときや 悩んでいるときに相談 にのっている	58	10.3	79.3	3.4	6.9
	子ども会などの地域活 動や、スポーツ活動な どを一緒にしている	63	12.7	82.5	1.6	3.2
	地域の子どものかかわり はない	200	20.0	74.5	1.0	4.5
	その他	18	22.2	66.7	0.0	11.1

(9) つきあう友だち

クロス表：子どもに関する項目についての対応方法

(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無・地域における子どもとのかかわり)

(単位：%)

		合計 (人)	子どもの考えを 中心に決める	子どもと話し 合って決める	大人の考えを中 心に決める	不明・無回答
全体		1025	58.5	34.6	1.4	5.5
性別	男性	344	52.9	38.7	2.0	6.4
	女性	670	61.2	33.1	1.0	4.6
年齢別	19歳	14	71.4	21.4	0.0	7.1
	20歳代	92	66.3	30.4	1.1	2.2
	30歳代	197	67.5	27.4	1.5	3.6
	40歳代	138	65.2	29.7	0.7	4.3
	50歳代	209	58.4	36.4	1.0	4.3
	60歳代	223	48.0	42.2	1.8	8.1
	70歳以上	142	48.6	41.5	2.1	7.7
有る 無のど	子どもがいる	280	66.8	28.9	1.4	2.9
	子どもがいない	731	55.1	37.2	1.4	6.3
子どもの 属性	乳児(1歳未満)	34	66.4	29.7	1.3	2.6
	幼児(1歳以上)	126	68.6	25.5	2.0	3.9
	小学生	107	76.5	20.6	0.0	2.9
	中学生	60	62.7	33.3	0.8	3.2
	高校生	49	63.6	29.9	3.7	2.8
	働いている	14	63.3	33.3	0.0	3.3
	無職	7	75.5	20.4	0.0	4.1
有る 無のど	同居している	229	78.6	21.4	0.0	0.0
	同居していない	51	85.7	14.3	0.0	0.0
地域に おける 子ども とのか かわり	出会ったときは、あいさつをする	659	59.5	34.4	1.4	4.7
	出会ったときは、声をかけたり、話をする	357	54.3	37.5	1.7	6.4
	悪いことをしているところを見たときは、注意する	413	54.5	37.5	1.9	6.1
	良いことをしているところを見たときは、ほめる	331	55.9	37.5	1.5	5.1
	子どもが困ったときや悩んでいるときに相談にのっている	58	39.7	53.4	0.0	6.9
	子ども会などの地域活動や、スポーツ活動などを一緒にしている	63	69.8	25.4	1.6	3.2
	地域の子どものかかわりはない	200	64.5	30.5	1.5	3.5
	その他	18	50.0	44.4	0.0	5.6

(10) クラブ活動

クロス表：子どもに関する項目についての対応方法

(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無・地域における子どもとのかかわり)

(単位：%)

		合計 (人)	子どもの考えを 中心に決める	子どもと話し 合って決める	大人の考えを中 心に決める	不明・無回答
全体		1025	69.9	25.1	0.0	5.1
性別	男性	344	68.3	26.7	0.0	4.9
	女性	670	71.0	24.2	0.0	4.8
年齢別	19歳	14	85.7	7.1	0.0	7.1
	20歳代	92	79.3	18.5	0.0	2.2
	30歳代	197	77.7	18.8	0.0	3.6
	40歳代	138	76.1	20.3	0.0	3.6
	50歳代	209	70.3	25.8	0.0	3.8
	60歳代	223	61.4	31.8	0.0	6.7
	70歳以上	142	59.2	32.4	0.0	8.5
有も子 無のど	子どもがいる	280	76.8	20.7	0.0	2.5
	子どもがいない	731	67.4	26.7	0.0	5.9
子ども の属 性	乳児(1歳未満)	34	75.5	21.8	0.0	2.6
	幼児(1歳以上)	126	82.4	15.7	0.0	2.0
	小学生	107	85.3	11.8	0.0	2.9
	中学生	60	76.2	21.4	0.0	2.4
	高校生	49	72.9	25.2	0.0	1.9
	働いている	14	76.7	21.7	0.0	1.7
	無職	7	73.5	22.4	0.0	4.1
有無 の子 ども 同居	同居している	229	71.4	28.6	0.0	0.0
	同居していない	51	100.0	0.0	0.0	0.0
地域 にお ける 子 ど も と の か か わ り	出会ったときは、あいさつをする	659	70.7	25.0	0.0	4.2
	出会ったときは、声をかけたり、話をする	357	64.4	30.0	0.0	5.6
	悪いことをしていると ころを見たときは、注意する	413	66.6	27.8	0.0	5.6
	良いことをしていると ころを見たときは、ほめる	331	66.8	29.0	0.0	4.2
	子どもが困ったときや 悩んでいるときに相談 にのっている	58	55.2	39.7	0.0	5.2
	子ども会などの地域活 動や、スポーツ活動な どを一緒にしている	63	68.3	30.2	0.0	1.6
	地域の子どもとはかか わりはない	200	74.0	23.0	0.0	3.0
	その他	18	55.6	27.8	0.0	16.7

(11) お小遣いの額

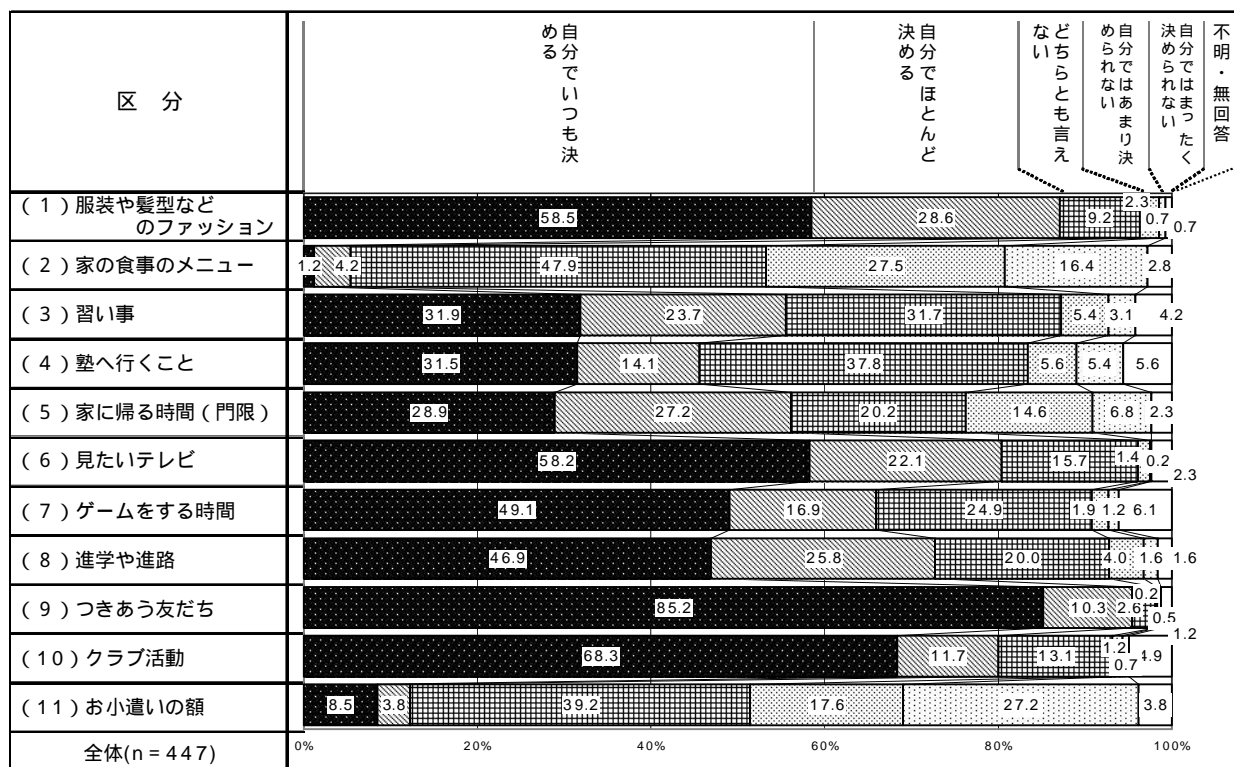
クロス表：子どもに関する項目についての対応方法

(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無・地域における子どもとのかかわり)

(単位：%)

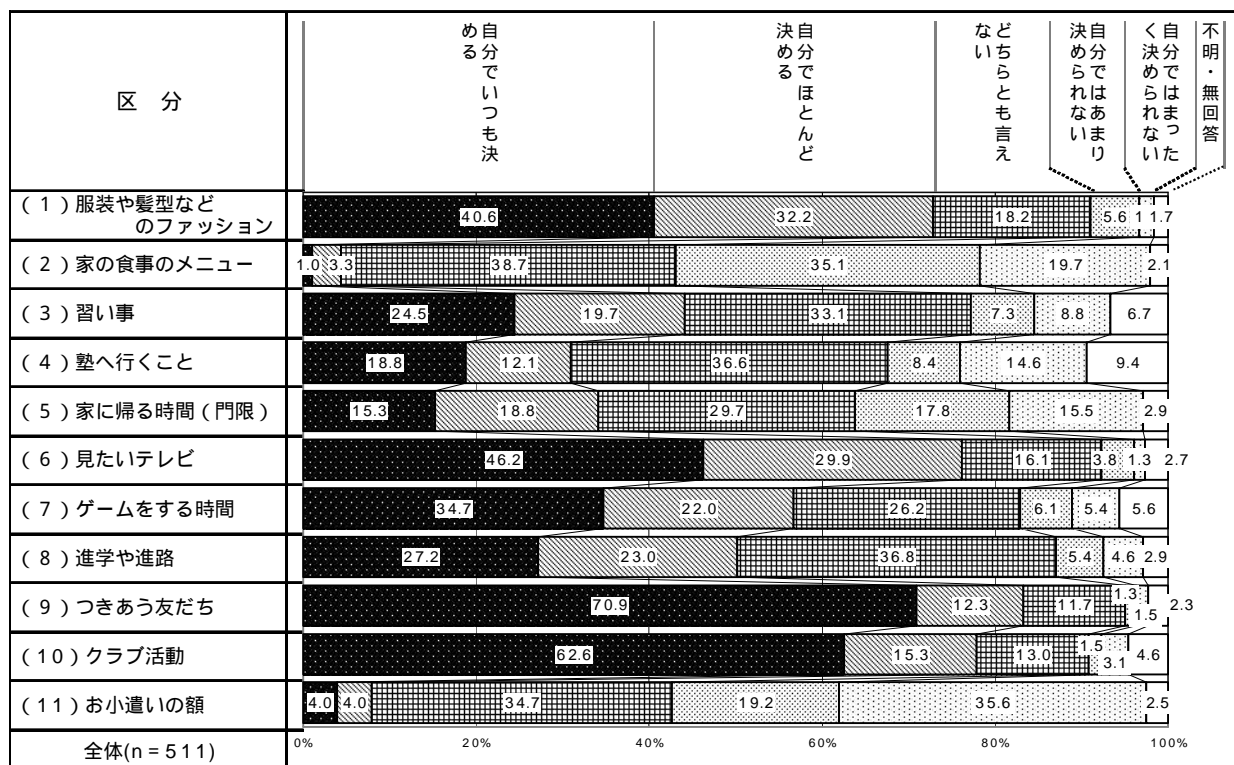
		合計 (人)	子どもの考えを 中心に決める	子どもと話し 合って決める	大人の考えを中 心に決める	不明・無回答
全体		1025	0.3	49.8	44.9	5.1
性別	男性	344	0.6	49.7	44.2	5.5
	女性	670	0.1	50.1	45.2	4.5
年齢別	19歳	14	0.0	57.1	35.7	7.1
	20歳代	92	0.0	51.1	46.7	2.2
	30歳代	197	0.5	46.7	49.2	3.6
	40歳代	138	0.7	50.0	45.7	3.6
	50歳代	209	0.0	51.7	44.0	4.3
	60歳代	223	0.4	52.5	39.5	7.6
	70歳以上	142	0.0	46.5	47.2	6.3
有も子 無のど	子どもがいる	280	0.0	48.2	48.9	2.9
	子どもがいない	731	0.4	50.9	43.0	5.7
子どもの 属性	乳児(1歳未満)	34	0.0	48.9	48.5	2.6
	幼児(1歳以上)	126	0.0	45.1	51.0	3.9
	小学生	107	0.0	47.1	50.0	2.9
	中学生	60	0.0	45.2	51.6	3.2
	高校生	49	0.0	46.7	51.4	1.9
	働いている	14	0.0	53.3	45.0	1.7
	無職	7	0.0	55.1	40.8	4.1
有無 の同 居も	同居している	229	0.0	50.0	50.0	0.0
	同居していない	51	0.0	42.9	57.1	0.0
地域 にお ける 子ど もと のか かわ り	出会ったときは、あい さつをする	659	0.2	51.1	44.5	4.2
	出会ったときは、声を かけたり、話をする	357	0.3	51.5	42.9	5.3
	悪いことをしていると ころを見たときは、注 意する	413	0.2	49.2	45.3	5.3
	良いことをしていると ころを見たときは、ほ める	331	0.3	51.4	44.1	4.2
	子どもが困ったときや 悩んでいるときに相談 にのっている	58	0.0	53.4	41.4	5.2
	子ども会などの地域活 動や、スポーツ活動な どを一緒にしている	63	0.0	41.3	55.6	3.2
	地域の子どもとはかか わりはない	200	0.0	47.5	49.5	3.0
その他	18	0.0	72.2	22.2	5.6	

図：子どもに関する項目についての自己決定度（高校生の回答）



資料：「尼崎市次世代育成支援に関するニーズ調査（高校生用）」（平成15年 尼崎市）

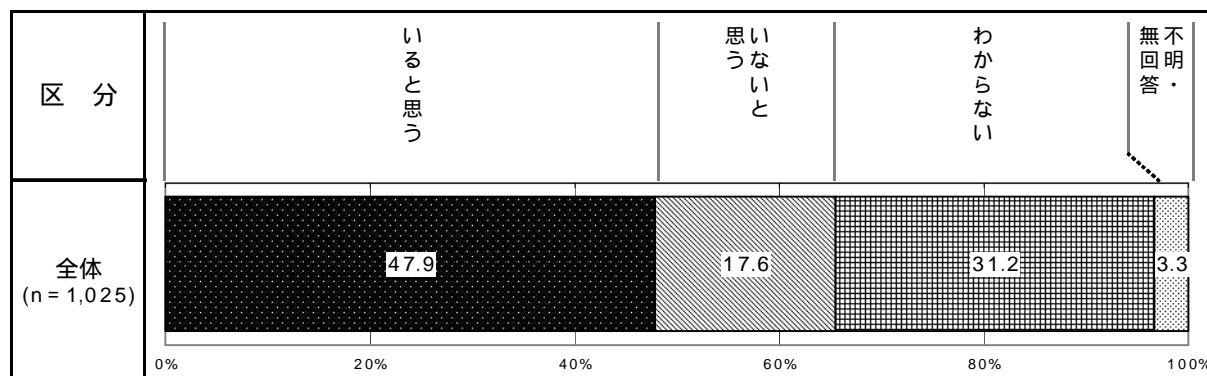
図：子どもに関する項目についての自己決定度（中学生の回答）



資料：「尼崎市次世代育成支援に関するニーズ調査（中学生用）」（平成15年 尼崎市）

問7 子どもたちが不安や悩みを抱えている場合、周囲に相談できる人はいると思いますか。(は1つ)

図：子どもたちの周囲に相談できる人はいると思うかについて（全体）



子どもたちの周囲に相談できる人はいると思うかについて、全体でみると、「いると思う」が47.9%で最も多く、「わからない」(31.2%)、「いないと思う」(17.6%)がつづいており、5割近くの人が子どもたちに相談相手はいると考えている。

クロス表：子どもたちの周囲に相談できる人はいると思うかについて

(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無・地域における子どもとのかかわり)

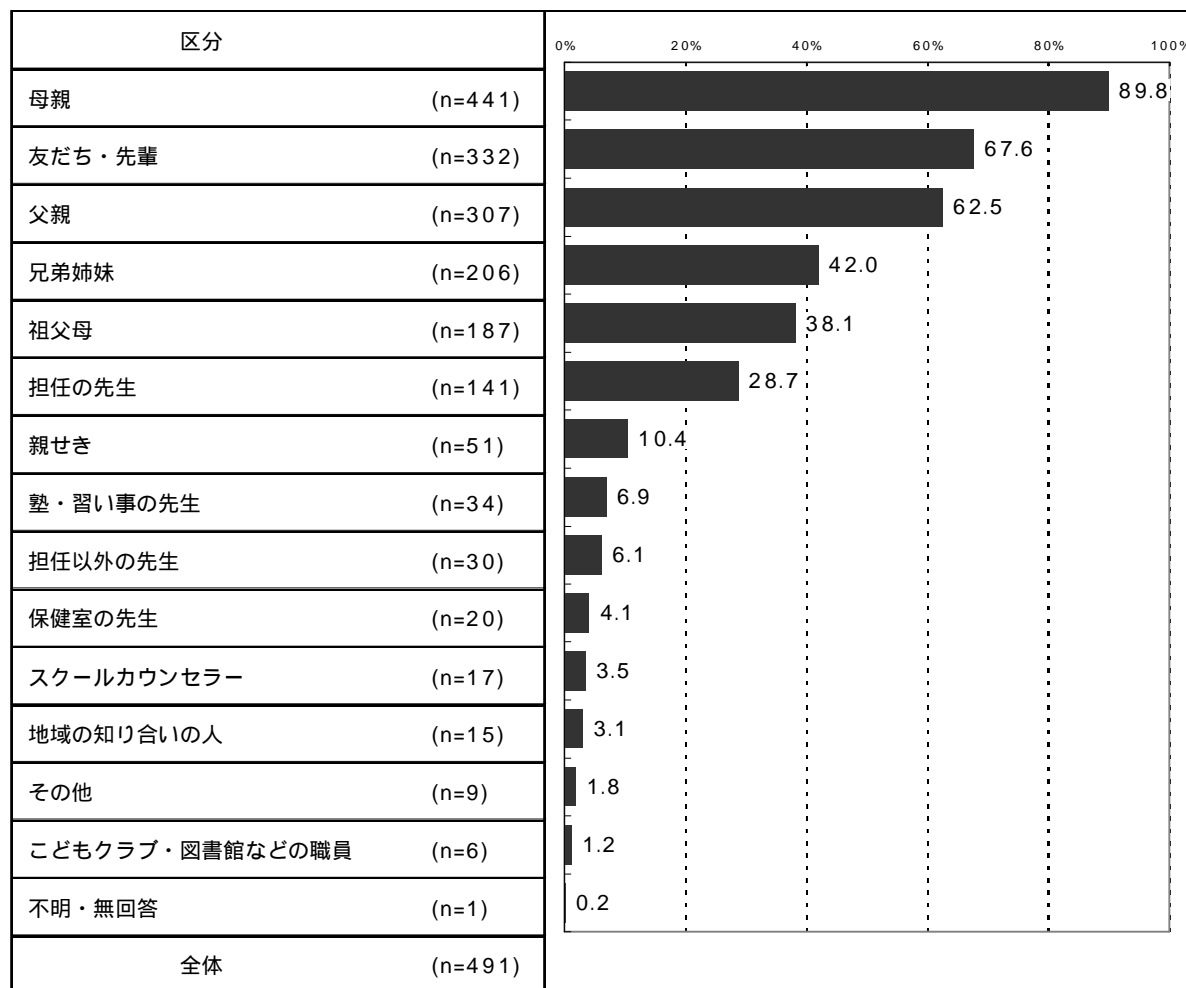
(単位：%)

		合計 (人)	いると思う	いないと思う	わからない	不明・無回答
全体		1025	47.9	17.6	31.2	3.3
性別	男性	344	47.1	20.1	29.7	3.2
	女性	670	48.4	16.4	32.2	3.0
年齢別	19歳	14	35.7	14.3	42.9	7.1
	20歳代	92	44.6	23.9	29.3	2.2
	30歳代	197	49.2	13.7	34.5	2.5
	40歳代	138	58.7	11.6	26.8	2.9
	50歳代	209	50.2	15.3	31.1	3.3
	60歳代	223	39.0	24.2	33.2	3.6
	70歳以上	142	49.3	18.3	28.9	3.5
子どもの有無	子どもがいる	280	62.9	8.2	26.8	2.1
	子どもがいない	731	42.3	21.3	32.8	3.6
子どもの属性	乳児(1歳未満)	34	50.0	8.8	38.2	2.9
	幼児(1歳以上)	126	60.3	5.6	32.5	1.6
	小学生	107	73.8	6.5	17.8	1.9
	中学生	60	61.7	13.3	25.0	0.0
	高校生	49	71.4	6.1	18.4	4.1
	働いている	14	57.1	14.3	28.6	0.0
	無職	7	14.3	42.9	42.9	0.0
子どもの同居有無	同居している	229	64.2	7.0	26.6	2.2
	同居していない	51	56.9	13.7	27.5	2.0
地域における子どもとのかかわり	出会ったときは、あいさつをする	659	55.7	14.1	27.5	2.7
	出会ったときは、声をかけたり、話をする	357	59.4	16.2	20.7	3.6
	悪いことをしているところを見たときは、注意する	413	57.1	16.7	22.8	3.4
	良いことをしているところを見たときは、ほめる	331	56.5	15.7	25.1	2.7
	子どもが困ったときや悩んでいるときに相談にのっている	58	55.2	27.6	13.8	3.4
	子ども会などの地域活動や、スポーツ活動などを一緒にしている	63	63.5	9.5	25.4	1.6
	地域の子どものとはかかわりはない	200	30.5	24.5	42.0	3.0
	その他	18	33.3	38.9	22.2	5.6

問7 - 1 問7で「1.いると思う」と回答された方にお聞きします。それは誰だと思いますか。

(は5つまで)

図：子どもの相談相手だと思う人について（全体）



子どもの相談相手だと思う人について、全体で見ると、「母親」が 89.8%で最も多く、「友だち・先輩」(67.6%)、「父親」(62.5%)、「兄弟姉妹」(42.0%)、「祖父母」(38.1%)がつづいており、「友だち・先輩」以外では家族が上位を占めている。

クロス表：子どもたちの相談相手だと思う人について

(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無・地域における子どもとのかかわり)

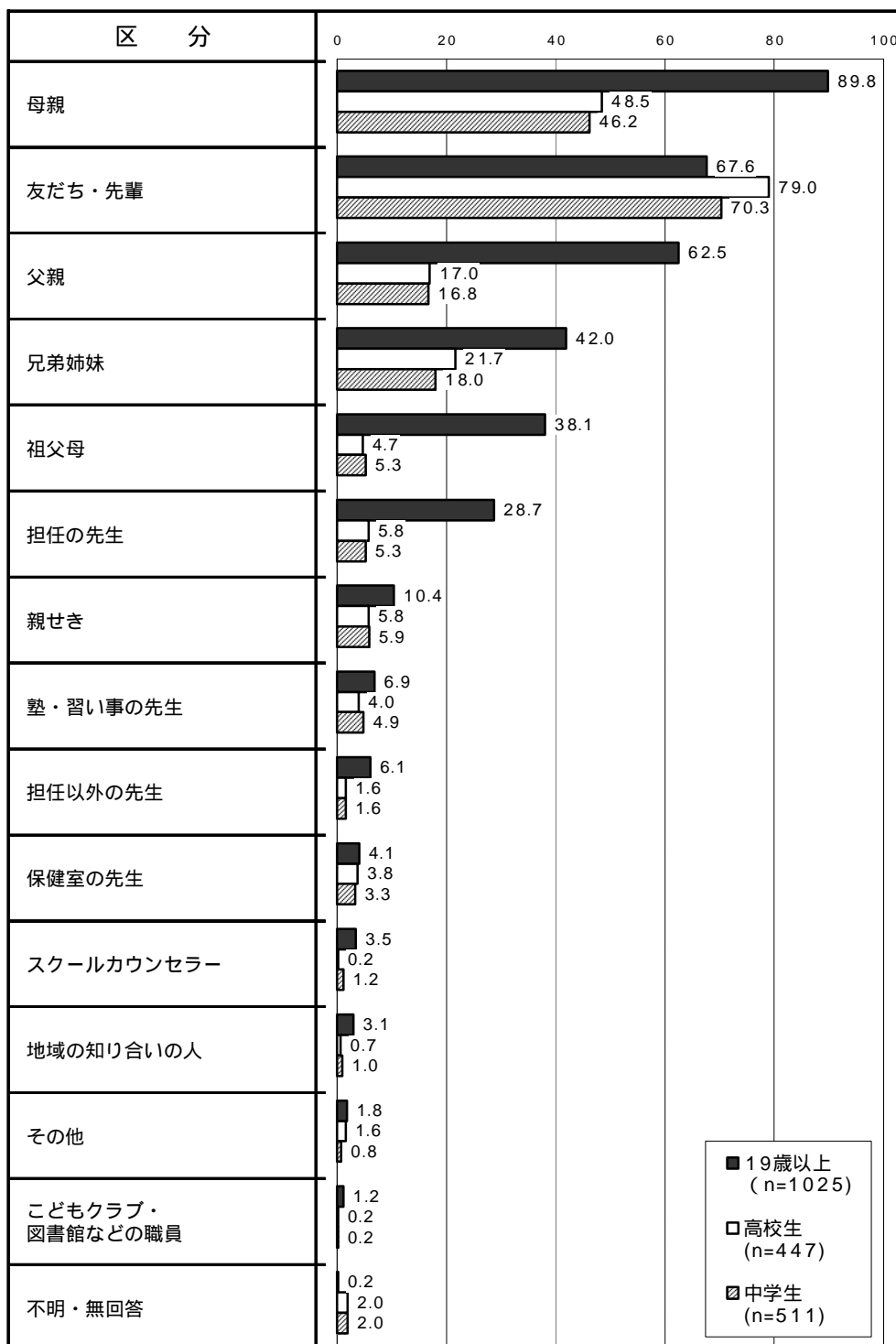
(単位：%)

	合計(人)	父親	母親	祖父母	兄弟姉妹	親せき	友だち・先輩	担任の先生	保健室の先生	担任以外の先生	スクールカウンセラー	図書館などの職員	こどもクラブ・塾・習い事の先生	地域の知り合いの人	その他	不明・無回答	
全体	1025	62.5	89.8	38.1	42.0	10.4	67.6	28.7	4.1	6.1	3.5	1.2	6.9	3.1	1.8	0.2	
性別	男性	344	67.9	88.3	32.1	45.1	9.3	64.2	34.6	1.9	6.2	2.5	1.9	8.0	4.3	1.9	0.0
	女性	670	59.9	90.7	41.4	40.4	10.8	69.4	25.3	4.9	5.9	4.0	0.9	6.5	2.5	1.9	0.3
年齢別	19歳	14	40.0	100.0	40.0	80.0	20.0	80.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	92	70.7	90.2	34.1	56.1	9.8	73.2	14.6	7.3	7.3	0.0	0.0	7.3	0.0	4.9	0.0
	30歳代	197	62.9	92.8	49.5	27.8	13.4	49.5	20.6	0.0	0.0	2.1	0.0	5.2	5.2	3.1	0.0
	40歳代	138	53.1	90.1	28.4	35.8	8.6	79.0	25.9	1.2	6.2	2.5	0.0	8.6	2.5	1.2	0.0
	50歳代	209	57.1	93.3	21.9	59.0	10.5	80.0	24.8	4.8	11.4	2.9	1.0	6.7	1.9	0.0	0.0
	60歳代	223	67.8	86.2	49.4	40.2	10.3	62.1	36.8	6.9	4.6	5.7	2.3	2.3	3.4	2.3	1.1
	70歳以上	142	71.4	84.3	47.1	34.3	7.1	64.3	44.3	4.3	7.1	5.7	4.3	12.9	4.3	1.4	0.0
子どもの有無	子どもがいる	280	58.0	93.8	41.5	30.7	13.6	61.4	23.3	1.1	4.5	1.7	0.6	5.7	1.7	1.7	0.0
	子どもがいない	731	65.0	87.7	36.6	48.2	8.4	71.2	31.1	5.5	6.8	4.5	1.6	7.8	3.9	1.9	0.3
子どもの属性	乳児(1歳未満)	34	70.6	88.2	47.1	41.2	11.8	64.7	11.8	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
	幼児(1歳以上)	126	67.1	96.1	56.6	25.0	13.2	44.7	18.4	0.0	0.0	1.3	0.0	2.6	1.3	2.6	0.0
	小学生	107	58.2	92.4	45.6	22.8	12.7	54.4	26.6	0.0	2.5	1.3	0.0	8.9	3.8	2.5	0.0
	中学生	60	45.9	91.9	21.6	27.0	16.2	75.7	24.3	0.0	8.1	2.7	2.7	8.1	0.0	0.0	0.0
	高校生	49	40.0	94.3	20.0	48.6	5.7	82.9	28.6	5.7	17.1	0.0	0.0	8.6	0.0	0.0	0.0
	働いている	14	50.0	87.5	12.5	62.5	12.5	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	7	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
子どもの同居有無	同居している	229	57.8	94.6	41.5	31.3	13.6	60.5	23.8	0.7	5.4	2.0	0.0	5.4	0.7	2.0	0.0
	同居していない	51	58.6	89.7	41.4	27.6	13.8	65.5	20.7	3.4	0.0	0.0	3.4	6.9	6.9	0.0	0.0
地域における子どもとのかかわり	出会ったときは、あいさつをする	659	62.1	89.9	40.1	41.7	11.4	68.1	29.2	4.4	6.5	3.5	1.1	6.8	3.3	1.6	0.3
	出会ったときは、声をかけたり、話をする	357	65.6	92.0	39.6	43.9	11.3	67.9	32.1	4.2	6.6	3.3	0.9	6.6	4.2	0.9	0.0
	悪いことをしているところを見たときは、注意する	413	66.5	91.9	42.4	41.9	11.9	65.7	34.3	4.7	7.6	4.7	1.3	9.7	3.8	1.3	0.4
	良いことをしているところを見たときは、ほめる	331	66.3	90.4	44.4	40.6	10.2	64.7	36.9	5.3	7.0	4.3	2.1	8.6	4.3	1.1	0.0
	子どもが困ったときや悩んでいるときに相談にのっている	58	78.1	90.6	50.0	31.3	9.4	65.6	56.3	12.5	12.5	3.1	0.0	12.5	3.1	0.0	0.0
	子ども会などの地域活動や、スポーツ活動などを一緒にしている	63	47.5	85.0	35.0	35.0	12.5	47.5	30.0	2.5	12.5	2.5	0.0	7.5	7.5	0.0	0.0
	地域の子どもとはかわりはない	200	55.7	88.5	26.2	41.0	8.2	65.6	21.3	3.3	4.9	1.6	0.0	8.2	3.3	1.6	0.0
その他	18	66.7	83.3	50.0	50.0	16.7	66.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	

年齢別で見ると、「母親」や「友だち・先輩」については、年齢が高くなるに従って減少傾向にある。一方、「担任の先生」については、20歳代以上は年齢が高くなるに従って増加傾向にある。

18歳未満の子どもがいる人のうち、中学生、高校生の保護者が、他の年齢層の保護者に比べて、相談相手に「父親」と答えた割合が低いこと、また、小学生、中学生、高校生の保護者が、他の年齢層の保護者に比べて、「担任の先生」と答えた割合が高いことが特徴的である。

図：子どもの相談相手だと思う人について



資料：19歳以上とは、本調査問7-1の結果

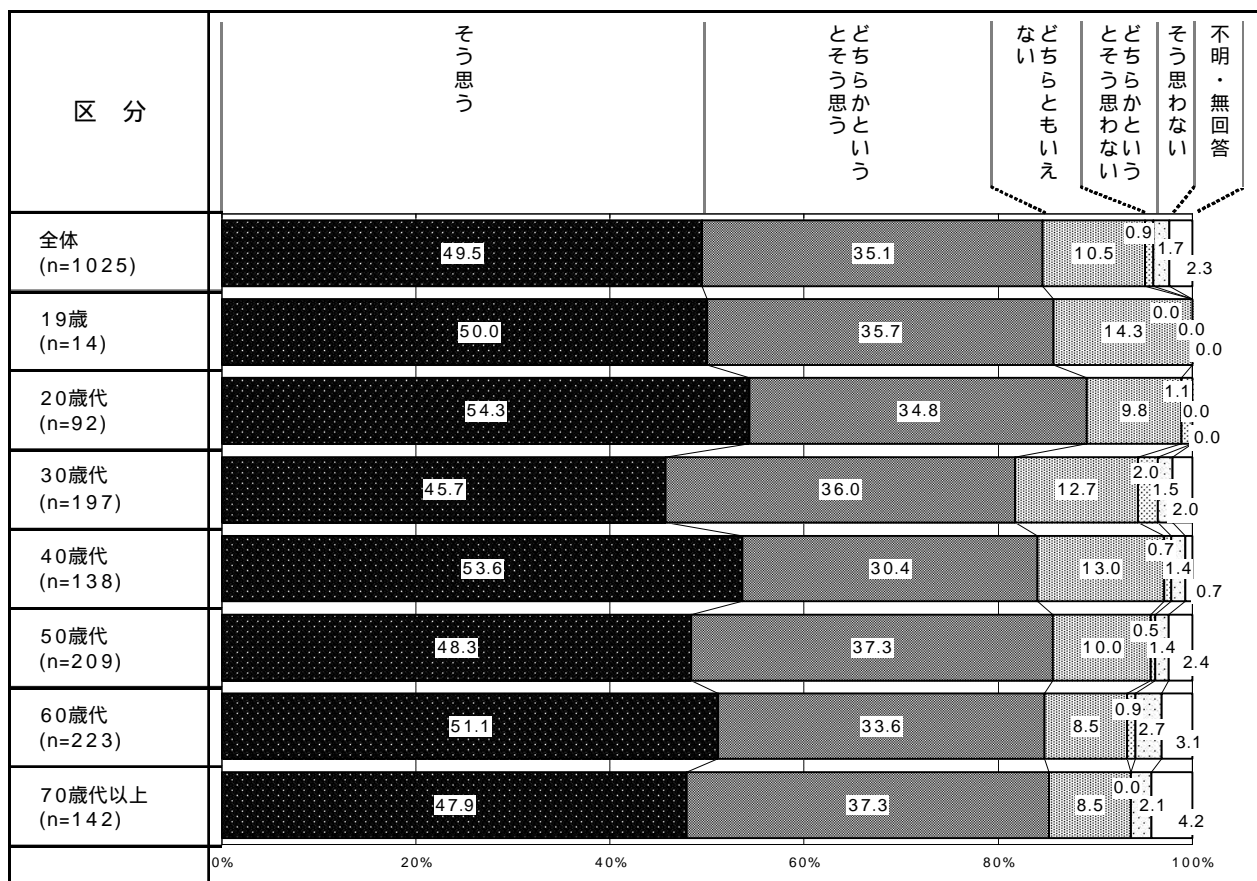
高校生とは、「尼崎市次世代育成支援に関するニーズ調査」(平成15年 尼崎市) 高校生の回答

中学生とは、「尼崎市次世代育成支援に関するニーズ調査」(平成15年 尼崎市) 中学生の回答

家庭や地域における子どもの育ちについて

問8 「家庭において、親が子どもにしつけをしたり、教育をしたりする力が低下している」という見方がありますが、このような見方についてどう思いますか。(は1つ)

図：「家庭において、親が子どもにしつけをしたり、教育をしたりする力が低下している」という見方について(全体・年齢別)



「家庭において、親が子どもにしつけをしたり、教育をしたりする力が低下している」という見方について、全体で見ると、「そう思う」が49.5%で最も多く、「どちらかというと思う」(35.1%)、「どちらともいえない」(10.5%)が続く。「そう思う」「どちらかというと思う」と答えた人は8割を超えている。年齢別で見ても、全体と同様に、全ての年代で、「そう思う」「どちらかというと思う」と答えた人は8割を超えている。

一方、「そう思わない」「どちらかというと思わない」と答えた人は、全ての年代で非常に少ない値となっている。

クロス表：「家庭において、親が子どもにしつけをしたり、教育をしたりする力が低下している」

という見方について（全体・性別・子どもの有無・子どもと同居有無・共働きの有無）

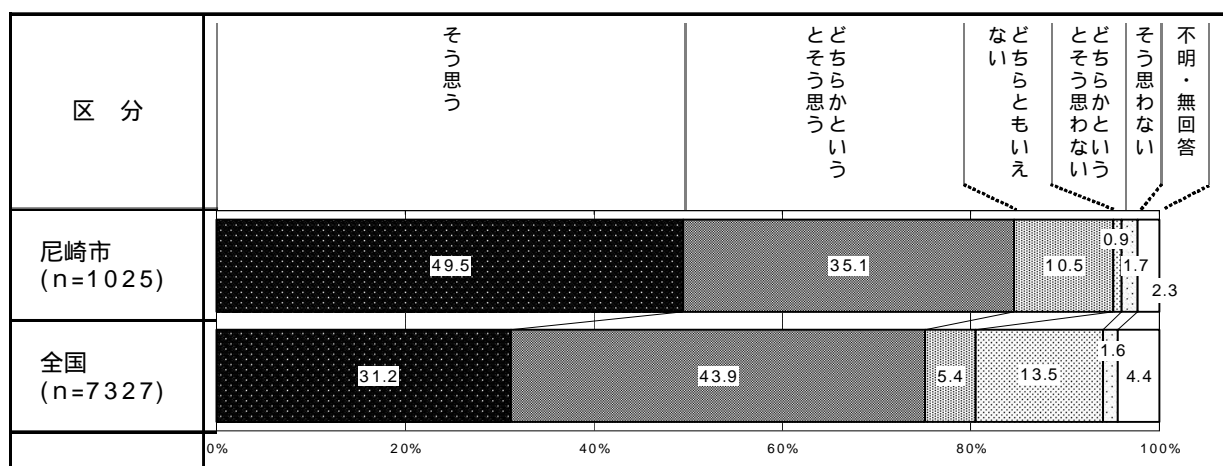
（単位：％）

		合計（人）	そう思う	どちらかという と思う	どちらとも いえない	どちらか という と思わない	そう 思わない	不明・ 無回答
全体		1025	49.5	35.1	10.5	0.9	1.7	2.3
性別	男性	344	49.1	35.2	10.8	0.6	2.3	2.0
	女性	670	50.0	35.1	10.3	1.0	1.3	2.2
の 子 ど も の 有 無	子どもがいる	280	46.8	37.1	13.2	1.4	0.7	0.7
	子どもがいない	731	50.8	34.2	9.4	0.7	2.1	2.9
の 子 ど も と 同 居 有 無	同居している	229	45.0	37.6	14.8	1.7	0.9	0.0
	同居していない	51	54.9	35.3	5.9	0.0	0.0	3.9
の 共 働 き 有 無	共働きである	279	54.5	33.3	9.3	0.4	1.4	1.1
	共働きではない	483	45.1	37.7	11.4	1.0	2.3	2.5

参考資料 - 全国における調査との比較 -

図：「家庭において、親が子どもにしつけをしたり、教育をしたりする力が低下している」

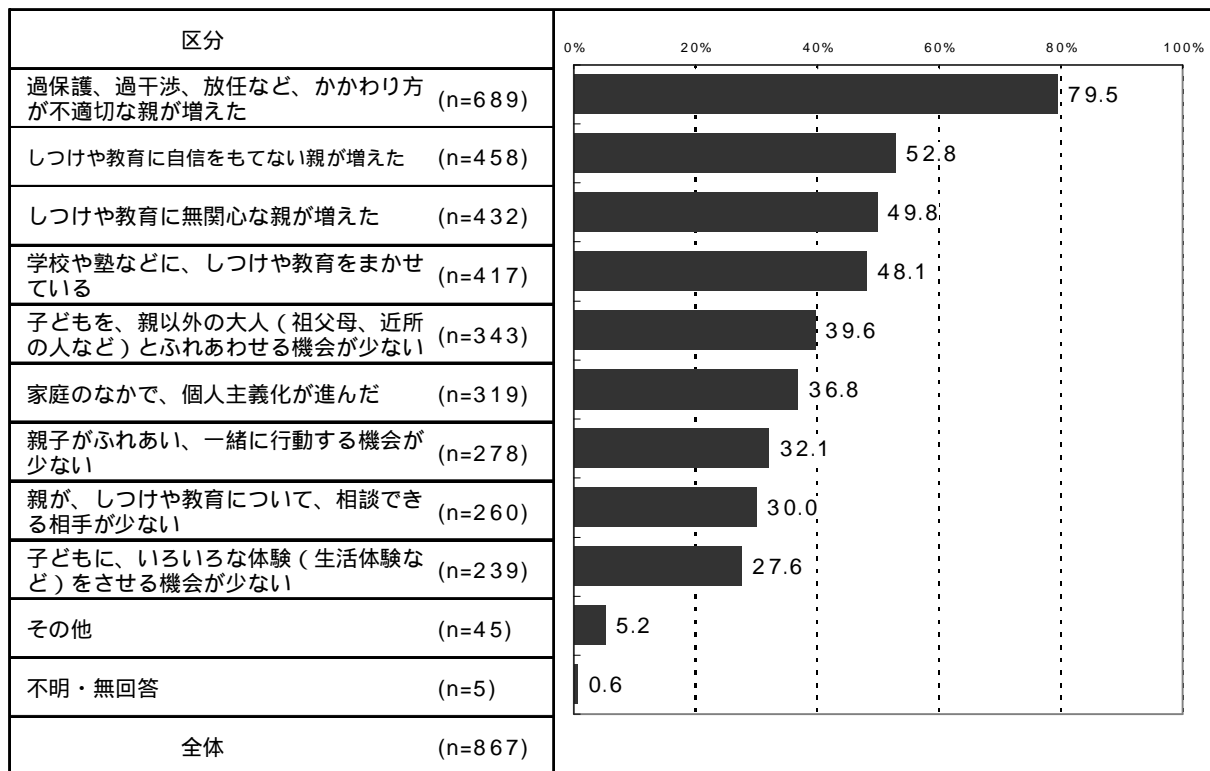
という見方について



資料：全国とは、「青少年と家庭に関する世論調査」（平成5年 内閣府）

問8 - 1 問8で「1. そう思う」「2. どちらかというと思う」と回答された方にお聞きします。
その主な理由は何だと思えますか。(は5つまで)

図：「家庭において、親が子どもにしつけをしたり、教育をしたりする力が低下している」
と思う理由（全体）



「家庭において、親が子どもにしつけをしたり、教育をしたりする力が低下している」と思う理由について、全体で見ると、「過保護、過干渉、放任など、かかわり方が不適切な親が増えた」が79.5%で最も多く、「しつけや教育に自信をもてない親が増えた」(52.8%)、「しつけや教育に無関心な親が増えた」(49.8%)、「学校や塾などに、しつけや教育をまかせている」(48.1%)、「子どもを、親以外の大人(祖父母、近所の人など)とふれあわせる機会が少ない」(39.6%)がつづいている。

クロス表：「家庭において、親が子どもにしつけをしたり、教育をしたりする力が低下している」

と思う理由（全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの同居有無・共働きの有無）

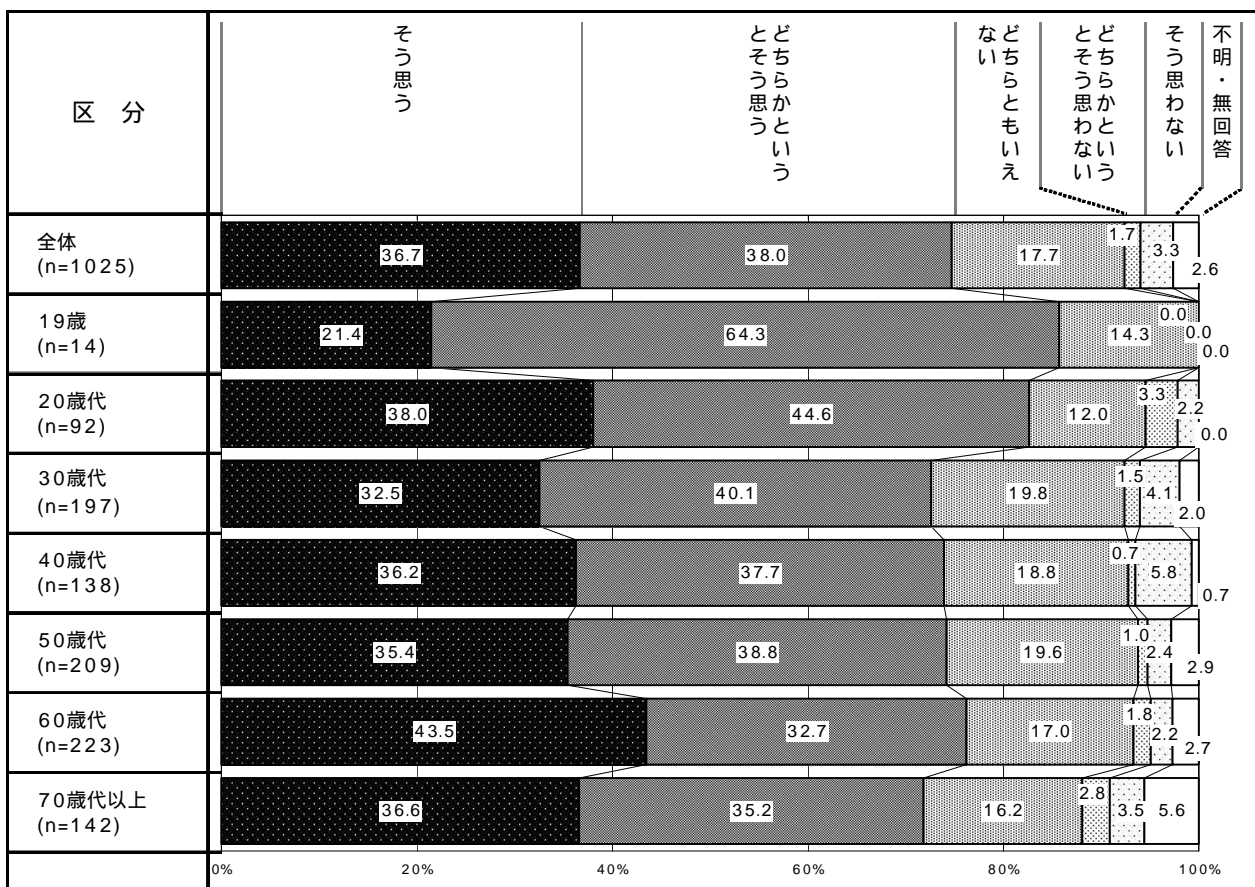
（単位：％）

		合計（人）	しつけや教育に無関心な親が増えた	しつけや教育に自信をもてない親が増えた	過保護、過干渉、放任など、かわり方が不適切な親が増えた	親が、しつけや教育について、相談できる相手が少ない	親子がふれあい、一緒に行動する機会が少ない	個人主義化が進んだ	学校や塾などに、しつけや教育をまかせている	子どもに、いろいろな体験（生活体験など）をさせる機会が少ない	子どもを、親以外の大人（祖父母、近所の人など）とふれあわせる機会が少ない	その他	不明・無回答
全体		1025	49.8	52.8	79.5	30.0	32.1	36.8	48.1	27.6	39.6	5.2	0.6
性別	男性	344	50.7	58.6	74.1	26.2	34.1	39.3	48.6	27.6	34.8	5.5	1.4
	女性	670	49.5	50.0	82.5	31.9	30.9	35.8	48.1	27.5	41.6	4.9	0.2
年齢別	19歳	14	33.3	33.3	91.7	41.7	50.0	41.7	75.0	41.7	50.0	0.0	0.0
	20歳代	92	47.6	48.8	78.0	35.4	29.3	28.0	46.3	30.5	32.9	11.0	0.0
	30歳代	197	47.8	46.6	82.0	31.1	23.6	26.7	45.3	25.5	31.1	7.5	0.6
	40歳代	138	53.4	47.4	82.8	25.0	31.9	30.2	46.6	31.0	29.3	3.4	0.0
	50歳代	209	49.7	53.1	83.2	29.6	34.6	44.7	47.5	24.0	48.6	2.8	0.0
	60歳代	223	48.1	58.7	78.8	33.9	32.3	45.0	48.1	28.0	42.3	4.2	1.1
	70歳以上	142	55.4	62.0	69.4	23.1	38.8	38.8	53.7	28.1	44.6	5.0	1.7
子どもの有無	子どもがいる	280	45.5	47.2	83.8	28.5	26.8	28.1	42.6	27.2	32.8	5.5	0.4
	子どもがいない	731	51.5	55.1	78.4	30.4	34.0	40.1	50.4	27.9	41.9	5.0	0.6
子どもの同居有無	同居している	229	45.5	49.7	84.1	28.0	23.8	28.0	40.7	28.6	31.2	5.8	0.0
	同居していない	51	45.7	37.0	82.6	30.4	39.1	28.3	50.0	21.7	39.1	4.3	2.2
共働きの有無	共働きである	279	51.8	54.3	81.6	29.0	33.9	34.7	42.0	30.2	39.6	4.9	0.4
	共働きではない	483	50.8	53.8	77.8	30.0	30.8	39.8	50.3	24.8	39.8	4.8	0.3

年齢別でみると、「過保護、過干渉、放任など、かわり方が不適切な親が増えた」や「子どもにいろいろな体験(生活体験など)をさせる機会が少ない」については、年齢が高くなるに従って減少傾向にある。一方、「しつけや教育に自信をもてない親が増えた」については、年齢が高くなるに従って増加傾向にある。

問9 「地域の大人が地域の子どもを育てる力が低下している」という見方がありますが、このような見方についてどう思いますか。(は1つ)

図：「地域の大人が地域の子どもを育てる力が低下している」という見方について(全体・年齢別)



「地域の大人が地域の子どもを育てる力が低下している」という見方について、全体で見ると、「どちらかというと思う」が38.0%で最も多く、「そう思う」(36.7%)、「どちらともいえない」(17.7%)がづついでおり、「そう思う」、「どちらかというと思う」と答えた人は、7割を超えている。

年齢別で見ると、「そう思う」、「どちらかというと思う」と答えた人は、すべての年代で7割を超えており、特に、20歳代以下では8割を超えている。

クロス表：「地域の大人が地域の子どもを育てる力が低下している」という見方について（全体・性別・
 子どもの有無・子どもの同居有無・尼崎市での居住年数・共働きの有無・地域における子どもとのかかわり）

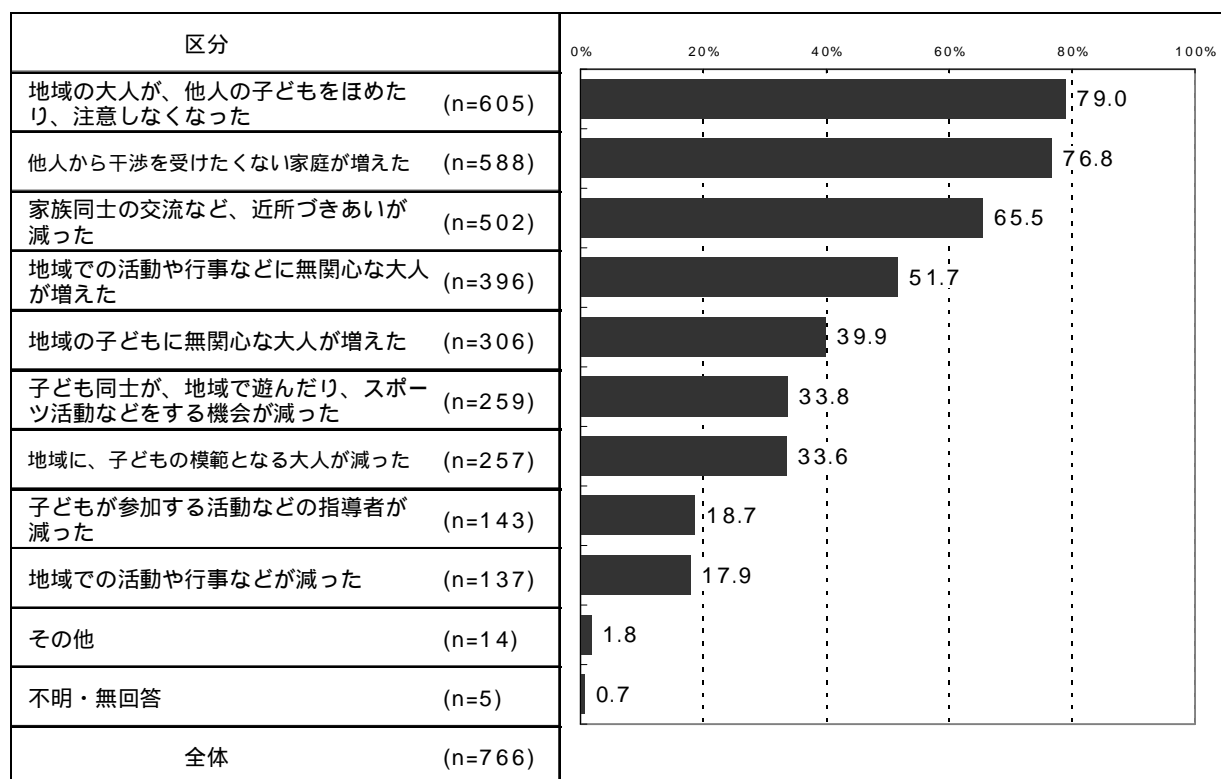
（単位：％）

		合計 (人)	そう思う	どちらか という 思う	どちらとも いえない	どちらか という 思わない	そう 思わない	不明・ 無回答
全体		1025	36.7	38.0	17.7	1.7	3.3	2.6
性別	男性	344	38.1	39.2	15.7	1.5	3.5	2.0
	女性	670	36.4	37.3	18.8	1.8	3.1	2.5
の子ども 有無	子どもがいる	280	33.2	42.1	18.9	1.8	3.2	0.7
	子どもがいない	731	38.4	36.3	17.2	1.6	3.3	3.1
の子ども 同居有無	同居している	229	32.8	44.1	18.8	1.7	2.6	0.0
	同居していない	51	35.3	33.3	19.6	2.0	5.9	3.9
尼崎市での 居住年数	1年未満	19	31.6	42.1	21.1	0.0	5.3	0.0
	1～3年未満	44	47.7	38.6	6.8	2.3	2.3	2.3
	3～5年未満	35	40.0	25.7	28.6	0.0	5.7	0.0
	5～10年未満	61	39.3	31.1	27.9	0.0	1.6	0.0
	10～15年未満	56	41.1	37.5	16.1	0.0	5.4	0.0
	15～20年未満	64	35.9	45.3	12.5	1.6	1.6	3.1
	20年以上	734	35.8	38.3	17.6	2.0	3.3	3.0
の共有 無働き	共働きである	279	40.5	34.8	17.9	1.8	3.6	1.4
	共働きではない	483	35.6	36.6	20.5	1.9	2.7	2.7
地域における 子どもとのか かわり	出会ったときは、あいさつをする	659	37.6	38.1	19.0	1.7	3.0	0.6
	出会ったときは、声をかけたり、話をする	357	42.3	37.8	13.7	1.4	4.5	0.3
	悪いことをしていると ころを見たときは、注意する	413	40.4	36.6	16.5	2.4	3.9	0.2
	良いことをしていると ころを見たときは、ほめる	331	38.7	37.8	15.7	2.1	5.1	0.6
	子どもが困ったときや 悩んでいるときに相談 にのっている	58	56.9	29.3	8.6	0.0	5.2	0.0
	子ども会などの地域活 動や、スポーツ活動な どと一緒にしている	63	38.1	34.9	14.3	4.8	7.9	0.0
	地域の子どもとはか かわりはない	200	39.0	39.0	17.5	1.5	3.0	0.0
	その他	18	50.0	27.8	16.7	0.0	5.6	0.0

居住年数別でみると、15年以上尼崎市に住んでいる人よりも、15年未満の人の方が、「地域の大人が地域の子どもを育てる力が低下している」という見方について、「そう思う」と答えている割合が高い傾向がある。

問9 - 1 問9で「1. そう思う」「2. どちらかというと思う」と回答された方にお聞きします。
その主な理由は何だと思えますか。(は5つまで)

図：「地域の大人が地域の子どもを育てる力が低下している」と思う理由（全体）



「地域の大人が地域の子どもを育てる力が低下している」という理由について、全体でみると、「地域の大人が、他人の子どもをほめたり、注意しなくなった」が79.0%で最も多く、「他人から干渉を受けたくない家庭が増えた」(76.8%)、「家族同士の交流など、近所づきあいが減った」(65.5%)、「地域での活動や行事などに無関心な大人が増えた」(51.7%)、「地域の子どもに無関心な大人が増えた」(39.9%)がつついている。

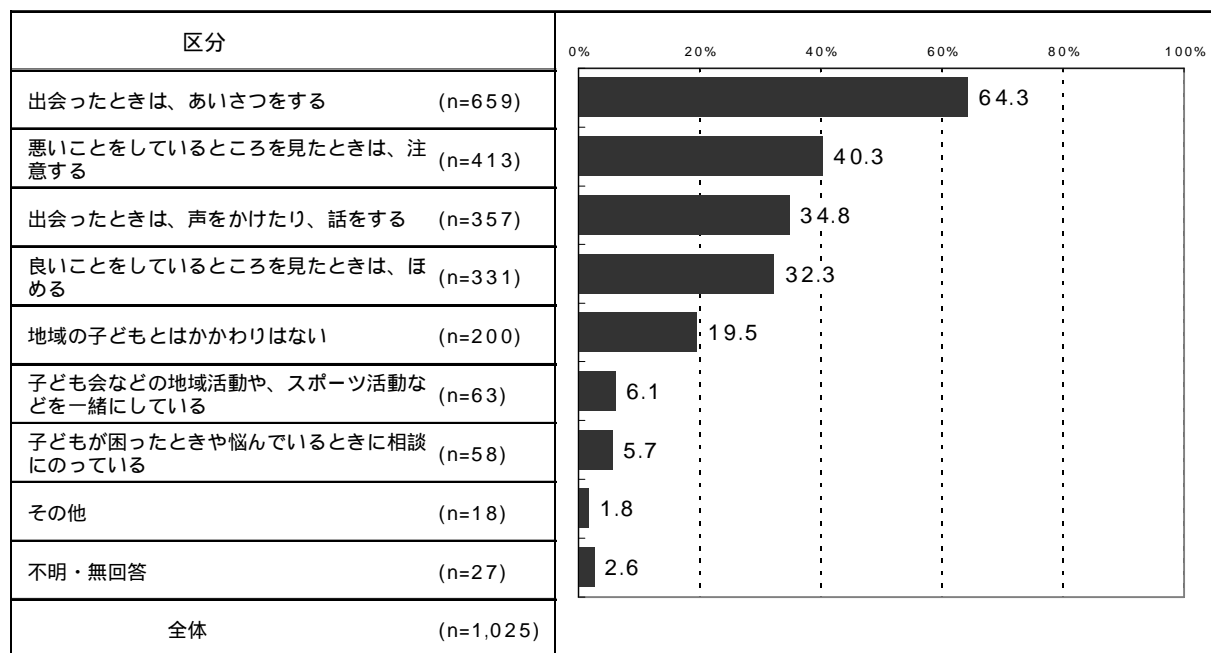
クロス表：「地域の大人が地域の子どもを育てる力が低下している」と思う理由（全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの同居有無・尼崎市での居住年数・共働きの有無・地域における子どもとのかかわり）
（単位：％）

		合計（人）	地域に、子どもが減った 大人が減った	地域の大人が、他人の子どもを ほめたり、注意しなくなった	子ども同士が、地域で 遊んだり、スポーツ活動などを する機会が減った	家族同士の交流など、 近所づきあいが減った	地域での活動や行事などに 無関心な大人が増えた	地域の子どもに無関心な 大人が増えた	他人から干渉を受けたくない 家庭が増えた	地域での活動や行事などが 減った	子どもが参加する活動などの 指導者が減った	その他	不明・無回答
全体		1025	33.6	79.0	33.8	65.5	51.7	39.9	76.8	17.9	18.7	1.8	0.7
性別	男性	344	35.3	79.3	30.8	62.8	53.4	42.9	76.3	15.8	14.3	1.5	1.1
	女性	670	32.6	78.9	35.6	67.2	51.2	38.5	77.3	19.2	20.6	2.0	0.4
年齢別	19歳	14	41.7	83.3	8.3	66.7	58.3	41.7	58.3	33.3	25.0	0.0	0.0
	20歳代	92	36.8	76.3	17.1	65.8	52.6	32.9	69.7	21.1	11.8	3.9	0.0
	30歳代	197	33.6	76.2	27.3	64.3	46.9	46.2	72.7	10.5	13.3	2.1	0.0
	40歳代	138	24.5	79.4	35.3	64.7	48.0	46.1	70.6	22.5	25.5	1.0	1.0
	50歳代	209	29.0	85.8	36.8	63.2	51.0	40.6	82.6	18.1	14.2	1.3	0.0
	60歳代	223	38.8	77.6	41.8	67.1	60.6	34.1	81.2	20.6	17.1	1.8	0.6
	70歳以上	142	37.3	76.5	40.2	69.6	49.0	39.2	81.4	15.7	31.4	2.0	2.9
子どもの有無	子どもがいる	280	34.1	77.3	27.5	65.4	46.0	50.2	72.5	17.5	19.4	1.4	0.0
	子どもがいない	731	33.3	79.7	36.6	65.8	54.4	36.1	78.6	18.3	17.9	2.0	0.9
子どもの同居有無	同居している	229	31.8	77.3	29.5	64.8	46.6	50.0	72.7	17.0	20.5	1.7	0.0
	同居していない	51	45.7	77.1	17.1	68.6	42.9	51.4	71.4	20.0	14.3	0.0	0.0
尼崎市での居住年数	1年未満	19	35.7	78.6	28.6	71.4	50.0	50.0	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0
	1～3年未満	44	36.8	71.1	28.9	78.9	44.7	47.4	68.4	18.4	15.8	2.6	0.0
	3～5年未満	35	47.8	91.3	34.8	52.2	34.8	56.5	73.9	8.7	13.0	0.0	0.0
	5～10年未満	61	37.2	86.0	25.6	69.8	37.2	48.8	76.7	16.3	14.0	0.0	0.0
	10～15年未満	56	22.7	68.2	27.3	68.2	54.5	40.9	79.5	27.3	18.2	2.3	0.0
	15～20年未満	64	26.9	80.8	34.6	63.5	53.8	46.2	75.0	25.0	19.2	1.9	0.0
	20年以上	734	33.8	79.4	35.7	64.9	54.2	37.3	78.7	16.9	19.1	2.0	0.7
共働きの有無	共働きである	279	30.0	76.7	36.2	67.1	47.1	40.0	76.7	22.4	21.4	1.0	0.5
	共働きではない	483	36.1	80.5	35.2	67.0	53.3	40.4	77.9	15.8	18.1	2.0	0.9
地域における子どもとのかかわり	出会ったときは、あいさつをする	659	31.7	80.0	35.3	65.9	52.7	39.3	78.0	18.4	21.0	1.8	0.4
	出会ったときは、声をかけたり、話をする	357	33.6	82.2	39.9	65.4	56.6	39.9	79.4	22.0	22.4	1.7	0.3
	悪いことをしていると ころを見たときは、注意する	413	39.3	82.1	37.4	65.7	57.9	39.3	79.6	18.9	21.1	1.9	0.6
	良いことをしていると ころを見たときは、ほめる	331	39.1	81.4	39.5	68.0	57.7	36.4	79.8	21.7	24.1	2.0	0.8
	子どもが困ったときや 悩んでいるときに相談 にのっている	58	40.0	84.0	48.0	66.0	56.0	42.0	82.0	14.0	26.0	2.0	0.0
	子ども会などの地域活 動や、スポーツ活動な どを一緒にしている	63	32.6	80.4	28.3	58.7	58.7	32.6	76.1	32.6	32.6	2.2	0.0
	地域の子どもとはかか わりはない	200	32.7	77.6	30.1	62.8	46.8	44.2	70.5	14.1	12.8	1.9	1.9
	その他	18	42.9	64.3	35.7	85.7	28.6	42.9	85.7	7.1	28.6	14.3	0.0

年齢別でみると、「他人から干渉を受けたくない家庭が増えた」や「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などをする機会が減った」については、年齢が高くなるに従って増加傾向にある。

問 10 ふだん、地域の子どもとどのように接していますか。(はいいくつでも)

図：地域における子どもとのかかわり方(全体)



地域における子どもとのかかわり方について、全体で見ると、「出会ったときは、あいさつをする」が64.3%で最も多く、「悪いことをしているところを見たときは、注意する」(40.3%)がつづいている。また、「地域の子どもとはかかわりはない」は19.5%となっている。

クロス表：地域における子どもとのかかわり方

(全体・性別・子どもの有無・子どもの同居有無・尼崎市での居住年数・共働きの有無)

(単位：%)

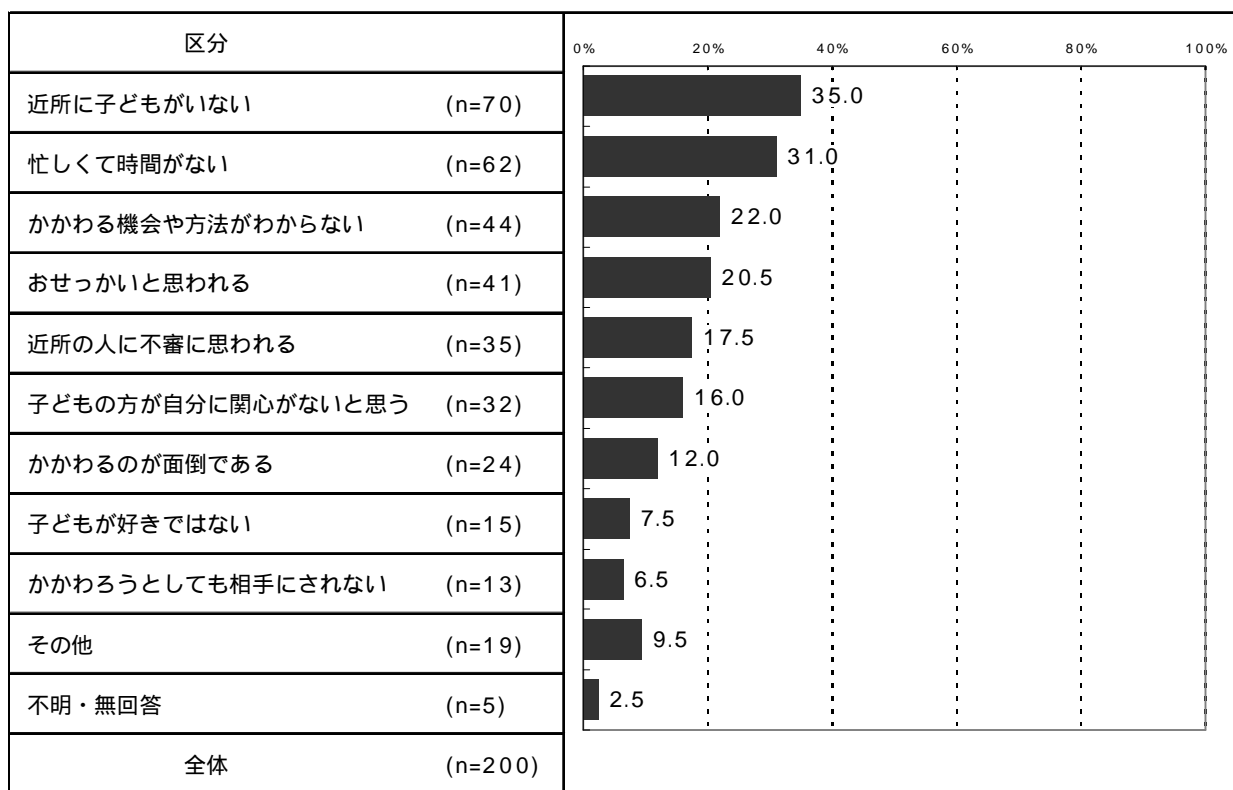
		合計(人)	出会ったときは、 あいさつをする	出会ったときは、 声をかけたり、話をする	悪いことをしている ところを見たときは、 注意する	良いことをしている ところを見たときは、 ほめる	子どもが困ったときや 悩んでいるときに 相談にのっている	子ども会などの地域活動 や、スポーツ活動などを 一緒にしている	地域の子どもとは かかわりはない	その他	不明・無回答
全体		1025	64.3	34.8	40.3	32.3	5.7	6.1	19.5	1.8	2.6
性別	男性	344	57.6	31.1	39.8	28.8	4.7	6.4	24.7	1.5	2.6
	女性	670	67.9	37.2	40.9	34.0	6.1	5.8	16.9	1.9	2.2
年齢別	19歳	14	42.9	14.3	42.9	7.1	7.1	0.0	50.0	0.0	0.0
	20歳代	92	52.2	17.4	17.4	10.9	6.5	1.1	43.5	2.2	0.0
	30歳代	197	61.4	27.4	28.9	16.8	2.0	8.6	22.8	1.0	1.5
	40歳代	138	74.6	34.1	37.0	25.4	5.1	10.1	13.8	1.4	0.7
	50歳代	209	66.5	35.4	42.6	33.5	2.9	3.8	19.1	1.4	2.4
	60歳代	223	65.5	42.6	52.0	44.8	8.5	4.5	14.3	1.8	3.1
	70歳以上	142	63.4	47.9	53.5	54.9	9.9	7.7	10.6	3.5	6.3
子どもの有無	子どもがいる	280	75.7	36.8	37.9	26.1	4.6	11.1	11.8	1.1	0.7
	子どもがいない	731	60.1	34.5	41.6	34.6	6.0	4.1	22.4	2.1	3.1
子どもの同居有無	同居している	229	76.9	36.7	36.2	24.5	3.9	12.2	11.4	1.3	0.4
	同居していない	51	70.6	37.3	45.1	33.3	7.8	5.9	13.7	0.0	2.0
尼崎市での居住年数	1年未満	19	36.8	0.0	15.8	10.5	0.0	0.0	57.9	0.0	0.0
	1～3年未満	44	40.9	18.2	20.5	13.6	4.5	2.3	47.7	4.5	2.3
	3～5年未満	35	62.9	17.1	31.4	20.0	0.0	2.9	22.9	0.0	0.0
	5～10年未満	61	70.5	31.1	37.7	16.4	4.9	8.2	18.0	0.0	0.0
	10～15年未満	56	76.8	41.1	39.3	25.0	0.0	12.5	14.3	1.8	0.0
	15～20年未満	64	64.1	35.9	40.6	23.4	6.3	6.3	23.4	1.6	1.6
	20年以上	734	65.1	37.6	43.2	37.1	6.5	5.9	16.8	1.9	3.1
共働きの有無	共働きである	279	72.4	38.7	46.2	36.6	5.4	7.5	14.3	1.1	0.4
	共働きではない	483	68.3	38.1	41.6	34.2	5.6	6.4	15.5	2.1	3.1

年齢別でみると、「出会ったときは、声をかけたり、話をする」や「悪いことをしているところを見たときは、注意する」「良いことをしているところを見たときは、ほめる」については、30歳代以上で比較的高く、60歳代以上になると4～5割にまで増加している。一方、20歳代以下では、「地域の子どもとのかかわりはない」が4割を超えている。

居住年数別でみると、「出会ったときは、声をかけたり、話をする」や「悪いことをしているところを見たときは、注意する」「良いことをしているところを見たときは、ほめる」については、居住年数が長くなるに従って増加傾向にあるが、逆に、「地域の子どもとはかかわりはない」については、居住年数が長くなるに従って減少傾向にあり、居住年数が長い人よりも短い人の方が、地域の子どもとのかかわりが薄いことがうかがえる。

問 10 - 1 問 10 で「7. 地域の子どもとはかかわりはない」と回答された方にお聞きします。それはなぜですか。(はいくつでも)

図：地域の子どもとかかわりがない理由（全体）



地域の子どもとかかわりがない理由について、全体で見ると、「近所に子どもがいない」が 35.0%で最も多く、「忙しくて時間がない」(31.0%)、「かかわる機会や方法がわからない」(22.0%)、「おせっかいと思われる」(20.5%)がつづいている。

クロス表：地域の子どもとかかわりがない理由

(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの同居有無・尼崎市での居住年数・共働きの有無)

(単位：%)

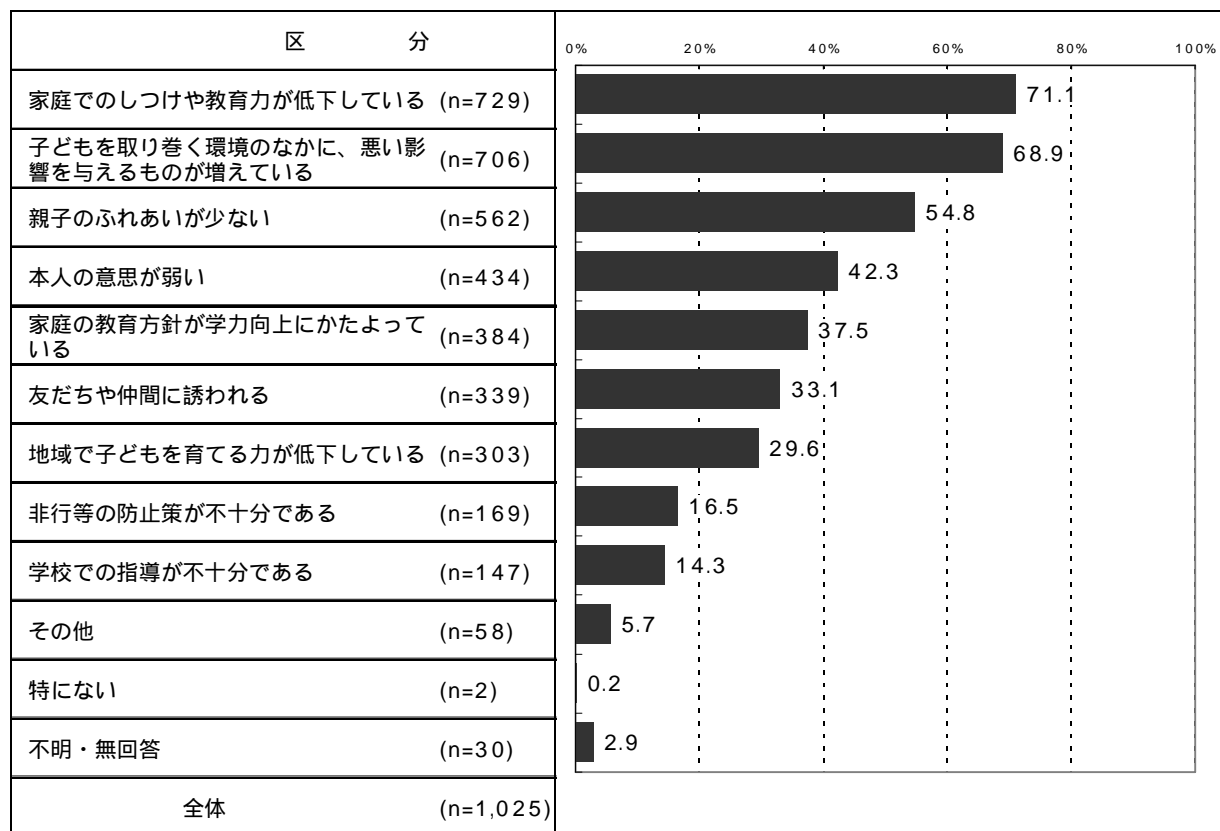
		合計(人)	近所に子どもがいない	忙しくて時間がない	子どもの方が自分に 関心がないと思う	かかわるのが 面倒である	かかわる機会や 方法がわからない	おせっかいと思われる	近所の人に不審に 思われる	かかわろうとしても 相手にされない	子どもが好きではない	その他	不明・無回答
全体		1025	35.3	27.6	17.7	13.4	21.9	22.6	18.7	8.5	6.0	9.9	3.2
性別	男性	344	34.5	29.1	20.0	15.5	21.8	22.7	22.7	9.1	4.5	4.5	2.7
	女性	670	36.3	26.3	16.4	11.7	21.6	22.8	16.4	8.2	7.0	12.9	3.5
年齢別	19歳	14	12.5	37.5	37.5	25.0	12.5	37.5	12.5	0.0	25.0	12.5	0.0
	20歳代	92	28.3	37.0	10.9	10.9	30.4	13.0	15.2	2.2	6.5	10.9	4.3
	30歳代	197	29.5	37.7	11.5	13.1	32.8	11.5	23.0	4.9	6.6	13.1	3.3
	40歳代	138	7.7	50.0	23.1	19.2	15.4	19.2	15.4	7.7	11.5	7.7	3.8
	50歳代	209	42.6	25.9	14.8	11.1	22.2	35.2	20.4	7.4	3.7	7.4	1.9
	60歳代	223	50.8	11.9	20.3	16.9	11.9	25.4	18.6	13.6	5.1	6.8	1.7
	70歳以上	142	48.1	0.0	33.3	3.7	11.1	33.3	18.5	22.2	0.0	11.1	7.4
子どもの有無	子どもがいる	280	20.8	37.5	8.3	16.7	35.4	18.8	14.6	6.3	8.3	8.3	2.1
	子どもがいない	731	39.1	25.2	19.6	12.2	18.7	23.9	20.0	8.7	5.7	10.0	3.5
子どもの同居有無	同居している	229	15.8	31.6	7.9	21.1	39.5	18.4	18.4	7.9	7.9	7.9	2.6
	同居していない	51	40.0	60.0	10.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0
尼崎市での居住年数	1年未満	19	33.3	25.0	0.0	8.3	33.3	0.0	16.7	8.3	8.3	16.7	0.0
	1～3年未満	44	39.1	43.5	17.4	8.7	34.8	13.0	17.4	0.0	8.7	13.0	0.0
	3～5年未満	35	41.7	16.7	8.3	16.7	33.3	25.0	33.3	0.0	0.0	8.3	0.0
	5～10年未満	61	40.0	30.0	15.0	15.0	30.0	15.0	30.0	5.0	5.0	15.0	0.0
	10～15年未満	56	30.0	50.0	20.0	30.0	20.0	20.0	10.0	10.0	20.0	10.0	0.0
	15～20年未満	64	9.1	36.4	9.1	18.2	22.7	18.2	18.2	0.0	13.6	9.1	9.1
	20年以上	734	38.1	23.8	21.0	12.2	17.7	27.1	17.7	11.6	4.4	8.3	3.3
共働きの有無	共働きである	279	37.9	41.4	12.1	15.5	20.7	22.4	15.5	5.2	5.2	8.6	0.0
	共働きではない	483	38.3	14.2	19.2	10.8	21.7	27.5	20.8	12.5	4.2	10.0	2.5

年齢別で見ると、「忙しくて時間がない」については、50歳代以上は大きく減少する。また、「かかわるのが面倒である」については、70歳以上は大きく減少する。一方、「かかわろうとしても相手にされない」については、年齢が高くなるに従って増加傾向にある。

居住年数別で見ると、「かかわる機会や方法がわからない」が、居住年数が短くなるに従って、増加傾向にある。

問 11 子どもの非行や犯罪が起きる主な理由は何だと思いますか。(は5つまで)

図：子どもの非行や犯罪が起きる主な理由だと思うこと(全体)



子どもの非行や犯罪が起きる主な理由だと思うことについて、全体でみると、「家庭でのしつけや教育力が低下している」が71.1%で最も多く、「子どもを取り巻く環境のなかに、悪い影響を与えるものが増えている」(68.9%)、「親子のふれあいが少ない」(54.8%)、「本人の意思が弱い」(42.3%)、「家庭の教育方針が学力向上にかたよっている」(37.5%)が つづいている。

クロス表：子どもの非行や犯罪が起きる主な理由だと思ふこと

(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無・地域における子どもとのかかわり)

(単位：%)

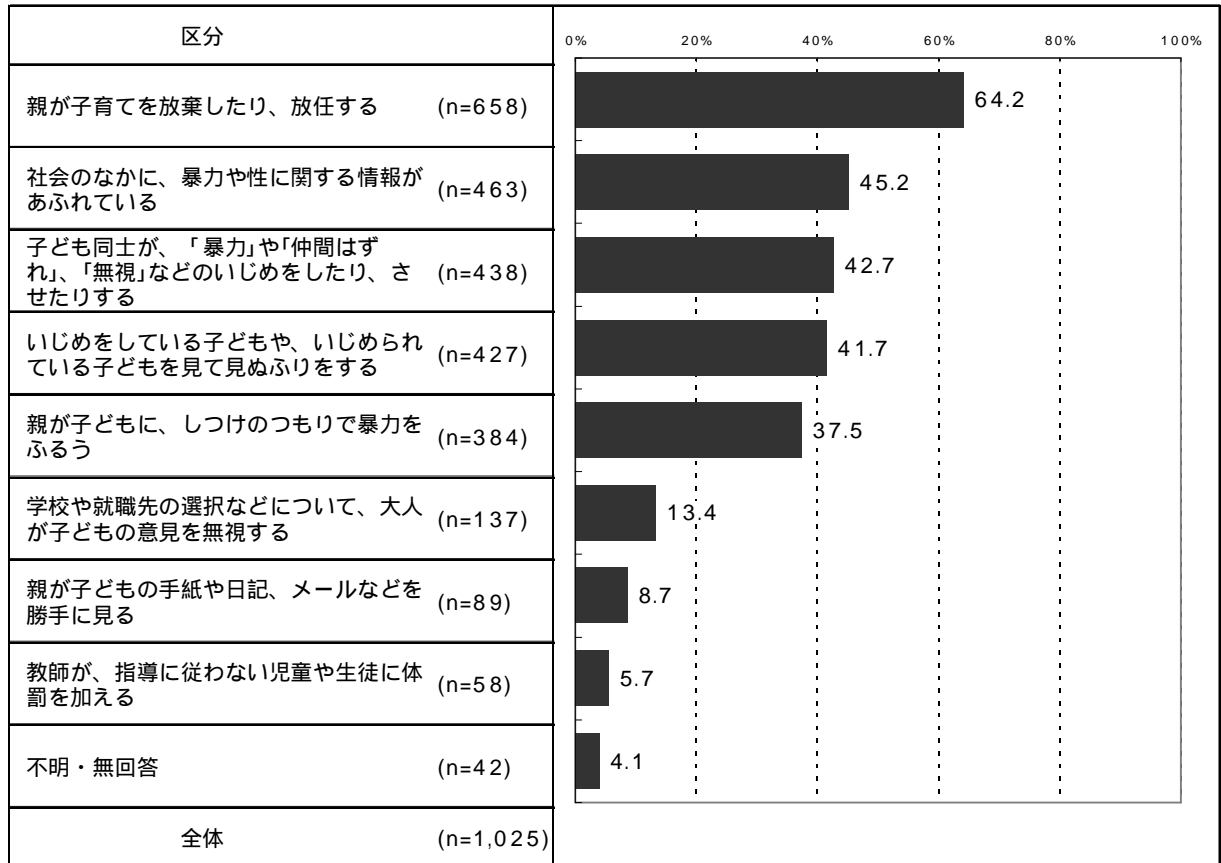
		合計(人)	家庭教育力が低下している	家庭の教育方針が学力向上にかたよっている	親子のふれあいが少ない	地域で子どもを育てる力が低下している	本人の意思が弱い	友だちや仲間から誘われる	学校での指導が不十分である	子どもを取り巻く環境のなかで、悪い影響を与えるものが増えている	非行等の防止策が不十分である	その他	特になし	不明・無回答
全体		1025	71.1	37.5	54.8	29.6	42.3	33.1	14.3	68.9	16.5	5.7	0.2	2.9
性別	男性	344	70.9	32.3	49.1	29.7	36.9	32.3	18.3	65.4	17.4	7.6	0.3	3.5
	女性	670	71.5	40.3	57.8	29.9	45.4	33.9	12.1	70.6	16.3	4.8	0.1	2.4
年齢別	19歳	14	78.6	21.4	78.6	28.6	42.9	57.1	0.0	71.4	14.3	7.1	0.0	0.0
	20歳代	92	69.6	31.5	67.4	26.1	38.0	38.0	6.5	71.7	12.0	10.9	0.0	1.1
	30歳代	197	65.0	28.9	59.4	31.5	40.6	28.4	8.6	66.5	11.2	6.6	0.5	2.0
	40歳代	138	74.6	34.8	54.3	22.5	44.2	33.3	13.8	71.0	15.2	5.8	0.0	2.2
	50歳代	209	73.7	43.5	53.1	28.7	38.8	32.5	17.2	70.8	18.2	5.7	0.5	1.4
	60歳代	223	74.0	39.5	49.8	37.7	43.5	31.4	18.4	69.1	18.4	4.9	0.0	3.1
	70歳以上	142	69.0	45.8	48.6	26.1	50.0	38.7	17.6	64.1	23.9	2.1	0.0	7.7
子どもの有無	子どもがいる	280	68.6	34.6	58.9	28.9	39.3	33.2	12.1	72.9	10.7	5.0	0.4	1.8
	子どもがいない	731	72.2	38.7	53.2	30.1	43.8	33.4	15.0	67.4	18.7	6.0	0.1	3.3
子どもの属性	乳児(1歳未満)	34	67.6	32.4	67.6	41.2	23.5	29.4	8.8	70.6	2.9	2.9	0.0	2.9
	幼児(1歳以上)	126	61.9	30.2	66.7	31.0	33.3	31.7	10.3	77.8	12.7	6.3	0.8	0.8
	小学生	107	74.8	29.9	49.5	28.0	47.7	30.8	11.2	72.0	10.3	6.5	0.9	0.9
	中学生	60	65.0	33.3	45.0	25.0	48.3	41.7	15.0	71.7	13.3	5.0	0.0	3.3
	高校生	49	73.5	36.7	46.9	24.5	44.9	38.8	18.4	67.3	6.1	4.1	0.0	2.0
	働いている 無職	14 7	85.7 85.7	35.7 0.0	57.1 71.4	7.1 28.6	64.3 42.9	42.9 14.3	21.4 28.6	64.3 85.7	14.3 28.6	0.0 14.3	0.0 0.0	0.0 0.0
子どもの同居有無	同居している	229	70.3	35.4	58.1	29.7	38.9	34.1	12.7	71.6	9.2	4.8	0.4	1.7
	同居していない	51	60.8	31.4	62.7	25.5	41.2	29.4	9.8	78.4	17.6	5.9	0.0	2.0
地域における子どもとのかかわり	出会ったときは、あいさつをする	659	72.4	39.2	56.6	30.0	44.8	31.9	15.5	70.6	17.5	4.9	0.3	2.0
	出会ったときは、声をかけたり、話をする	357	70.6	45.1	59.1	31.4	47.1	32.8	12.0	73.1	16.8	7.8	0.0	3.4
	悪いことをしているところを見たときは、注意する	413	76.5	42.4	54.0	32.0	47.7	36.1	16.0	70.0	19.1	5.6	0.0	3.4
	良いことをしているところを見たときは、ほめる	331	73.4	43.5	58.3	32.0	46.2	32.9	16.9	67.7	19.0	5.7	0.0	4.5
	子どもが困ったときや悩んでいるときに相談にのっている	58	74.1	44.8	82.8	29.3	53.4	34.5	22.4	69.0	24.1	5.2	0.0	0.0
	子ども会などの地域活動や、スポーツ活動などを一緒にしている	63	69.8	42.9	68.3	27.0	46.0	27.0	7.9	61.9	14.3	6.3	1.6	6.3
	地域の子どものことはかわりはない	200	67.0	32.5	52.5	29.5	38.5	33.0	10.5	69.5	16.0	7.0	0.0	2.5
	その他	18	61.1	50.0	55.6	38.9	33.3	11.1	22.2	55.6	5.6	33.3	0.0	0.0

年齢別で見ると、「家庭の教育方針が学力向上にかたよっている」や「学校の指導が不十分である」については、年齢が高くなるに従って増加傾向にある。

子どもの人権について

問 12 子どもの人権に関して、特に問題があると思われることは何ですか。(は3つまで)

図：子どもの人権に関して、特に問題があると思われること（全体）



子どもの人権に関して、特に問題があると思われることについて、全体で見ると、「親が子育てを放棄したり、放任する」が 64.2%で最も多く、「社会のなかに、暴力や性に関する情報があふれている」(45.2%)、「子ども同士が、「暴力」や「仲間はずれ」、「無視」などのいじめをしたり、させたりする」(42.7%)がつづいている。

クロス表：子ども的人権に関して、特に問題があると思われること

(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無)

(単位：%)

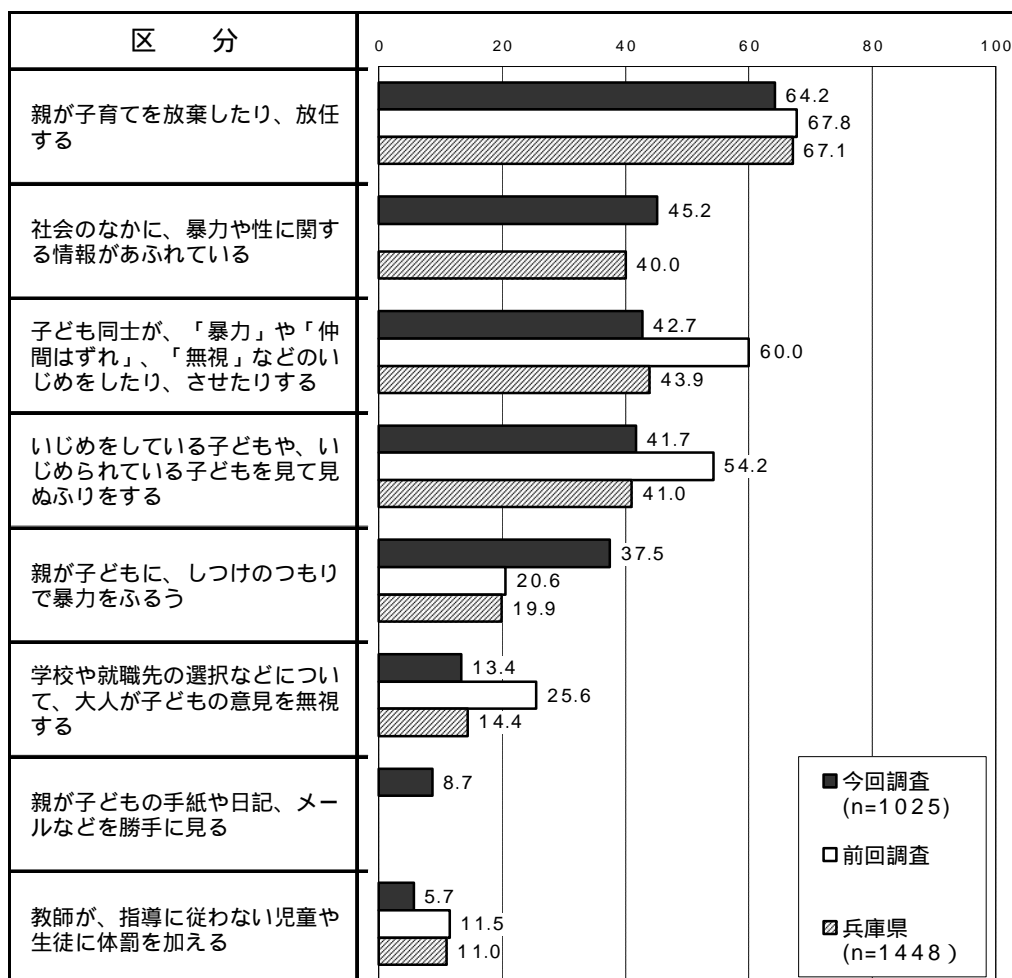
		合計(人)	親が子どもに、しつけのつもりで暴力をふるう	親が子育てを放棄したり、放任する	子ども同士が、「暴力」や「仲間はずれ」、「無視」などのいじめをしたり、させたりする	いじめをしている子どもや、いじめられている子どもを見て見ぬふりをする	いじめを無視する	学校や就職先の選択などについて、大人が子どもの意見を無視する	親が子どもの手紙や日記、メールなどを勝手に見る	教師が、指導に従わない児童や生徒に体罰を加える	社会のなかに、暴力や性に関する情報があふれている	不明・無回答
全体		1025	37.5	64.2	42.7	41.7	13.4	8.7	5.7	45.2	4.1	
性別	男性	344	31.1	64.5	36.6	41.0	16.0	9.0	5.2	44.5	5.2	
	女性	670	40.9	64.2	46.0	42.4	12.1	8.7	6.0	45.5	3.1	
年齢別	19歳	14	35.7	78.6	28.6	50.0	28.6	28.6	28.6	21.4	0.0	
	20歳代	92	40.2	69.6	46.7	40.2	16.3	15.2	8.7	33.7	1.1	
	30歳代	197	40.1	64.0	44.2	34.5	16.8	9.6	4.6	34.0	3.6	
	40歳代	138	39.1	66.7	47.8	40.6	14.5	8.7	4.3	38.4	3.6	
	50歳代	209	40.2	69.4	47.8	40.2	12.9	9.1	4.8	45.0	2.9	
	60歳代	223	32.7	63.7	39.0	47.5	9.4	5.8	3.6	56.5	4.0	
	70歳以上	142	34.5	50.7	33.1	47.2	11.3	5.6	9.2	59.2	8.5	
子どもの有無	子どもがいる	280	43.2	68.6	50.7	38.6	11.8	7.5	4.3	36.8	2.1	
	子どもがいない	731	35.3	62.5	39.9	43.1	14.0	9.3	6.2	48.6	4.7	
子どもの属性	乳児(1歳未満)	34	38.2	64.7	38.2	38.2	11.8	14.7	0.0	29.4	5.9	
	幼児(1歳以上)	126	46.8	64.3	52.4	40.5	14.3	7.1	5.6	35.7	1.6	
	小学生	107	41.1	69.2	49.5	36.4	11.2	2.8	2.8	41.1	0.9	
	中学生	60	41.7	68.3	45.0	36.7	8.3	8.3	5.0	36.7	3.3	
	高校生	49	40.8	63.3	55.1	38.8	16.3	12.2	2.0	38.8	2.0	
	働いている	14	28.6	85.7	35.7	42.9	7.1	14.3	7.1	50.0	0.0	
	無職	7	42.9	85.7	28.6	57.1	0.0	0.0	0.0	85.7	0.0	
子どもの同居有無	同居している	229	42.4	69.0	52.4	37.6	11.4	6.1	4.4	35.8	2.2	
	同居していない	51	47.1	66.7	43.1	43.1	13.7	13.7	3.9	41.2	2.0	

年齢別でみると、「親が子どもの手紙や日記、メールなどを勝手に見る」については、20歳代以下では高い割合になっているが、年齢が高くなるに従って減少傾向にある。一方、「社会のなかに、暴力や性に関する情報があふれている」については、年齢が高くなるに従って増加している。

「いじめ」に関することについて、20～50歳代では、「いじめを見て見ぬふりをする」ことよりも、「いじめをしたり、させたりする」ことの方が、割合が高くなっている。

また、18歳未満の子どもがいる人については、幼児、小学生、中学生、高校生の保護者は、他の保護者に比べて、「いじめ」に関して、同様の傾向が出ていることが特徴的である。

図：子どもの人権に関して、特に問題があると思われること



資料：今回調査とは、本調査問 12 の結果

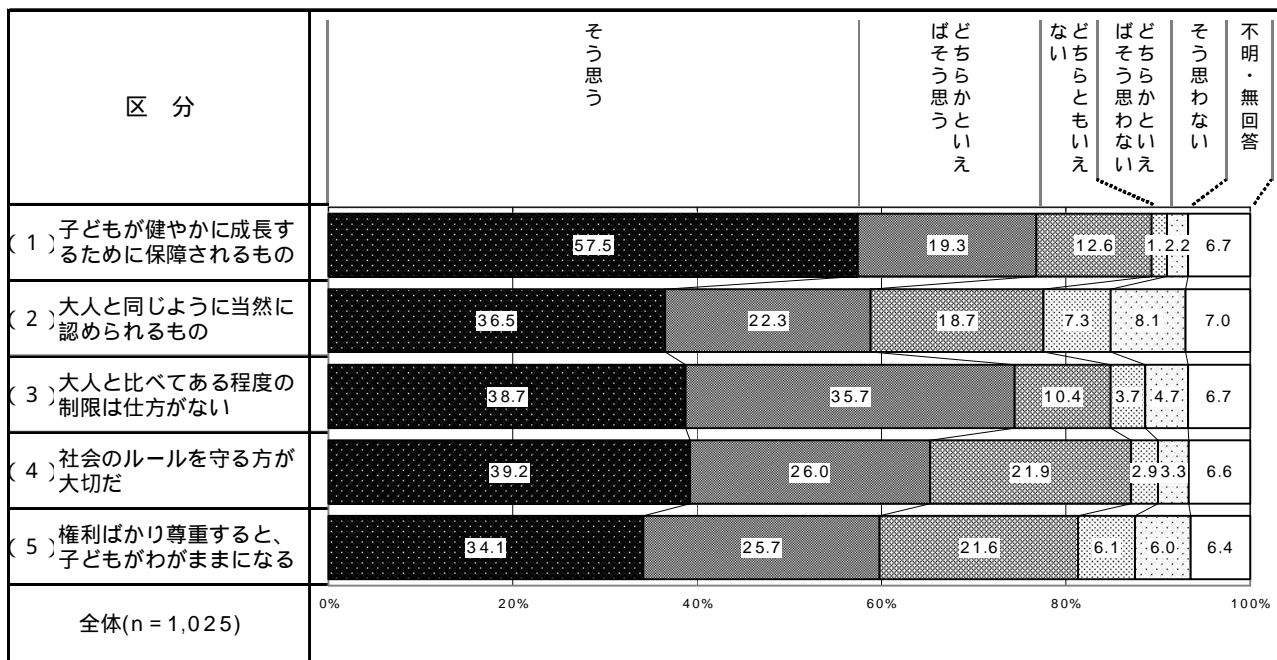
前回調査とは、「尼崎市民の人権問題についての意識調査」(平成 13 年 尼崎市)

兵庫県とは、「兵庫県人権に関する県民調査」(平成 15 年 兵庫県)

上記グラフの区分は今回調査のもので、前回調査や兵庫県調査の結果については、類似する項目のデータを表示している。また、上記グラフの区分が前回調査や兵庫県調査にない場合は、棒グラフは表示されていない。

問 13 子どもの人権について、どのようなイメージをお持ちですか。((1) ~ (5) それぞれ1つずつ)

図：子どもの人権に関するイメージ（全体）

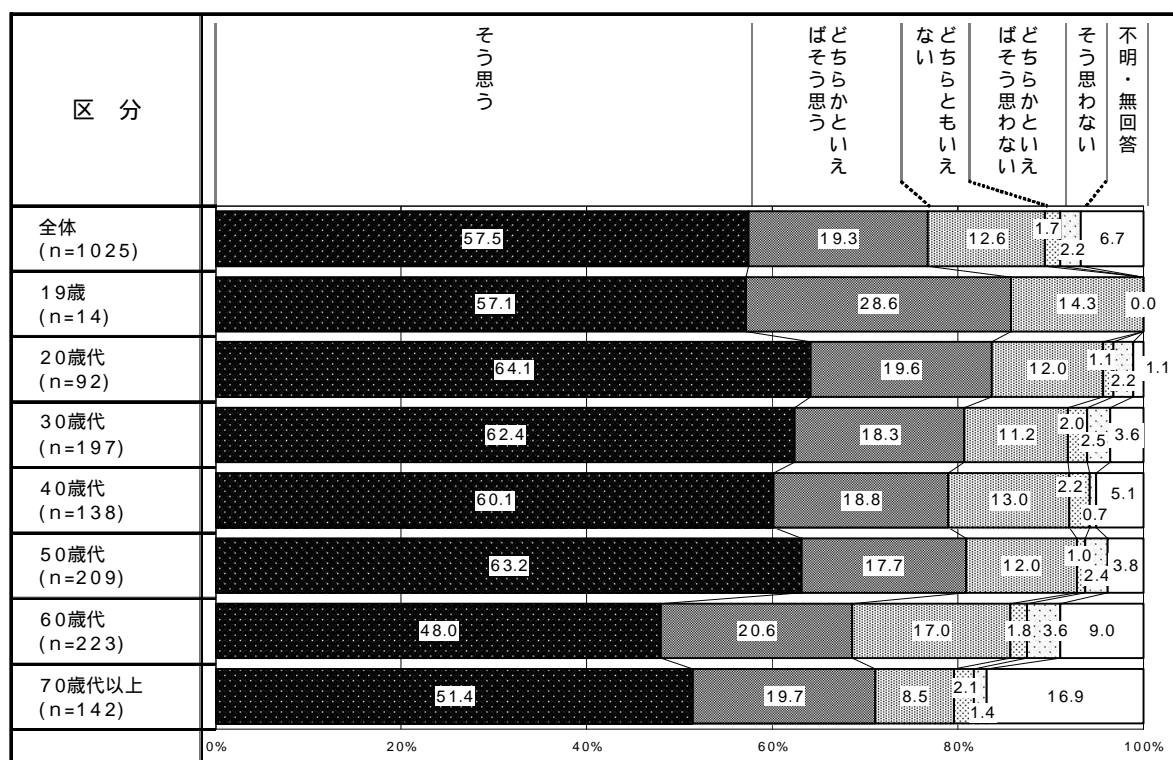


子どもの人権に対して抱くイメージでは、「子どもが健やかに成長するために保障されるもの」と感じる人（「そう思う」「どちらかといえればそう思う」と答えた人）が76.8%で最も多く、「大人と比べてある程度の制限は仕方ない」(74.4%)、「社会のルールを守る方が大切だ」(65.2%)がつづいている。

また、「子どもが健やかに成長するために保障されるもの」については、「そう思う」と答えた人のみでも57.5%と過半数を占めており、子どもの人権に対して「子どもが健やかに成長するために保障されるもの」というイメージを強く抱く人が多いことがうかがえる。

(1) 「子どもが健やかに成長するために保障されるもの」

図：「子どもが健やかに成長するために保障されるもの」について（全体・年齢別）



「子どもが健やかに成長するために保障されるもの」については、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人が、30歳代以下では8割、その他年代でも7割は超えているが、年齢が高くなるに従ってその割合は減少傾向にある。

クロス表：「子どもが健やかに成長するために保障されるもの」について

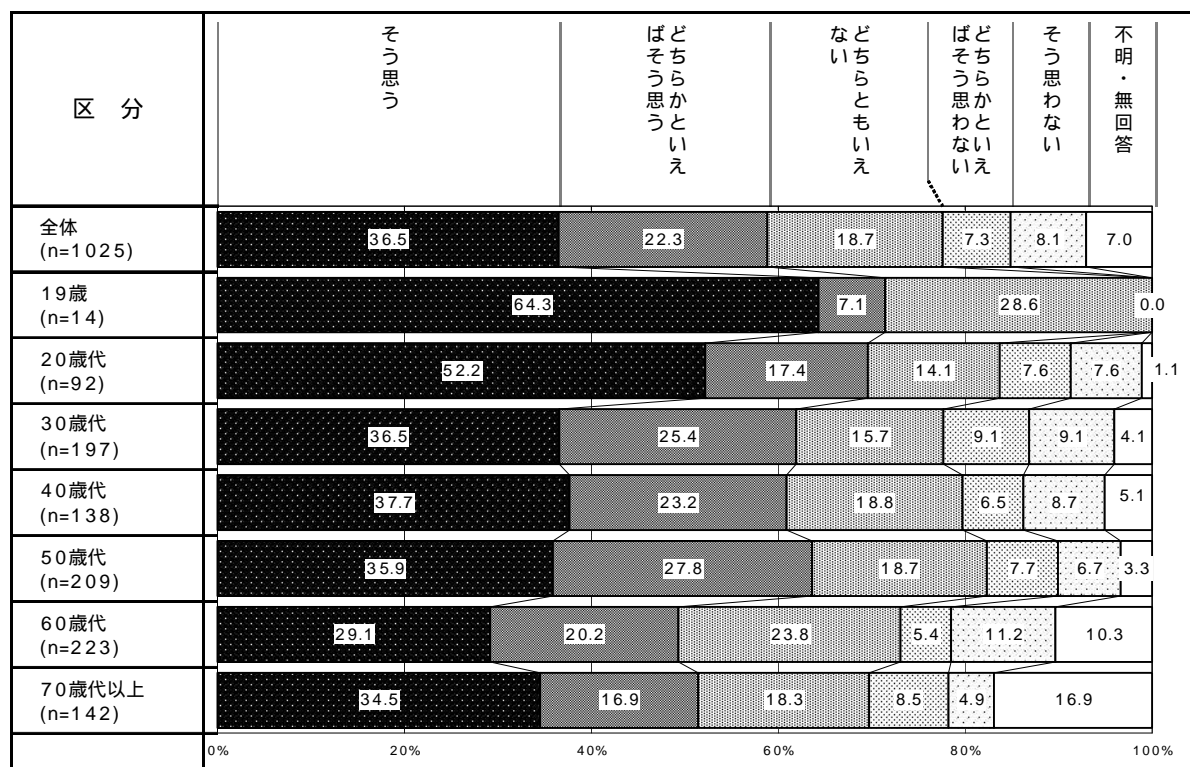
(全体・性別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計 (人)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		1025	57.5	19.3	12.6	1.7	2.2	6.7
性別	男性	344	57.0	20.3	10.2	3.2	3.2	6.1
	女性	670	58.1	18.7	13.9	0.9	1.8	6.7
子どもの有無	子どもがいる	280	71.1	15.4	8.9	1.1	1.8	1.8
	子どもがいない	731	52.5	20.5	14.1	1.9	2.5	8.5
子どもの属性	乳児 (1歳未満)	34	70.6	8.8	11.8	2.9	2.9	2.9
	幼児 (1歳以上)	126	71.4	17.5	7.1	1.6	1.6	0.8
	小学生	107	72.0	15.0	9.3	0.9	1.9	0.9
	中学生	60	63.3	16.7	13.3	0.0	3.3	3.3
	高校生	49	77.6	16.3	6.1	0.0	0.0	0.0
	働いている	14	71.4	14.3	7.1	0.0	0.0	7.1
	無職	7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
子どもの同居有無	同居している	229	71.6	15.3	9.6	0.9	1.3	1.3
	同居していない	51	68.6	15.7	5.9	2.0	3.9	3.9

(2) 大人と同じように当然に認められるもの

図：「大人と同じように当然認められるもの」について（全体・年齢別）



「大人と同じように当然に認められるもの」については、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人が、20歳代以下では7割、30～50歳代でも6割を超えているものの、60歳代以上になるとその割合は、5割程度にまで減少する。

クロス表：「大人と同じように当然認められるもの」について

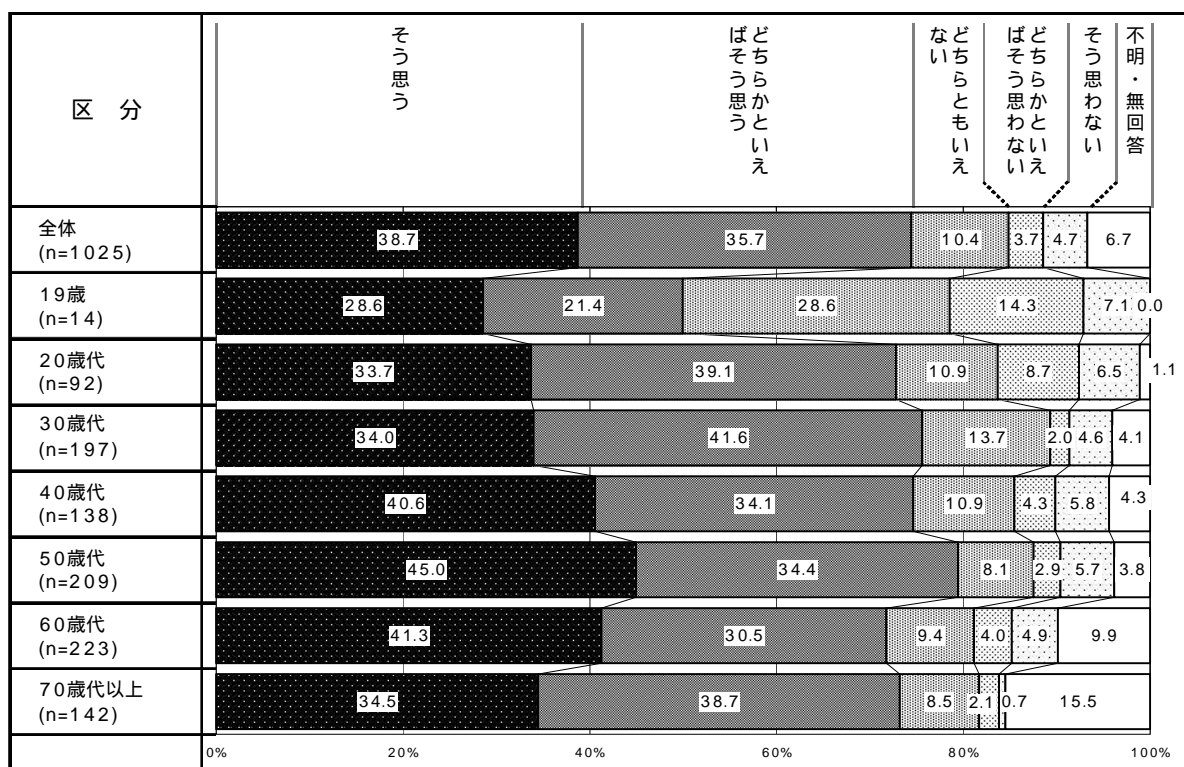
(全体・性別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計 (人)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		1025	36.5	22.3	18.7	7.3	8.1	7.0
性別	男性	344	37.8	20.3	18.3	9.0	7.3	7.3
	女性	670	35.8	23.3	19.3	6.4	8.7	6.6
子どもの有無	子どもがいる	280	41.4	24.3	16.1	8.9	6.8	2.5
	子どもがいない	731	34.6	21.5	20.0	6.7	8.8	8.5
子どもの属性	乳児 (1歳未満)	34	41.2	32.4	11.8	5.9	5.9	2.9
	幼児 (1歳以上)	126	39.7	26.2	17.5	9.5	5.6	1.6
	小学生	107	40.2	20.6	17.8	9.3	10.3	1.9
	中学生	60	36.7	21.7	13.3	13.3	8.3	6.7
	高校生	49	42.9	30.6	12.2	10.2	2.0	2.0
	働いている	14	42.9	21.4	14.3	7.1	7.1	7.1
	無職	7	57.1	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0
子どもの同居有無	同居している	229	38.9	26.2	17.0	9.2	7.0	1.7
	同居していない	51	52.9	15.7	11.8	7.8	5.9	5.9

(3) 大人と比べてある程度の制限は仕方がない

図：「大人と比べてある程度の制限は仕方がない」について（全体・年齢別）



「大人と比べてある程度の制限は仕方がない」については、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人が、20歳代以上では7割を超えている。

クロス表：「大人と比べてある程度の制限は仕方がない」について

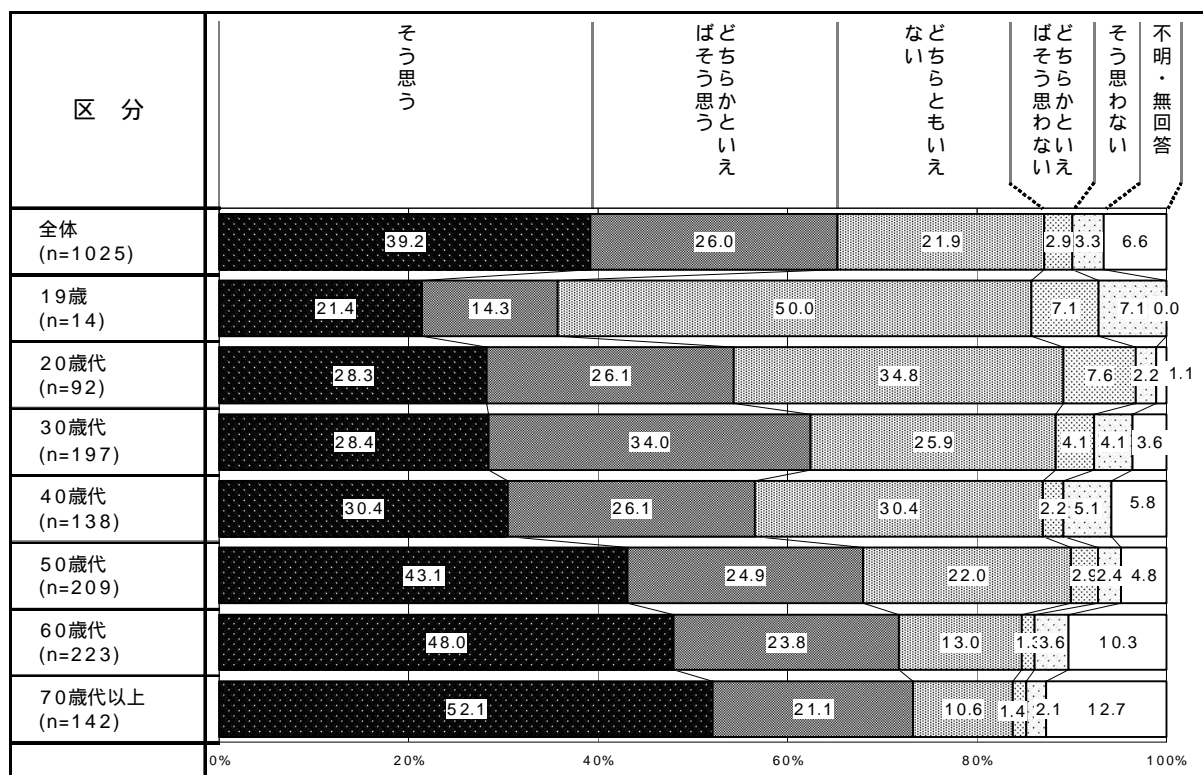
(全体・性別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計 (人)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		1025	38.7	35.7	10.4	3.7	4.7	6.7
性別	男性	344	39.2	34.6	8.1	5.2	6.4	6.4
	女性	670	38.5	36.4	11.6	3.0	3.9	6.6
子どもの有無	子どもがいる	280	35.4	41.1	13.9	3.2	4.3	2.1
	子どもがいない	731	40.1	33.7	9.2	4.0	4.9	8.2
子どもの属性	乳児 (1歳未満)	34	29.4	47.1	14.7	5.9	0.0	2.9
	幼児 (1歳以上)	126	36.5	42.1	15.9	1.6	3.2	0.8
	小学生	107	32.7	43.0	16.8	1.9	3.7	1.9
	中学生	60	35.0	31.7	18.3	5.0	6.7	3.3
	高校生	49	34.7	44.9	10.2	2.0	6.1	2.0
	働いている	14	35.7	42.9	0.0	14.3	7.1	0.0
	無職	7	57.1	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0
子どもの同居有無	同居している	229	35.8	42.4	13.1	3.1	3.5	2.2
	同居していない	51	33.3	35.3	17.6	3.9	7.8	2.0

(4) 社会のルールを守る方が大切だ

図：「社会のルールを守る方が大切だ」について（全体・年齢別）



「社会のルールを守る方が大切だ」については、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人が、20歳代では過半数を占め、年齢が高くなるに従ってその割合は増加傾向にある。また、「そう思う」は50歳代以上で大きく増加し、70歳以上では過半数を占めている

クロス表：「社会のルールを守る方が大切だ」について

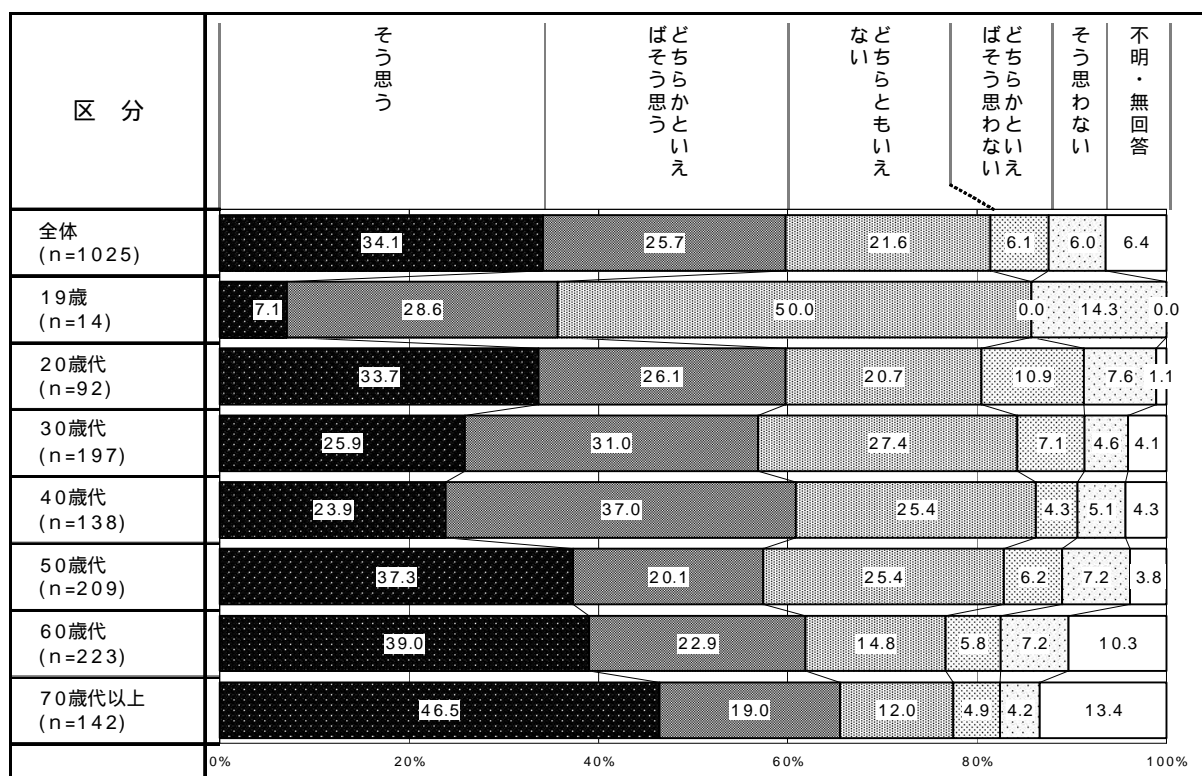
(全体・性別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計 (人)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		1025	39.2	26.0	21.9	2.9	3.3	6.6
性別	男性	344	44.2	24.4	17.4	3.5	4.1	6.4
	女性	670	36.7	26.9	24.2	2.7	3.0	6.6
子どもの有無	子どもがいる	280	26.8	32.1	30.7	3.6	4.3	2.5
	子どもがいない	731	44.0	23.8	18.3	2.7	3.0	8.1
子どもの属性	乳児 (1歳未満)	34	26.5	23.5	35.3	11.8	0.0	2.9
	幼児 (1歳以上)	126	23.8	32.5	33.3	3.2	5.6	1.6
	小学生	107	25.2	31.8	33.6	3.7	2.8	2.8
	中学生	60	36.7	28.3	25.0	1.7	3.3	5.0
	高校生	49	30.6	36.7	24.5	2.0	6.1	0.0
	働いている	14	28.6	42.9	7.1	7.1	7.1	7.1
	無職	7	14.3	42.9	42.9	0.0	0.0	0.0
子どもの同居有無	同居している	229	27.9	31.9	30.6	3.9	3.9	1.7
	同居していない	51	21.6	33.3	31.4	2.0	5.9	5.9

(5) 権利ばかり尊重すると、子どもがわがままになる

図：「権利ばかり尊重すると、子どもがわがままになる」について（全体・年齢別）



「権利ばかり尊重すると、子どもがわがままになる」については、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人が、20歳代以上では6割程度を占めている。また、「そう思う」は、20歳代や50歳代以上では3割以上を占め、70歳以上では過半数近くを占めている。

クロス表：「権利ばかり尊重すると、子どもがわがままになる」について

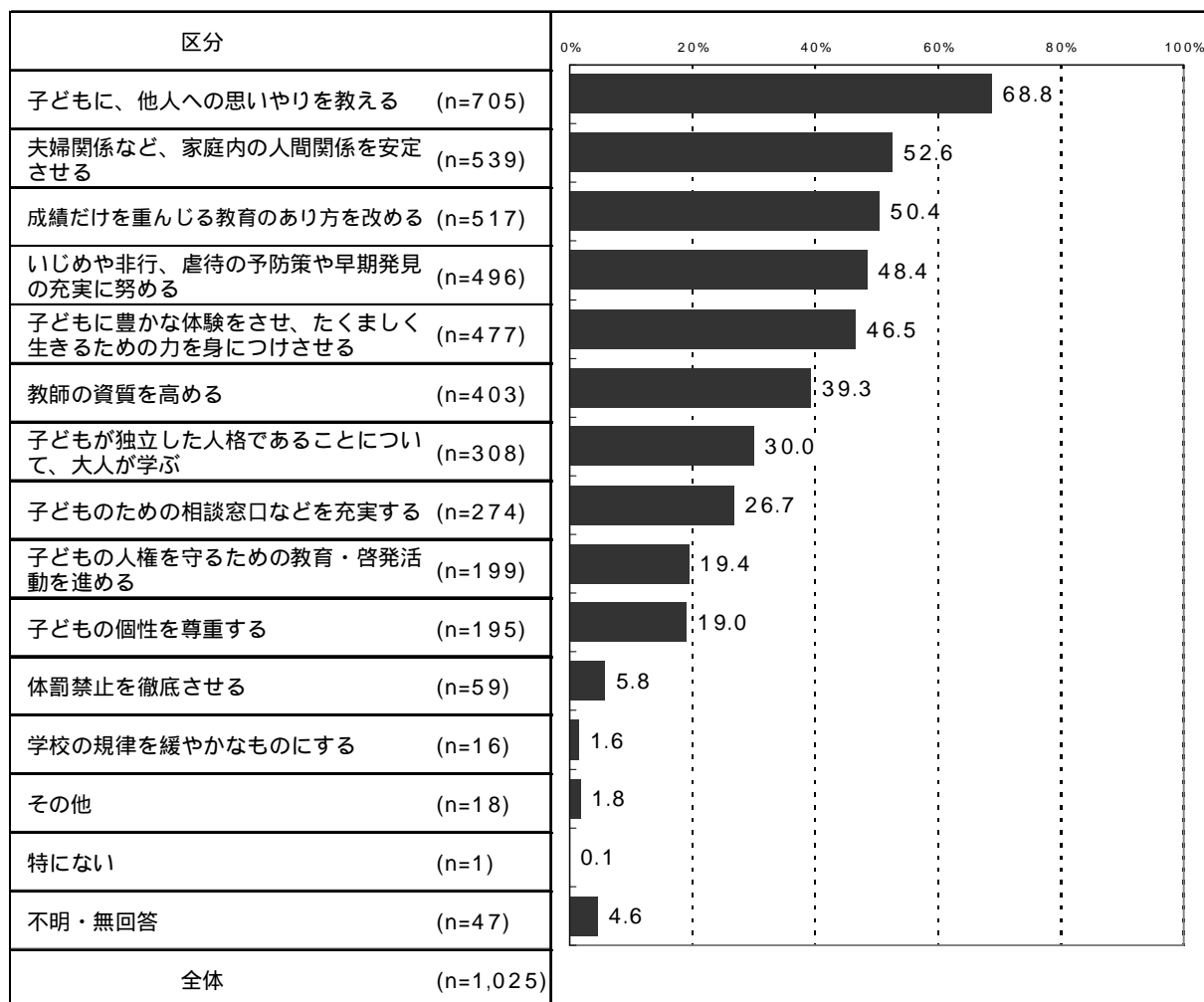
(全体・性別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計 (人)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		1025	34.1	25.7	21.6	6.1	6.0	6.4
性別	男性	344	39.2	25.3	15.4	5.8	8.1	6.1
	女性	670	31.6	25.8	24.6	6.4	5.1	6.4
子どもの有無	子どもがいる	280	25.0	31.8	30.4	5.7	5.0	2.1
	子どもがいない	731	37.8	23.4	18.2	6.2	6.6	7.9
子どもの属性	乳児(1歳未満)	34	29.4	23.5	32.4	5.9	5.9	2.9
	幼児(1歳以上)	126	20.6	32.5	34.1	6.3	4.8	1.6
	小学生	107	17.8	35.5	33.6	6.5	3.7	2.8
	中学生	60	23.3	30.0	31.7	6.7	3.3	5.0
	高校生	49	30.6	36.7	24.5	2.0	6.1	0.0
	働いている	14	64.3	14.3	14.3	0.0	7.1	0.0
	無職	7	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0
子どもの同居有無	同居している	229	24.5	32.3	31.0	5.7	4.8	1.7
	同居していない	51	27.5	29.4	27.5	5.9	5.9	3.9

問 14 子どもの人権を守るためには、何が必要だと思いますか。(は5つまで)

図：子どもの人権を守るために必要だと思うこと(全体)



子どもの人権を守るために必要だと思うことについて、全体でみると、「子どもに、他人への思いやりを教える」が 68.8%で最も多く、「夫婦関係など、家庭内の人間関係を安定させる」(52.6%)、「成績だけを重んじる教育のあり方を改める」(50.4%)、「いじめや非行、虐待の予防策や早期発見の充実に努める」(48.4%)、「子どもに豊かな体験をさせ、たくましく生きるための力を身につけさせる」(46.5%)がつついている。

クロス表：子どもの人権を守るために必要だと思うこと

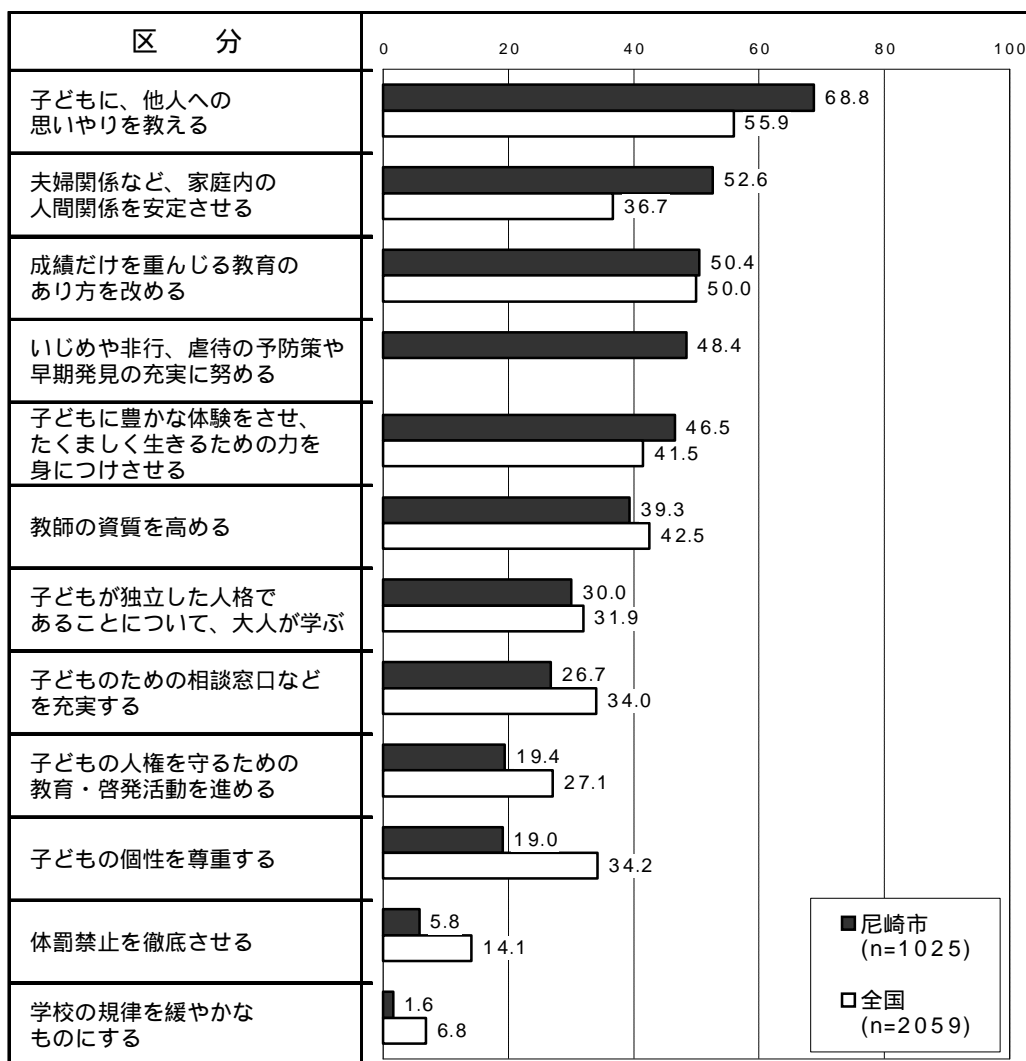
(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの属性・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計(人)	子どものための相談窓口などを充実する	子どもの人権を守るための教育・啓発活動を進める	体罰禁止を徹底させる	学校の規律を緩やかなものにす	成績だけを重んじる教育のあり方を改める	子どもが独立した人格であることについて、大人が学ぶ	教師の資質を高める	夫婦関係など、家庭内の人間関係を安定させる	子どもに、他人への思いやりを教える	子どもの個性を尊重する	子どもに豊かな体験をさせ、たくましく生きるための力を身につけさせる	いじめや非行、虐待の予防策や早期発見の充実に努める	その他	特にな	不明・無回答
	全体	1025	26.7	19.4	5.8	1.6	50.4	30.0	39.3	52.6	68.8	19.0	46.5	48.4	1.8	0.1	4.6
性別	男性	344	26.5	20.9	6.7	2.3	53.2	26.5	41.0	51.2	68.3	19.5	42.7	42.4	1.5	0.3	5.2
	女性	670	27.3	18.5	5.2	1.2	49.1	32.1	38.8	53.7	69.4	18.8	48.8	51.5	1.8	0.0	3.9
年齢別	19歳	14	14.3	0.0	7.1	7.1	50.0	50.0	7.1	50.0	85.7	35.7	71.4	21.4	7.1	0.0	0.0
	20歳代	92	27.2	18.5	4.3	1.1	41.3	39.1	29.3	63.0	71.7	20.7	56.5	47.8	1.1	0.0	1.1
	30歳代	197	21.3	14.7	5.1	0.5	42.6	31.0	41.1	52.3	73.6	15.7	47.2	50.8	2.5	0.0	1.0
	40歳代	138	21.7	18.8	4.3	2.2	42.0	32.6	41.3	44.2	66.7	21.7	47.8	42.8	0.7	0.7	6.5
	50歳代	209	29.7	21.5	3.8	0.0	53.1	32.1	41.6	48.8	67.9	18.7	42.1	52.6	3.3	0.0	3.8
	60歳代	223	29.6	22.4	6.3	3.1	61.0	24.7	40.8	59.6	64.6	17.5	42.6	48.9	0.9	0.0	5.4
	70歳以上	142	33.1	20.4	10.6	2.1	54.9	24.6	40.1	50.7	69.7	21.1	49.3	46.5	0.0	0.0	9.2
子ども有無	子どもがいる	280	22.9	18.2	5.4	1.1	46.8	35.4	44.3	52.1	71.8	20.0	48.6	50.7	2.1	0.0	1.1
	子どもがいない	731	28.6	19.8	5.9	1.8	52.0	28.3	37.5	53.1	68.0	18.7	46.1	47.6	1.5	0.1	5.6
子どもの属性	乳児(1歳未満)	34	26.5	8.8	2.9	0.0	55.9	38.2	32.4	64.7	79.4	20.6	47.1	47.1	2.9	0.0	0.0
	幼児(1歳以上)	126	22.2	13.5	7.9	0.8	48.4	33.3	42.1	58.7	72.2	16.7	52.4	54.8	1.6	0.0	0.0
	小学生	107	19.6	20.6	3.7	0.9	38.3	34.6	46.7	48.6	72.0	16.8	52.3	50.5	2.8	0.0	1.9
	中学生	60	28.3	25.0	3.3	0.0	38.3	35.0	48.3	43.3	70.0	21.7	41.7	55.0	1.7	0.0	1.7
	高校生	49	22.4	30.6	4.1	2.0	42.9	40.8	46.9	49.0	65.3	30.6	36.7	40.8	0.0	0.0	2.0
	働いている	14	42.9	14.3	7.1	0.0	42.9	21.4	42.9	64.3	92.9	7.1	57.1	57.1	0.0	0.0	0.0
	無職	7	42.9	28.6	0.0	0.0	57.1	42.9	28.6	42.9	57.1	42.9	57.1	71.4	0.0	0.0	0.0
子どもの同居有無	同居している	229	24.0	18.3	3.9	0.9	47.2	34.5	47.6	52.4	69.9	19.2	48.5	50.2	2.2	0.0	1.3
	同居していない	51	17.6	17.6	11.8	2.0	45.1	39.2	29.4	51.0	80.4	23.5	49.0	52.9	2.0	0.0	0.0

年齢別で見ると、「子どもが独立した人格であることについて、大人が学ぶ」については、年齢が高くなるに従って減少傾向にある。

図：子どもの人権を守るために必要だと思うこと



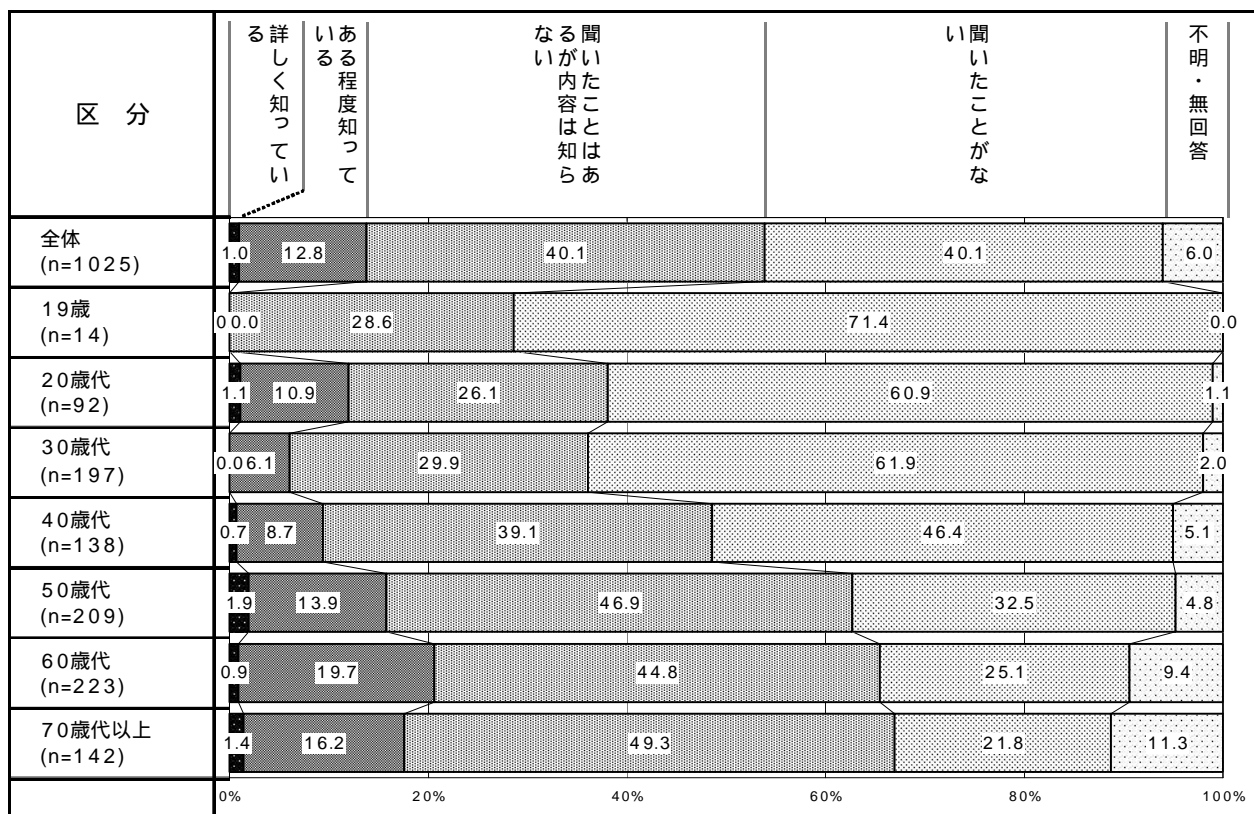
資料：ニ崎市とは、本調査問 15 の結果

全国とは、「世論調査（人権擁護）」（平成 15 年 内閣府）

上記グラフの区分は今回調査のもので、全国の結果については、類似する項目のデータを表示している。また、上記グラフの区分が全国の調査にない場合は、棒グラフは表示されていない。

問 15 日本が、平成 6 年に批准した「児童の権利に関する条約」を知っていますか。(は 1 つ)

図：「児童の権利に関する条約」の認知状況（全体・年齢別）



「児童の権利に関する条約」の認知状況について、全体で見ると、「聞いたことはあるが内容は知らない」と「聞いたことがない」がともに 40.1%で最も多い。

つづいて、「ある程度知っている」(12.8%)、「詳しく知っている」(1.0%)となっており、これらを合わせると、「児童の権利に関する条約」の内容を知っている人は 13.8%である。

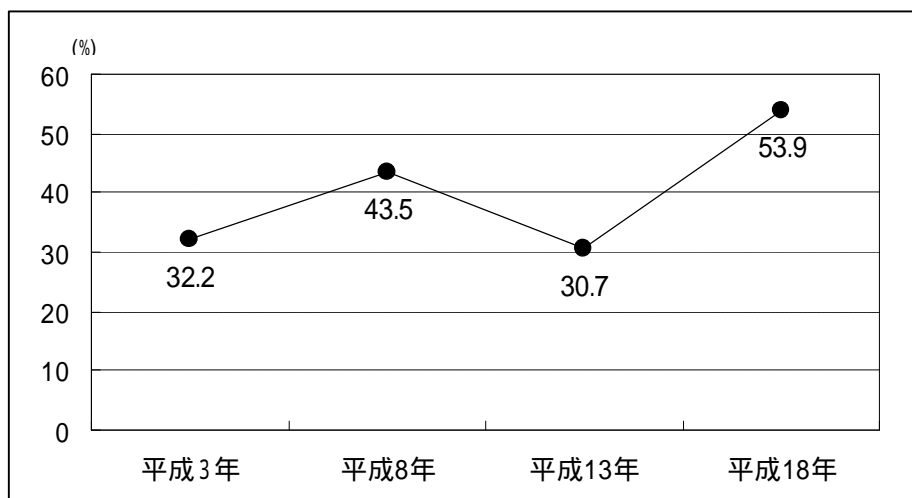
年齢別で見ると、「児童の権利に関する条約」の内容を知っている人は、年齢が高くなるに従って、その割合は増加傾向にある。一方、「聞いたことがない」人については、年齢が高くなるに従って減少していき、40歳代以上はその割合は大きく減少する。

クロス表：「児童の権利に関する条約」の認知状況（全体・性別・子どもの有無・子どもの同居有無）

(単位：%)

		合計 (人)	詳しく知っている	ある程度知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	聞いたことがない	不明・無回答
全体		1025	1.0	12.8	40.1	40.1	6.0
性別	男性	344	1.2	13.4	44.2	35.5	5.8
	女性	670	0.9	12.5	38.4	42.5	5.7
子ども	子どもがいる	280	0.4	9.3	38.2	50.4	1.8
	子どもがいない	731	1.2	14.0	41.3	36.1	7.4
同居	同居している	229	0.4	8.7	35.8	52.8	2.2
	同居していない	51	0.0	11.8	49.0	39.2	0.0

図：「児童の権利に関する条約」を聞いたことがある、知っている人の推移



資料：平成3、8、13年については、「尼崎市民の人権問題についての意識調査」において「児童の権利に関する条約」を「聞いたことがある」「知っている」と回答割合を合算したもの
平成18年については、本調査問15において「詳しく知っている」「ある程度知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」の回答割合を合算したもの

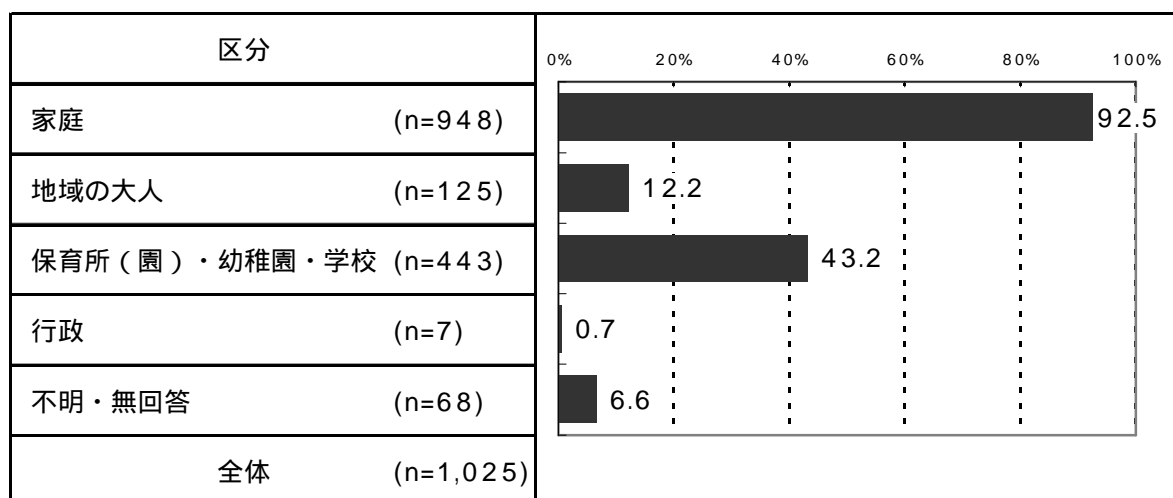
「児童の権利に関する条約」を聞いたことがある、知っている人の推移みると、平成13年で一度減少したものの、平成3年からは平成18年にかけては、21.7ポイント増加している。

子どもの健やかな育ちや地域社会のあり方について

問 16 地域社会のなかで、子どもたちの健やかな育ちを支えていくには、家庭、地域の大人、保育所(園)・幼稚園・学校、行政が、今後、さらに連携を深めていくことが重要になります。こうした連携を深めながらも、子どもたちの育成に関する以下のことで、主に役割を担うところは、どこだと思いますか。((1) ~ (14) それぞれ は2つまで)

(1) しつけ、マナーを教える

図：「しつけ、マナーを教える」役割を主に担うと思うところ (全体)



「しつけ、マナーを教える」役割を主に担うと思うところについて、全体で見ると、「家庭」が92.5%で最も多く、「保育所(園)・幼稚園・学校」(43.2%)がつづいている。

クロス表：「しつけ、マナーを教える」役割を主に担うと思うところ

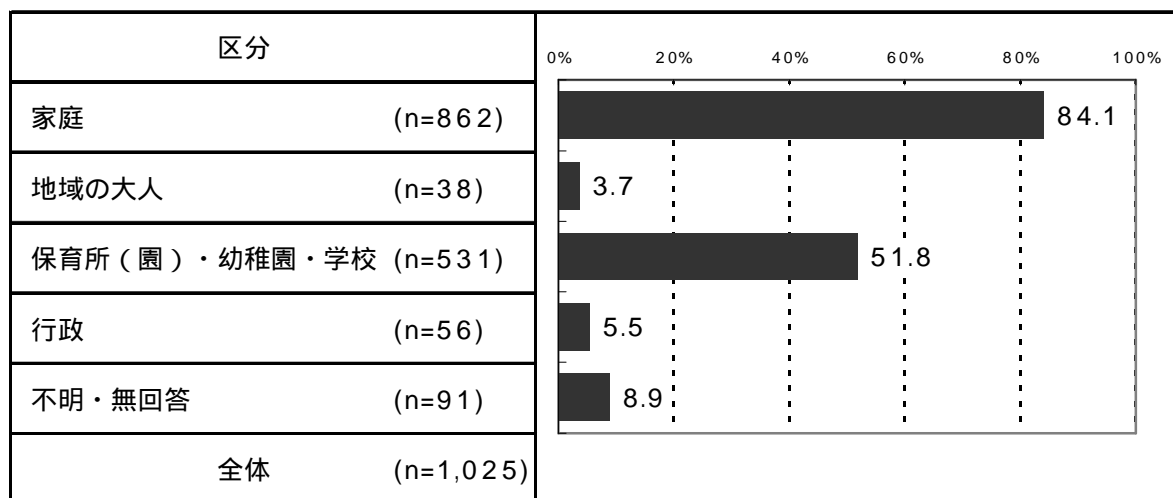
(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計 (人)	家庭	地域の大人	保育所(園)・ 幼稚園・学校	行政	不明・ 無回答
全体		1025	92.5	12.2	43.2	0.7	6.6
性別	男性	344	91.0	11.3	41.3	1.2	7.6
	女性	670	93.7	12.8	44.0	0.4	5.8
年齢別	19歳	14	100.0	21.4	57.1	0.0	0.0
	20歳代	92	98.9	10.9	48.9	0.0	1.1
	30歳代	197	98.0	9.6	55.3	0.5	1.5
	40歳代	138	93.5	19.6	42.8	0.0	4.3
	50歳代	209	93.3	14.4	44.5	0.5	5.7
	60歳代	223	88.3	12.1	31.8	0.4	10.8
	70歳以上	142	85.9	6.3	36.6	2.8	14.1
子どもの有無	子どもがいる	280	97.9	13.6	56.1	0.7	1.4
	子どもがいない	731	90.7	11.8	38.0	0.7	8.5
子どもの同居有無	同居している	229	98.3	14.4	58.1	0.4	1.3
	同居していない	51	96.1	9.8	47.1	2.0	2.0

(2) 健康なからだや健全な心を育てる

図：「健康なからだや健全な心を育てる」役割を主に担うと思うところ（全体）



「健康なからだや健全な心を育てる」役割を主に担うと思うところについて、全体で見ると、「家庭」が84.1%で最も多く、「保育所(園)・幼稚園・学校」(51.8%)がつづいている。

クロス表：「健康なからだや健全な心を育てる」役割を主に担うと思うところ

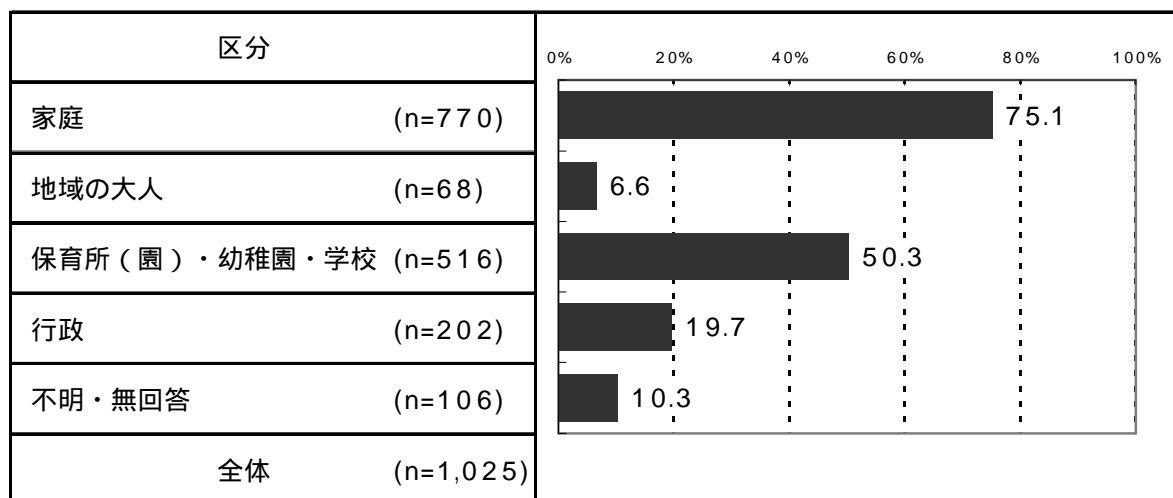
(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計 (人)	家庭	地域の大人	保育所(園)・ 幼稚園・学校	行政	不明・ 無回答
全体		1025	84.1	3.7	51.8	5.5	8.9
性別	男性	344	80.8	2.9	53.2	5.2	10.8
	女性	670	86.1	4.2	51.2	5.7	7.6
年齢別	19歳	14	92.9	7.1	64.3	0.0	0.0
	20歳代	92	95.7	6.5	51.1	5.4	1.1
	30歳代	197	90.4	2.5	60.9	6.6	3.6
	40歳代	138	87.0	3.6	56.5	7.2	6.5
	50歳代	209	90.9	3.3	54.5	3.8	5.7
	60歳代	223	78.9	5.4	43.5	4.5	11.2
	70歳以上	142	63.4	1.4	43.0	7.0	24.6
子どもの有無	子どもがいる	280	92.1	3.6	61.8	8.9	2.1
	子どもがいない	731	81.1	3.8	48.2	4.0	11.4
子どもの同居有無	同居している	229	93.0	3.1	64.2	8.3	1.7
	同居していない	51	88.2	5.9	51.0	11.8	3.9

(3) 悩みや相談ごとに対応する

図：「悩みや相談ごとに対応する」役割を主に担うと思うところ（全体）



「悩みや相談ごとに対応する」役割を主に担うと思うところについて、全体で見ると、「家庭」が75.1%で最も多く、「保育所(園)・幼稚園・学校」(50.3%)がつづいている。

クロス表：「悩みや相談ごとに対応する」役割を主に担うと思うところ

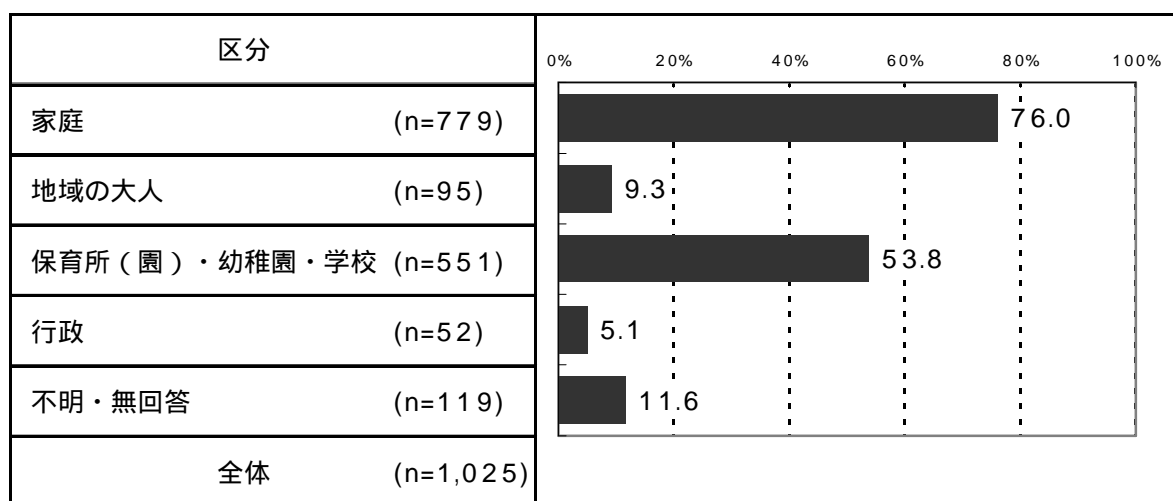
(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計 (人)	家庭	地域の大人	保育所(園)・ 幼稚園・学校	行政	不明・ 無回答
全体		1025	75.1	6.6	50.3	19.7	10.3
性別	男性	344	71.5	7.6	50.6	20.3	12.5
	女性	670	77.2	6.1	50.4	19.6	9.0
年齢別	19歳	14	71.4	0.0	64.3	21.4	0.0
	20歳代	92	84.8	5.4	60.9	15.2	2.2
	30歳代	197	90.9	7.6	55.3	15.2	3.0
	40歳代	138	81.9	5.8	56.5	18.1	7.2
	50歳代	209	79.9	5.7	57.9	19.1	7.2
	60歳代	223	63.2	8.1	39.5	25.6	13.9
	70歳以上	142	52.8	6.3	35.9	22.5	28.2
子どもの有無	子どもがいる	280	87.5	5.7	59.3	15.4	3.6
	子どもがいない	731	70.3	6.8	47.1	21.5	12.9
子どもの同居有無	同居している	229	86.5	6.6	60.7	16.6	3.5
	同居していない	51	92.2	2.0	52.9	9.8	3.9

(4) 人格や人生観を形成する

図：「人格や人生観を形成する」役割を主に担うと思うところ（全体）



「人格や人生観を形成する」役割を主に担うと思うところについて、全体で見ると、「家庭」が76.0%で最も多く、「保育所(園)・幼稚園・学校」(53.8%)がつづいている。

クロス表：「人格や人生観を形成する」役割を主に担うと思うところ

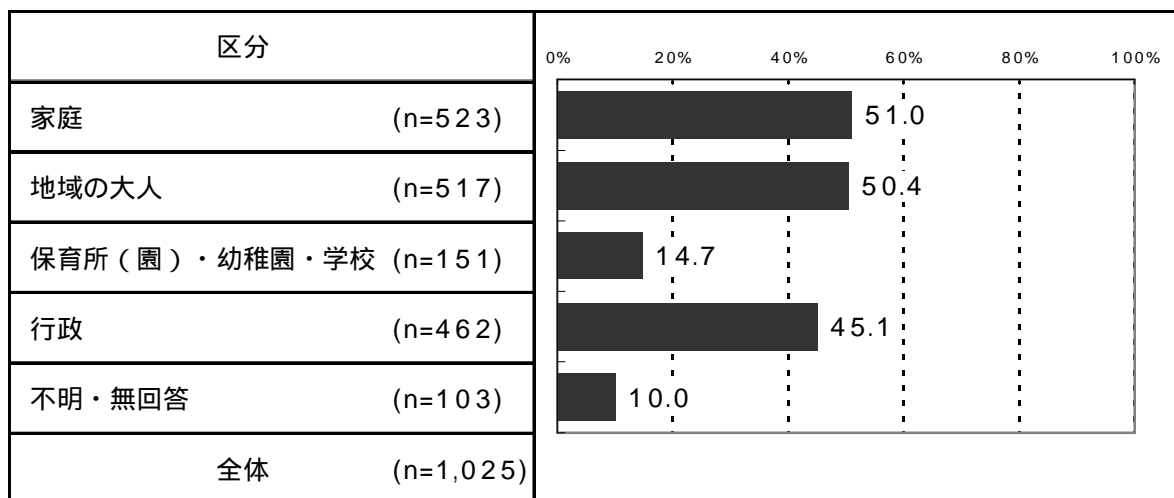
(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計 (人)	家庭	地域の大人	保育所(園)・ 幼稚園・学校	行政	不明・ 無回答
全体		1025	76.0	9.3	53.8	5.1	11.6
性別	男性	344	70.6	8.4	52.0	7.0	13.7
	女性	670	79.4	9.9	55.1	4.2	9.9
年齢別	19歳	14	78.6	7.1	64.3	14.3	0.0
	20歳代	92	90.2	10.9	58.7	6.5	1.1
	30歳代	197	87.3	10.2	57.9	2.5	4.1
	40歳代	138	82.6	8.0	62.3	2.2	6.5
	50歳代	209	83.7	11.5	54.5	3.3	7.2
	60歳代	223	65.0	9.0	48.4	7.6	15.7
	70歳以上	142	52.8	6.3	44.4	8.5	32.4
子どもの有無	子どもがいる	280	90.4	8.9	59.3	3.2	2.9
	子どもがいない	731	71.0	9.6	51.8	5.6	14.5
子どもの同居有無	同居している	229	91.3	9.6	62.0	3.1	2.2
	同居していない	51	86.3	5.9	47.1	3.9	5.9

(5) 様々な危険から子どもを守る

図：「様々な危険から子どもを守る」役割を主に担うと思うところ（全体）



「様々な危険から子どもを守る」役割を主に担うと思うところについて、全体でみると、「家庭」が51.0%で最も多いが、「地域の大人」(50.4%)、「行政」(45.1%)も多い。

クロス表：「様々な危険から子どもを守る」役割を主に担うと思うところ

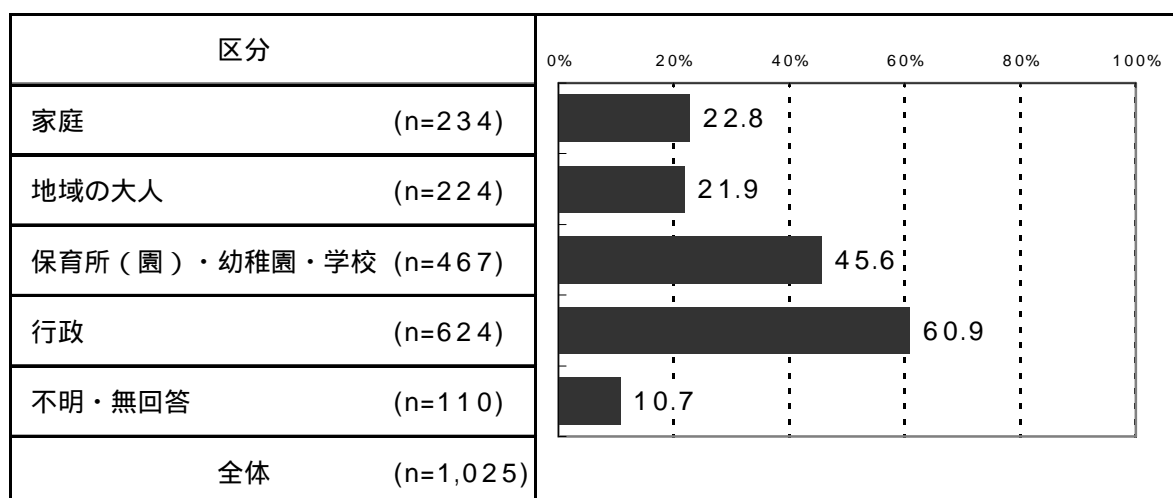
(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計 (人)	家庭	地域の大人	保育所(園)・ 幼稚園・学校	行政	不明・ 無回答
全体		1025	51.0	50.4	14.7	45.1	10.0
性別	男性	344	48.5	47.1	17.2	46.5	10.8
	女性	670	53.0	52.4	13.6	44.5	9.3
年齢別	19歳	14	57.1	57.1	21.4	50.0	0.0
	20歳代	92	59.8	54.3	21.7	46.7	1.1
	30歳代	197	65.0	52.8	17.8	49.2	2.5
	40歳代	138	54.3	52.2	18.8	49.3	5.8
	50歳代	209	57.9	45.9	13.9	47.4	7.2
	60歳代	223	37.7	55.2	10.3	41.3	14.3
	70歳以上	142	35.9	42.3	9.9	36.6	27.5
子どもの有無	子どもがいる	280	66.1	52.1	18.2	48.9	2.1
	子どもがいない	731	45.8	49.9	13.4	43.5	12.9
子どもの同居有無	同居している	229	65.5	52.0	17.9	49.3	1.7
	同居していない	51	68.6	52.9	19.6	47.1	3.9

(6) 自然体験や社会体験の場を提供する

図：「自然体験や社会体験の場を提供する」役割を主に担うと思うところ（全体）



「自然体験や社会体験の場を提供する」役割を主に担うと思うところについて、全体で見ると、「行政」が60.9%で最も多く、「保育所(園)・幼稚園・学校」(45.6%)がつづいている。

クロス表：「自然体験や社会体験の場を提供する」役割を主に担うと思うところ

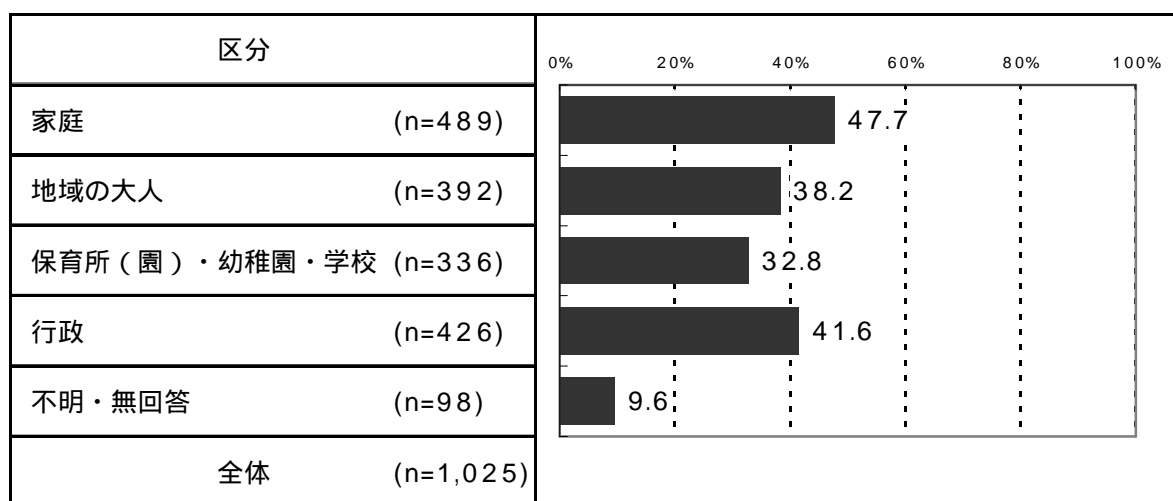
(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計 (人)	家庭	地域の大人	保育所(園)・ 幼稚園・学校	行政	不明・ 無回答
全体		1025	22.8	21.9	45.6	60.9	10.7
性別	男性	344	23.0	22.1	42.2	62.5	11.9
	女性	670	23.1	21.8	47.5	60.7	9.6
年齢別	19歳	14	7.1	21.4	50.0	78.6	0.0
	20歳代	92	35.9	31.5	54.3	60.9	1.1
	30歳代	197	33.5	20.8	55.8	62.9	3.6
	40歳代	138	21.7	21.0	56.5	60.9	5.8
	50歳代	209	24.4	20.6	51.2	62.7	6.7
	60歳代	223	16.1	20.2	32.3	64.6	14.8
	70歳以上	142	12.0	22.5	27.5	50.7	30.3
子どもの有無	子どもがいる	280	30.7	20.0	60.0	64.3	2.1
	子どもがいない	731	20.2	22.7	39.8	59.9	13.7
子どもの同居有無	同居している	229	28.8	20.1	61.1	65.1	1.7
	同居していない	51	39.2	19.6	54.9	60.8	3.9

(7) 非行防止に取り組む

図：「非行防止に取り組む」役割を主に担うと思うところ（全体）



「非行防止に取り組む」役割を主に担うと思うところについて、全体で見ると、「家庭」が47.7%で最も多いが、「行政」(41.6%)、「地域の大人」(38.2%)、「保育所(園)・幼稚園・学校」(32.8%)と全体的に多い。

クロス表：「非行防止に取り組む」役割を主に担うと思うところ

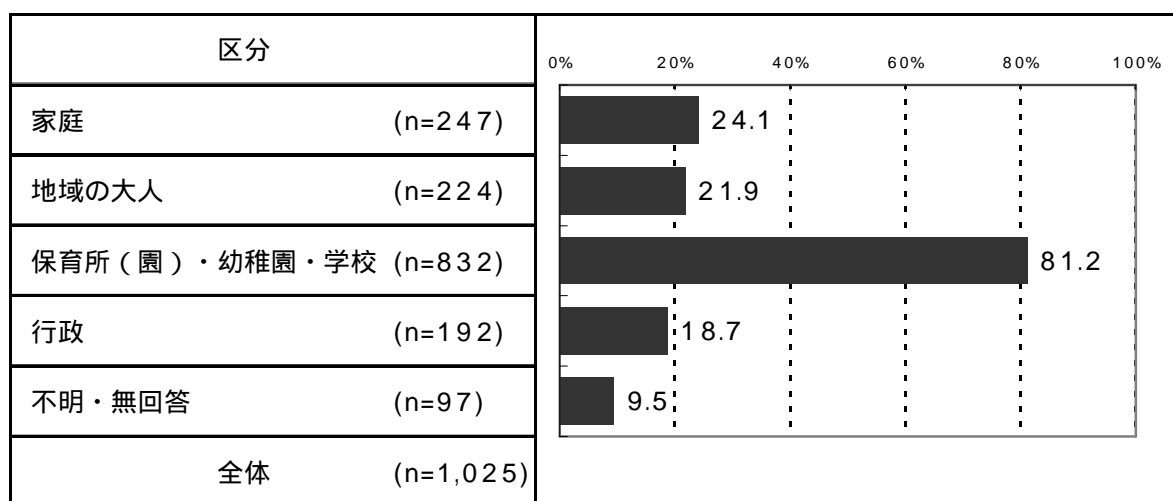
(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計 (人)	家庭	地域の大人	保育所(園)・ 幼稚園・学校	行政	不明・ 無回答
全体		1025	47.7	38.2	32.8	41.6	9.6
性別	男性	344	49.4	35.8	32.3	41.9	10.5
	女性	670	47.2	40.0	33.0	41.8	8.7
年齢別	19歳	14	42.9	28.6	28.6	71.4	0.0
	20歳代	92	54.3	35.9	43.5	46.7	1.1
	30歳代	197	60.9	34.0	44.2	36.5	3.6
	40歳代	138	45.7	39.9	34.8	50.0	5.8
	50歳代	209	53.1	36.4	31.6	47.4	6.2
	60歳代	223	35.4	46.6	22.4	38.1	14.3
	70歳以上	142	40.1	36.6	26.1	32.4	23.9
子どもの有無	子どもがいる	280	56.8	38.2	41.4	44.3	2.1
	子どもがいない	731	44.5	38.4	29.5	40.8	12.2
子どもの同居有無	同居している	229	55.9	38.4	43.2	43.2	1.7
	同居していない	51	60.8	37.3	33.3	49.0	3.9

(8) 集団生活における社会性を育てる

図：「集団生活における社会性を育てる」役割を主に担うと思うところ（全体）



「集団生活における社会性を育てる」役割を主に担うと思うところについて、全体で見ると、「保育所(園)・幼稚園・学校」が81.2%で特段に多く、他は全体的に少ない。

クロス表：「集団生活における社会性を育てる」役割を主に担うと思うところ

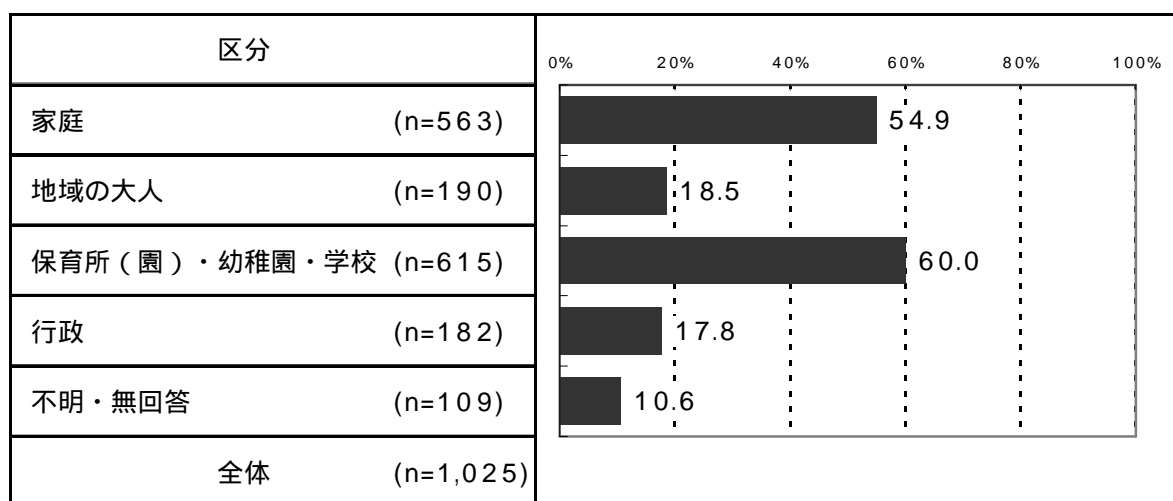
(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計 (人)	家庭	地域の大人	保育所(園)・ 幼稚園・学校	行政	不明・ 無回答
全体		1025	24.1	21.9	81.2	18.7	9.5
性別	男性	344	22.1	22.1	79.9	21.5	10.2
	女性	670	25.2	21.8	82.2	17.5	8.8
年齢別	19歳	14	14.3	50.0	100.0	0.0	0.0
	20歳代	92	32.6	23.9	93.5	13.0	1.1
	30歳代	197	33.0	23.9	89.8	16.8	3.6
	40歳代	138	23.9	23.9	86.2	20.3	5.1
	50歳代	209	24.4	19.6	86.1	20.6	6.7
	60歳代	223	17.0	20.6	70.0	23.8	13.0
子どもの有無	70歳以上	142	18.3	18.3	66.2	15.5	26.1
	子どもがいる	280	30.4	22.9	92.5	20.7	2.1
子どもの同居有無	子どもがいない	731	21.9	21.5	77.0	18.1	12.2
	同居している	229	31.4	21.8	94.3	20.5	1.7
	同居していない	51	25.5	27.5	84.3	21.6	3.9

(9) 社会に貢献する心を育てる

図：「社会に貢献する心を育てる」役割を主に担うと思うところ（全体）



「社会に貢献する心を育てる」役割を主に担うと思うところについて、全体でみると、「保育所(園)・幼稚園・学校」が60.0%で最も多く、「家庭」(54.9%)がつづいている。

クロス表：「社会に貢献する心を育てる」役割を主に担うと思うところ

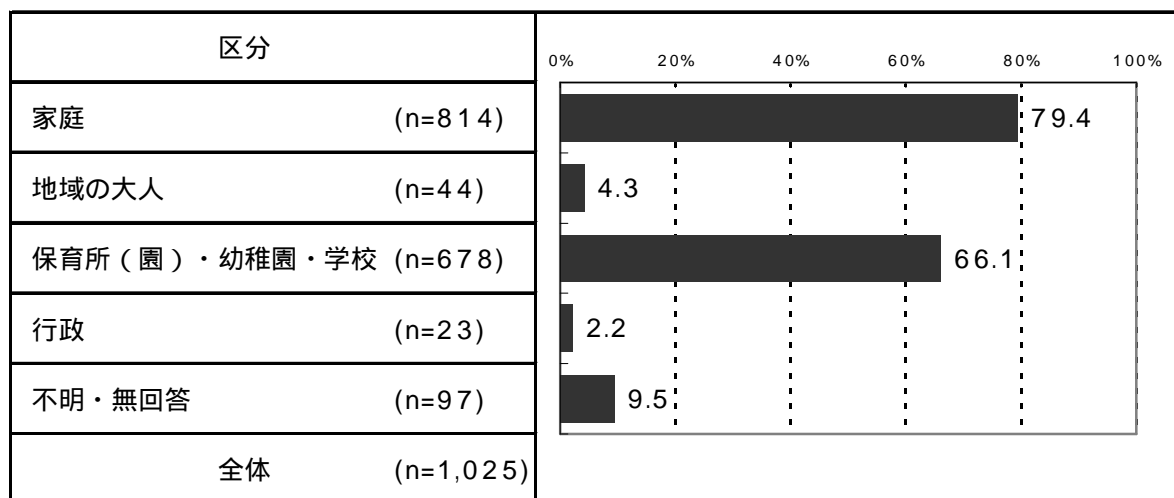
(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計 (人)	家庭	地域の大人	保育所(園)・ 幼稚園・学校	行政	不明・ 無回答
全体		1025	54.9	18.5	60.0	17.8	10.6
性別	男性	344	54.9	17.2	59.6	18.9	11.3
	女性	670	55.2	19.3	60.6	17.5	9.9
年齢別	19歳	14	28.6	14.3	85.7	21.4	0.0
	20歳代	92	58.7	14.1	67.4	26.1	1.1
	30歳代	197	60.4	18.8	69.0	21.8	3.6
	40歳代	138	56.5	18.1	63.8	23.2	8.0
	50歳代	209	60.3	18.7	66.5	13.9	7.7
	60歳代	223	51.1	22.9	45.3	13.9	16.1
	70歳以上	142	45.1	14.8	51.4	14.1	24.6
子どもの有無	子どもがいる	280	58.9	20.4	70.0	25.7	2.5
	子どもがいない	731	53.6	17.9	56.2	14.8	13.5
子どもの同居有無	同居している	229	61.1	19.7	72.1	24.5	1.7
	同居していない	51	49.0	23.5	60.8	31.4	5.9

(10) 自ら考え、行動する力を育てる

図：「自ら考え、行動する力を育てる」役割を主に担うと思うところ（全体）



「自ら考え、行動する力を育てる」役割を主に担うと思うところについて、全体でみると、「家庭」が79.4%で最も多く、「保育所(園)・幼稚園・学校」(66.1%)がつついている。

クロス表：「自ら考え、行動する力を育てる」役割を主に担うと思うところ

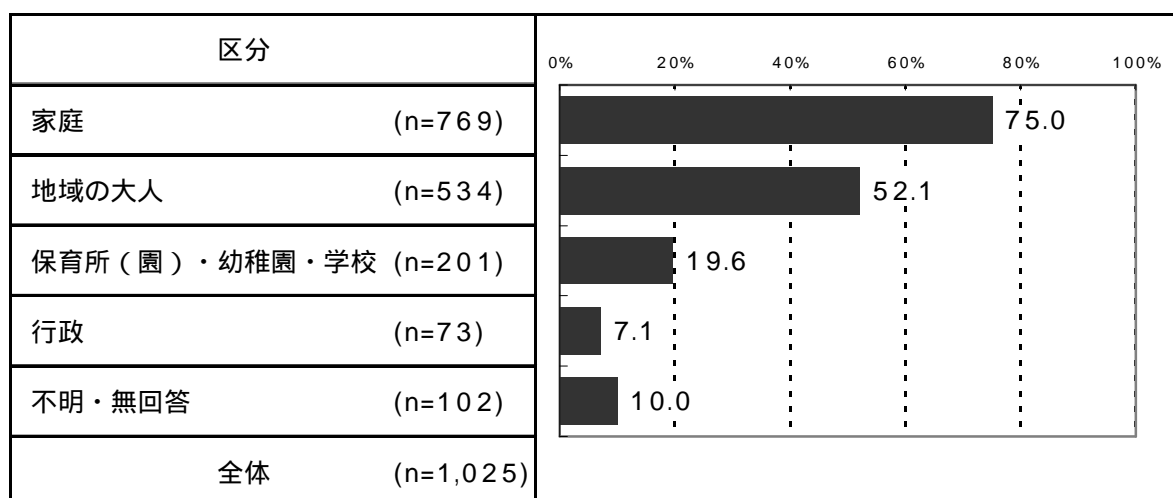
(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計 (人)	家庭	地域の大人	保育所(園)・ 幼稚園・学校	行政	不明・ 無回答
全体		1025	79.4	4.3	66.1	2.2	9.5
性別	男性	344	76.5	4.1	64.0	2.9	10.8
	女性	670	81.2	4.3	67.9	1.9	8.5
年齢別	19歳	14	85.7	14.3	78.6	0.0	0.0
	20歳代	92	89.1	1.1	71.7	2.2	2.2
	30歳代	197	87.3	4.6	72.6	2.5	3.6
	40歳代	138	88.4	3.6	70.3	2.2	5.1
	50歳代	209	82.8	4.8	70.8	1.4	6.7
	60歳代	223	72.2	4.5	58.3	1.8	13.9
子どもの有無	70歳以上	142	59.9	4.2	56.3	4.2	23.9
	子どもがいる	280	90.7	3.2	75.4	2.9	2.5
子どもの同居有無	子どもがいない	731	75.1	4.7	63.1	2.1	12.0
	同居している	229	91.3	2.6	77.3	2.6	2.2
子どもの同居有無	同居していない	51	88.2	5.9	66.7	3.9	3.9

(11) 子どもの模範となるように努める

図：「子どもの模範となるように努める」役割を主に担うと思うところ（全体）



「子どもの模範となるように努める」役割を主に担うと思うところについて、全体で見ると、「家庭」が75.0%で最も多く、「地域の大人」(52.1%)がつづいている。

クロス表：「子どもの模範となるように努める」役割を主に担うと思うところ

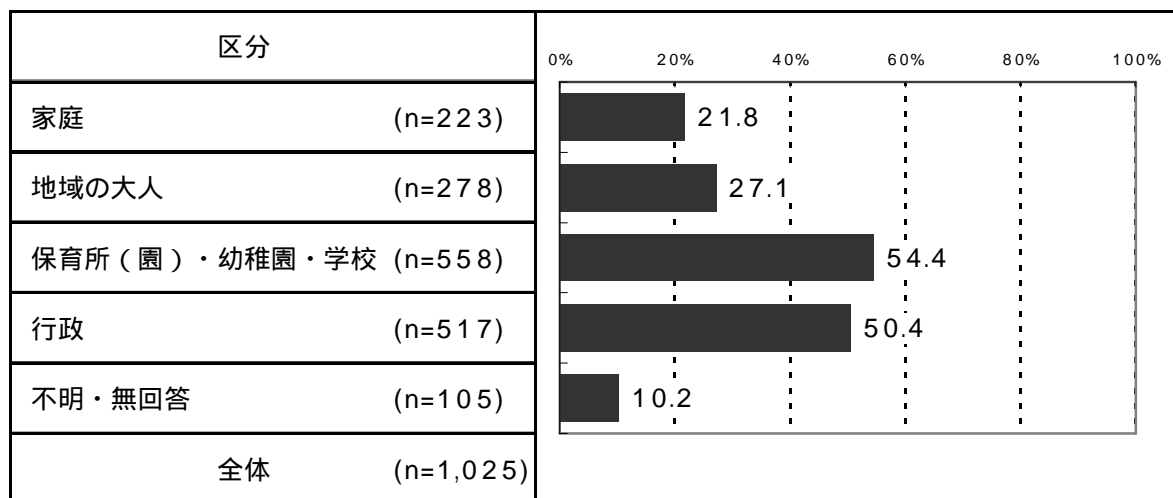
(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計 (人)	家庭	地域の大人	保育所(園)・ 幼稚園・学校	行政	不明・ 無回答
全体		1025	75.0	52.1	19.6	7.1	10.0
性別	男性	344	71.8	51.2	20.1	7.0	10.8
	女性	670	76.9	53.0	19.7	7.2	9.3
年齢別	19歳	14	78.6	64.3	28.6	7.1	0.0
	20歳代	92	80.4	58.7	29.3	6.5	1.1
	30歳代	197	87.8	56.9	22.3	9.6	3.0
	40歳代	138	83.3	56.5	23.2	3.6	5.8
	50歳代	209	79.4	54.5	21.1	6.7	7.2
	60歳代	223	63.7	48.4	14.3	8.5	15.2
	70歳以上	142	57.0	39.4	12.7	5.6	25.4
子どもの有無	子どもがいる	280	86.8	59.3	25.4	8.2	1.8
	子どもがいない	731	70.9	49.5	17.6	6.4	13.0
子どもの同居有無	同居している	229	88.6	60.3	25.8	7.0	1.3
	同居していない	51	78.4	54.9	23.5	13.7	3.9

(12) 子どもの育成に関する活動などを行う

図：「子どもの育成に関する活動などを行う」役割を主に担うと思うところ（全体）



「子どもの育成に関する活動などを行う」役割を主に担うと思うところについて、全体で見ると、「保育所(園)・幼稚園・学校」が54.4%で最も多く、「行政」(50.4%)がつづいている。

クロス表：「子どもの育成に関する活動などを行う」役割を主に担うと思うところ

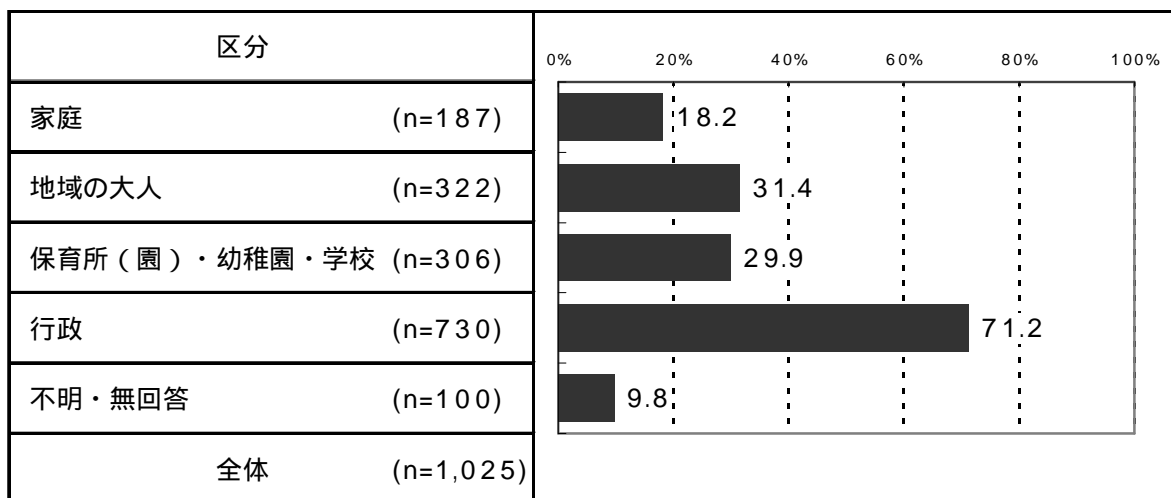
(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計 (人)	家庭	地域の大人	保育所(園)・ 幼稚園・学校	行政	不明・ 無回答
全体		1025	21.8	27.1	54.4	50.4	10.2
性別	男性	344	21.8	25.9	57.0	48.5	10.8
	女性	670	21.8	28.1	53.6	51.8	9.6
年齢別	19歳	14	35.7	21.4	64.3	14.3	0.0
	20歳代	92	26.1	18.5	59.8	64.1	1.1
	30歳代	197	26.9	24.9	68.0	53.3	3.0
	40歳代	138	26.8	34.8	54.3	47.8	6.5
	50歳代	209	27.3	24.4	60.8	50.7	7.7
	60歳代	223	13.9	31.8	42.6	49.3	14.8
	70歳以上	142	9.9	26.8	42.3	46.5	26.1
子どもの有無	子どもがいる	280	27.5	29.3	63.6	56.8	1.8
	子どもがいない	731	19.7	26.5	51.3	48.3	13.3
子どもの同居有無	同居している	229	27.9	28.4	64.2	58.5	1.3
	同居していない	51	25.5	33.3	60.8	49.0	3.9

(13) 子どもの育成に関する活動などを支援する

図：「子どもの育成に関する活動などを支援する」役割を主に担うと思うところ（全体）



「子どもの育成に関する活動などを支援する」役割を主に担うと思うところについて、全体でみると、「行政」が71.2%で特段に多く、他は全体的に少ない。

クロス表：「子どもの育成に関する活動などを支援する」役割を主に担うと思うところ

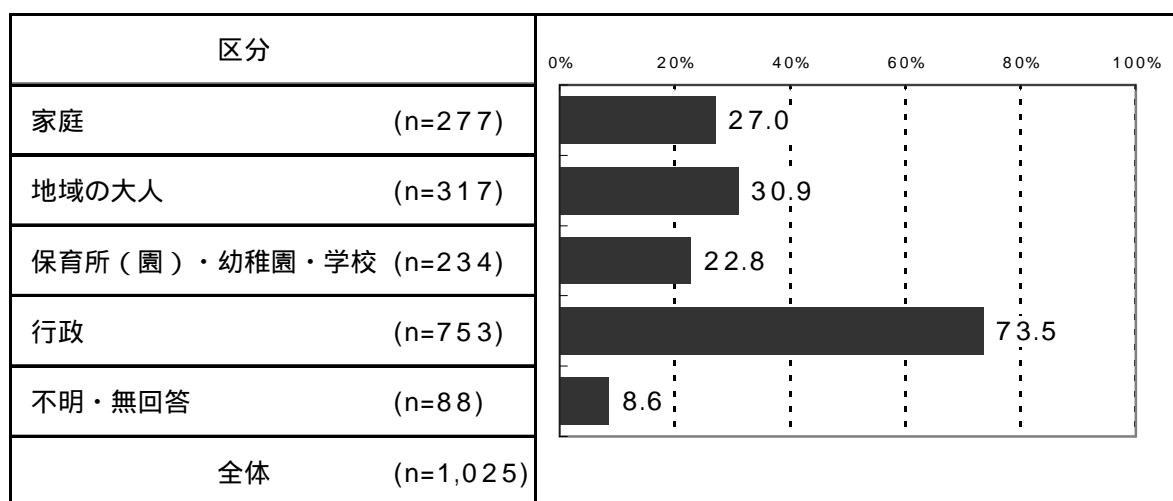
(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計 (人)	家庭	地域の大人	保育所(園)・ 幼稚園・学校	行政	不明・ 無回答
全体		1025	18.2	31.4	29.9	71.2	9.8
性別	男性	344	22.4	29.9	30.5	66.9	10.8
	女性	670	16.4	32.4	29.3	74.0	8.8
年齢別	19歳	14	14.3	35.7	14.3	71.4	0.0
	20歳代	92	15.2	37.0	32.6	83.7	1.1
	30歳代	197	20.8	31.0	35.0	79.2	3.0
	40歳代	138	21.0	32.6	31.2	71.0	5.8
	50歳代	209	24.4	29.2	35.4	72.2	6.2
	60歳代	223	13.0	32.3	25.1	66.8	14.3
	70歳以上	142	14.8	29.6	19.0	59.9	26.1
子どもの有無	子どもがいる	280	22.9	35.4	31.4	80.4	1.8
	子どもがいない	731	16.7	30.1	29.1	68.1	12.6
子どもの同居有無	同居している	229	21.4	36.7	33.6	81.7	1.3
	同居していない	51	29.4	29.4	21.6	74.5	3.9

(14) 子どもを豊かに育てるための環境づくりを行う

図：「子どもを豊かに育てるための環境づくりを行う」役割を主に担うと思うところ（全体）



「子どもを豊かに育てるための環境づくりを行う」役割を主に担うと思うところについて、全体で見ると、「行政」が73.5%で特段に多く、他は全体的に少ない。

クロス表：「子どもを豊かに育てるための環境づくりを行う」役割を主に担うと思うところ

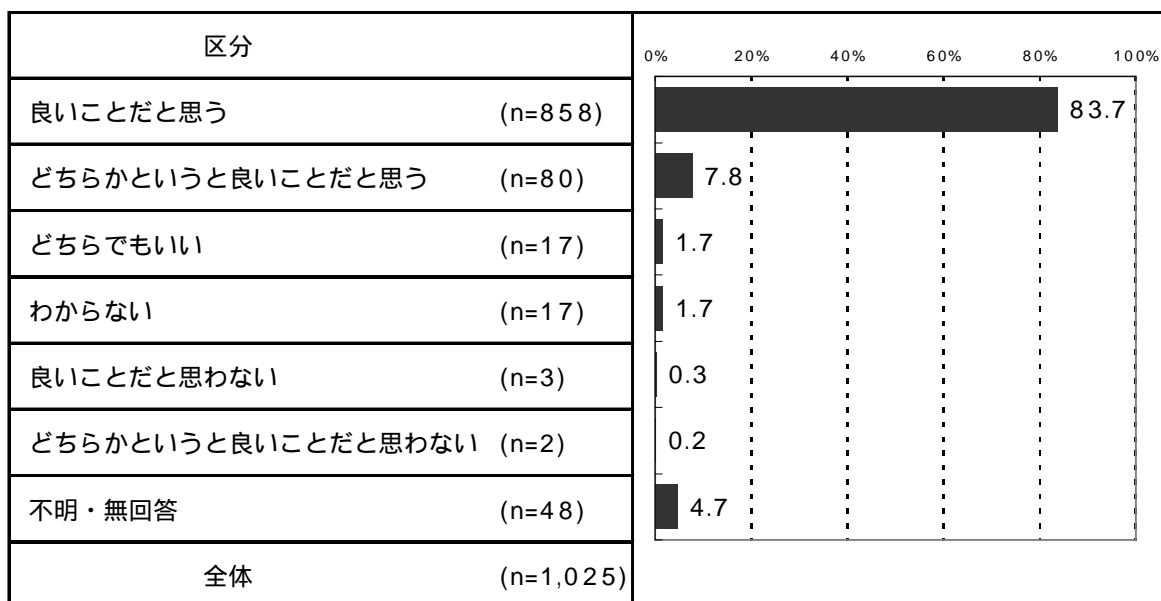
(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計 (人)	家庭	地域の大人	保育所(園)・ 幼稚園・学校	行政	不明・ 無回答
全体		1025	27.0	30.9	22.8	73.5	8.6
性別	男性	344	22.1	28.8	24.7	75.6	9.9
	女性	670	30.0	32.4	21.8	72.7	7.5
年齢別	19歳	14	35.7	35.7	14.3	71.4	0.0
	20歳代	92	44.6	27.2	25.0	73.9	1.1
	30歳代	197	38.6	33.0	29.4	73.6	2.0
	40歳代	138	22.5	32.6	20.3	80.4	5.1
	50歳代	209	25.8	30.6	26.3	78.9	5.7
	60歳代	223	16.1	35.9	16.6	71.7	12.6
	70歳以上	142	23.9	22.5	19.7	62.0	23.2
子どもの有無	子どもがいる	280	34.3	33.9	25.7	79.6	1.8
	子どもがいない	731	24.8	29.8	21.8	71.1	10.9
子どもの同居有無	同居している	229	34.5	34.1	27.1	80.3	1.3
	同居していない	51	33.3	33.3	19.6	76.5	3.9

問 17 本市では、尼崎の子どもの健やかな育ちや、地域社会のあり方などに関して検討を進めています
が、このことについて、どのように思いますか。(は1つ)

図：尼崎の子どもの健やかな育ちや、地域社会のあり方などに関して検討を進めることについて(全体)



尼崎の子どもの健やかな育ちや、地域社会のあり方などに関して検討を進めることについて、全体
で見ると、「良いことだと思う」が83.7%で最も多く、「どちらかというが良いことだと思う」(7.8%)、
「どちらでもいい」(1.7%)がつづき、検討を進めることを肯定的にとらえている結果となっている。

クロス表：尼崎の子どもの健やかな育ちや、地域社会のあり方などに関して検討を進めることについて
(全体・性別・年齢別・子どもの有無・子どもの同居有無)

(単位：%)

		合計 (人)	良い こと だ と 思 う	ど ち ら か と 良 い こ と だ と 思 う	ど ち ら だ と 良 い こ と だ と 思 わ ない	ど ち ら か と 良 い こ と だ と 思 わ ない	良 い こ と だ と 思 わ ない	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1025	83.7	7.8	1.7	0.2	0.3	1.7	4.7
性別	男性	344	81.4	8.1	0.9	0.6	0.6	2.3	6.1
	女性	670	85.1	7.8	1.9	0.0	0.1	1.3	3.7
年齢別	19歳	14	92.9	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	92	91.3	4.3	2.2	0.0	0.0	1.1	1.1
	30歳代	197	86.3	6.6	2.0	0.0	1.0	2.5	1.5
	40歳代	138	83.3	7.2	2.2	0.7	0.0	2.2	4.3
	50歳代	209	79.9	10.5	2.9	0.0	0.0	1.9	4.8
	60歳代	223	84.3	7.2	0.4	0.4	0.4	0.9	6.3
	70歳以上	142	79.6	9.9	0.0	0.0	0.0	1.4	9.2
子どもの有無	子どもがいる	280	91.1	4.3	1.8	0.0	0.4	1.8	0.7
	子どもがいない	731	80.8	9.3	1.5	0.3	0.3	1.6	6.2
子どもの同居有無	同居している	229	90.4	4.4	2.2	0.0	0.0	2.2	0.9
	同居していない	51	94.1	3.9	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0

自由記述

子どもの健やかな育ちに関する、意見や感想が 376 人(有効回答数の 36.7%)の方から寄せられた。複数の意見・要望などをあげている方もあり、自由記述の総数は延べ 482 件になっている。自由記述についての分類結果および、分類毎の主な意見要旨を以下に示す。

表：自由記述の分類結果

分 類	件 数
親・家族・家庭について	104
学校について	56
行政について	44
地域について	40
大人について	38
環境整備について	33
教育・しつけについて	17
様々な活動・体験について	16
家庭・地域・学校・行政などの連携について	15
子育て支援について	14
防犯について	14
社会の状況について	12
子どもに関する現状等について	11
自身の活動や今後の抱負について	9
子どもの人権・権利について	8
情報の氾濫について	7
アンケートについて	4
その他	40

表：分類毎の主な意見要旨

親・家族・家庭について
<ul style="list-style-type: none"> ・親がしっかりしていれば、子どもの成長に問題はないことが多いと思う。親の意識を変えることが大切では ・親とはどういう存在なのかを再教育する必要があるのでは ・大人になっていない成人が親になり、子どもを、責任をもって育てられないのが現状では。親が親になり、大人にならねばならないと思う。親としての自覚に欠ける親、子どものような親が増えているのでは ・親の責任は重い。それをわかっていない親があまりに多いと思う。親としての責任をもつことができるように成長していくことが必要では ・親は、人格形成期と言われる乳幼児期までに、しっかりと愛情を注いで命の大切さや善悪の区別を教えていくことが大切。子どもを一人の人格者として育てるには、しつけが大切 ・少子化対策と平行し、母親を正しく育てることも大切 ・子育ては最も大切な仕事だと感じる親は少ないと思う ・権利ばかり主張し、義務を実行しない親が多いと思う。子どもよりも親の再教育の方が先では ・感情的に怒るのではなく、しつけの仕方も大切では

次頁に続く

親・家族・家庭について（続き）

- ・過保護、過干渉、放任、無関心な親が多いと思う。子ども自身よりも、親の子育て力の方に問題があると思う。家庭、保護者の啓発が最重要課題ではないか
- ・親のしつけ、マナーが一番子どもに影響があるはずだが、それができていない家庭が増加していると思う
- ・しつけは、親の責任でするもの。他人まかせ、学校まかせにしている親も多いのでは
- ・子どもの自主性を勘違いしている親も多いのでは
- ・個性も大事だが、成長過程の子どもを甘やかすことは、却ってよくないと思う
- ・子どもは親の背中を見て育つ。親が社会のルール、マナーを守るなど、子どもの模範になるべきと思う
- ・子どもの悪い行為を注意したくても、その子どもの親が怒ってくるので注意できない、その親はマナーを守っていないことが多い
- ・子どもには自由とわがままは違うという教育を親がすべきだと思うが、親の方がはきちがえていると思う
- ・常識に欠けた大人に育てられた子どもたちが、大人になるときを想像すると不安。更なる悪循環も懸念される
- ・身近な大人に模範となる人がいれば、自然と心豊かな人に成長できると思う
- ・子育て情報過多の親と、無関心な親の差がありすぎると思う
- ・家庭環境、家庭教育、家庭のしつけが大事と思う
- ・子どもの話をよく聴き、ある程度成長すれば、責任をもたせて行動させることが大切だと思う
- ・親が子どもの話を聴いてあげることは重要。それは愛情表現でもあり、子どもは受け止めるはず
- ・夫婦・家庭内が円満だと子どもは素直に成長するはず。親から愛情を受けて育った子どもは、人を愛することができるはず
- ・いろいろと誘惑の多い社会になったが、家族のことを思うと誘惑にはのらないと思う。仲の良い家庭を作ることが大切
- ・家庭が健全であるためには、社会、行政が重要
- ・家庭での育て方が学校生活、集団生活の中に影響を与えるのでは
- ・親が子どもに関心をもち、見守れば、子どもの変化に気づき、いじめなどにも早めに対処できるのでは
- ・家庭が子どもにできることはわずかで、友人や先生など、家庭外の影響の方が大きいと思う
- ・家庭内の個人化が尊重されているように思うが、地域の人どうしコミュニケーションがとれ、子どもにマナー・ルールを教えられたら、自然と子どもは育つのでは
- ・仕事が忙しく、家族みんなで夕食も一緒にとれない。家族のコミュニケーション、ふれあいが減っているのでは
- ・子育ては、母親に大きく負担がかかっている。父親にも参加してほしいができない状態だと思う
- ・子どもの心の重みに気づかず、成績の点数ばかりにこだわり責める親もいる
- ・もっと親は厳しく子どもをしつけるべき
- ・子どもが問題行動を起こしたとき、家族の問題にされ、責任をすべて家庭にもたされていると思う
- ・子どもの健やかな育ち・地域社会云々の前に、本当に子どもを望んで産んでいる人がどれくらいいるのか。子どもができたから産んでしまって、結局育てられず、虐待するケースもある

学校について

- ・公立学校の学力低下を懸念する。公立学校への進学を渋る家庭もある。学力向上に努めてほしい
- ・有能な人材が市外に流れないよう、税金を将来のために教育に使うべき
- ・保護者に毅然とした態度で接することができる教師が少ないと思う
- ・子どもどうしのいじめは、親のしつけも大事だが、学校で気づいてほしい
- ・しつけや教育は本来は親がすべきものだが、親にまかせられないのが現状であり、学校で道徳教育を充実してほしい
- ・学校教員の質を高めてほしい
- ・学校での体罰問題は、昔は体罰とも言われなかったことが取りざたされている。昔は先生にチョークを投げられた子どもは悪いことをしたと反省したものだが
- ・しつけ等があまりに学校まかせになっていないか
- ・家庭の教育力の低下によって学校にしわ寄せが行っているのではないか
- ・子どもの学力向上は、健やかな育ちと密接な関係があるのでは
- ・大人や学校が、子どもを指導しやすい環境を作らなければ“健やかな育ち”は難しいのではないかと
- ・学校生活は、学習面だけでなく、人への思いやり、社会性などを育てる基本ではないかと思う
- ・学校で、たて教育、異年齢交流をしてはどうか
- ・命の大切さを教えてほしい
- ・競争させることも必要ではないか

次頁に続く

行政について

- ・問題解決するにも、福祉行政と教育行政に垣根があると思う
- ・子どもが何を思っているのかを知ることが重要で、それを認識してはじめて、子どもの健やかな育ちに対策を講じることができると思う
- ・個性のある尼崎の方針を強烈に出していただきたい
- ・地域に子どもが少なくなって活力が落ちている。若い人たちの意見をよく聴き、喜んで尼崎市に住みたくなるような施策、少子化対策を進めてほしい
- ・高齢者が増えるにつれ高齢者の福祉に力を注ぎがちになるが、児童福祉にも力を入れてほしい
- ・有限な税金をもっと有効に活用してほしい
- ・生活保護など、福祉施策は適正であってほしい
- ・青少年非行防止等の規制の条例をつくってほしい
- ・大人、子どもともに、ルール、マナー違反は目に余るものがある。家庭や地域社会の指導もあるが、行政の力が必要と思う
- ・学力低下もあるが、子どもを伸び伸びと育てる環境づくりも必要と思う
- ・子どもの健やかな育ちについて行政は真剣に考えてほしい

地域について

- ・自分が子どもの頃と比べると地域とのつながりが薄くなった。地域の交流が減ってきた気がする
- ・自治会の活動はあるが、人間関係のわずらわしさなどで、参加できていない
- ・新しくできた戸建て集合地に住んでいるが、自治会はない。ない方が楽だが、ないのも淋しい
- ・プライバシーの尊重のあまり、無関心となり、近所づきあいが減った。少子化とともに、子どもを取り巻く現状は必然的に生まれたと思う
- ・活力ある地域社会を育てていくには、もっと住民を引き込んだ住民参加型の行政を確立すべきでは
- ・昔は、自分の子どもも他人の子どもにも、悪い事はしかり良い事はほめてあげ、大人と子どもが一体化していたように思う。振り返ると、あまり自分の子どもたちには手がかからなかったように思う
- ・子ども会の活動を活発にしてはどうか。子ども会は、小学校高学年になると参加しなくなる。子どもが進んで参加できる方法を考えてはどうか
- ・地域に子どもが少なく、子ども会がなく、地域とふれあうことがない
- ・地域のボランティア（登録者）が、生徒の教育に介入できればどうか
- ・子どもだけで、地域社会にとけこむことは難しいと思う
- ・小学校などの空き教室で、高齢者との交流を地域で広めてはどうか
- ・子どもたちを集め、お寺で説法を聞かしてはどうか
- ・町内会のイベントがあれば、地域にふれることができ、顔見知りにもなる。顔見知りの前では子どもは悪いことはしないと思う
- ・地域には優れたノウハウのある方や、定年後は地域活動に関わりたいと考えている人もたくさん埋もれているはず。そのきっかけ作り、支援が行政の役目かなと思う
- ・非行を注意しようとしても、仕返しを恐れ躊躇するのが現状。地域のコミュニケーションを高めた方がいい
- ・近所つきあいや、人と人とのつながり、信頼関係が良い地域社会をつくると思う
- ・子どもの虐待予防等、地域で子どもを守ることは、早急に対応すべき課題と思う
- ・地域行事に参加する子どもたちが少ないことは将来の地域社会、まちづくりにとってマイナスになる。子どもたちに地域との関わりを教えていかねば、高齢者だけでつくる自治会組織の構造変革をもたらすことはできないと思う

次頁に続く

大人について

- ・子どもだけでなく、自己中心的な大人が増えている。そんな大人たちの中で子どもたちが健やかに育つ訳がないと思う
- ・大人たちが行動を改めないことには、健やかな子どもが育つはずがない。子どものことを考える前にまず大人からだと思う
- ・子どもを取り巻く環境の中に悪影響を及ぼすものが増加したのは、我々大人の責任であり、今の子どもが、それらに流れてしまうのを防ぐのも大人の責務だと思う
- ・大人が、率先してルールやマナーを守ってこそ、子どもに注意ができる。まず大人が襟を正し、見本を示すべきではないか
- ・現代における子どもの問題は大人たちの社会を反映していると思われる。子どもの問題は大人を含めて考えるべきでは
- ・子どもの健やかな育ちには、子どもに非はなく、健全な大人を多くしていくことが課題だと思う
- ・子どもの意見や考えを聴いてあげることが大切
- ・弱い子どもは大人が守るべきだと思う
- ・大人のマナーの悪さは厳しく罰せられるようにした方がよいと思う
- ・子どもが大人をなめていることが多い。友だち感覚はいけないと思う
- ・次代を担う子どもたちのため、もっと大人が必死になって守らなければ、未来はないと思う

環境整備について

- ・昔に比べ自然環境が減った、緑が少ない
- ・子どもが安心できる環境をつくるのが大事。安定感、安心感がなければ、健やかな育ちを望むことはできないのでは
- ・公園や公共の場など、子どもが安心して遊べるかどうか不安な場所がある。外で安心して遊べる環境づくりが必要と思う
- ・近くの公園にホームレスがいる。子どもが心配。なんとかならないか
- ・子どもには、伸び伸びと遊ぶ場所が必要だが、尼崎には少ない
- ・公園が整備されていない。(遊具が古い、トイレが不潔、樹木による死角が多い所があるなど)
- ・雨の日、真夏の炎天下などでも快適に遊べる屋内施設があれば、親は子育ての悩みを分かちあい、子どもは交流できると思う
- ・学校以外で、中学生、高校生の「たまり場」的な施設の必要性をもう少し考えてほしい
- ・地域に子どもどうして遊べる施設が少ない

教育・しつけについて

- ・最近の子どもはきれやすいと言うが、子どもだけに責任があるとは言えない
- ・地域活動、スポーツ活動を通して教育することも大事だと思う
- ・道徳教育が大事だと思う
- ・子どもは勝手に学び、勝手に成長することができると思うが、物事に対する基準や立ち振る舞いなどは、家族や地域の大人が手助けをしてあげることが必要だと思う
- ・子どもにも責任をもたせる方がいい
- ・個人主義より協調の大切さを教えることが必要と思う
- ・思いやりがあり、社会を担う大人になるには、子どもの育成は今が大切
- ・小さな頃から、人の心にとって大切な道徳基準を教えていくことは、その子の人格をよりよい方向へ変えていくのではと思う
- ・子どもは大人が守るもの。しっかりと教育していきたい
- ・塾などで、友人と遊ぶことより習い事の時間が大半を占め、息抜きができないのではないか
- ・子どもに知恵がつくのが低年齢化し、自己主張の多彩さに閉口することがある。内容の多くは、責任転嫁と受け取れる意見がほとんどでもっと自己責任を持たせるようしつけるとともに、誘惑に乗らない判断力の涵養に努めてほしい
- ・子どもには少し挫折感を経験させ、間違いのないフォローをすることが必要だと思う
- ・公共のマナーは小さい頃からしっかり教える。小さいから許されるのではなく、小さいから知らせることが大事だと思う

次頁に続く

<p>様々な活動・体験について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動の指導者の確保に努めることが大事だと思う ・ボランティア活動を授業に入れてはどうか ・校外学習もたくさん取り入れてはどうか ・年少者、高齢者などの異年齢交流をすることがよいと思う ・ゲーム等で遊ばず、その年代にしかできない楽しみを子どもたちどうしですることがよいと思う ・学力向上も大事だが、生活資質の向上もこれからの子どもの育ちには重要なポイントだと思う ・地域で、いろんな人と交流し、社会のことを自然に学んでほしいと願うが、事件などがあり、子どもどうしで遊ばせることには不安がある
<p>家庭・地域・学校・行政などの連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭、地域で協力していけば、健やかな子どもが増え、非行に走ったり、事件を起こすようなことはないと思う ・家庭の子育て力の低下が根底にあり、それを支援する学校や行政のサポート体制が追いついていないような状況と思う ・行政・地域社会としてできることは、まずは大人たちに、子どもの現状を知ってもらい、それに対する問題意識を持たせる必要があると思う ・子どもが大人に相談しやすくすること、大人に信頼感、親近感を持たせるように学校と共に協力していくことが大切と思う ・以前は「困っている人がいれば声をかけるんだよ」と教えたが、今は防犯の観点から、そう教える事はできない。本当に子育て困難な時代だと痛感する ・子育ては、地域ぐるみで行うもの、また行政指導型の子育て支援事業にも、幅広い方面からいろんな人々が関わり、“孤立する親子”を作らないような働きかけが重要だと思う ・自己中心的な人間にならないためにも、いろんな体験を通して社会性や人との関係を大切に作る心、思やりを養うことが大切。家族だけの責任だけでなく地域社会全体で考えていくべきことと思う ・子どもの育成については、行政主導で行うのではなく、親や地域社会が主となり、行政は補助的役割を担うことが望ましい。また若者の意見を反映できる体制が必要と思う ・まず家庭教育が大事。次に地域社会が関心をもつ。学校や行政に何でも頼っていてはいい結果は得られない ・いじめ、非行、虐待のない地域になるよう、行政、警察、町内会など地域がもっと力を入れて見張り番をしてほしい ・社会のルールを守り、一生懸命働く子どもに育てるには、行政、地域、家庭でとりくむべきと思う
<p>子育て支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎市には、育児相談の窓口があるようだが、一部の人がしか利用できていないのでは ・保育所等の施設を減らさず充実させるべきと思う ・共働き家庭が増えているので、支援を充実してほしい ・学校や行政が児童虐待等についての講演等をして、関心のある家庭の人たちしか参加せず、本当に手助けが必要な子どもがいる家庭の人たちは話を聞きに行ったりしていないと思う ・生後1～3ヵ月ぐらゐまでは外出をする気になれない母親も多いと思う。地域の方が訪問して下さると助かったり安心する人もいるのではと思う ・学童保育が5時までというのはあまりにも早いのではないかと、学童保育を充実してほしい ・親どうし、子育てのことでコミュニケーションできる場があればと思う
<p>防犯について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察のパトロールをもう少し強化してほしい ・少年による犯罪を厳しく取り締まってほしい ・通学路にももう少し地域のボランティアの人が立ってくれたらと思う ・犯罪から子どもを守るため、登下校のつきそいが必要。ボランティアに頼らず行政の力で何とかならないかと ・街灯を増やしてほしい ・性犯罪等を減らすためにも罰則強化や氾濫する有害な情報等の取り締まりを厳しくすべきでは ・犯罪者の芽をつむぐためにも条例制定をお願いしたい。家庭や地域だけでは限界がある ・不審者や危険なことなどは、地域や行政などいろいろな場所でみんなが注意しなければいけない

次頁に続く

<p>社会の状況について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会は子どもの育ちにマイナスに働いている。例えば、子どもの世界と大人の世界は別ものであるはずだが、子どもと大人の区別がなくなりつつあることや、子ども自身、自分の将来への展望がもてないことなどがあると思う ・価値観の多様化という言葉で、すべてが許容されるような社会になっていると思う ・今の大人の社会と、子どもの成長とは密接に連動している。「子どもの健やかな育ちに関すること」以前に、大人の社会のしくみを一刻も早く是正すべきと思う ・共働きの家庭は、ますます子育てしづらい時代になったので、子どもを産まない人たちが増えていくと思う ・今の子どもたちは、豊かすぎて逆に不幸な環境に身を置いているように思う ・大人も子どもも贅沢になったと思う
<p>子どもに関する現状等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン・ゲームの時間が長い ・夜遅くにコンビニなどの前で集まっているのは厳しく取締まってほしい ・言葉遣いが悪い ・夜10時を過ぎても子どもが外を歩いている。親はどんなしつけをしているのだろうか ・近所で、しつけか虐待かわからないような、子どもの泣き叫ぶ声がする。そんな声は聞きたくない
<p>自身の活動や今後の抱負について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で子どもたちを健やかに成長させてやりたいので、そのためにできることは微力ながら手伝いたい ・老人会には元気な方が多いので使ってほしい ・大人も子どもも一人では何もできない、誰かの世話になって自分も地域社会も成り立っているという認識が大切に思う。将来、できる限り、社会にお返ししたい ・非行や引きこもりの子どもたちの相談や話を聞ける相談窓口になってほしいと考えている ・自宅を開放し、地域の子どものために役に立てることもやってみたいと思う
<p>子どもの人権・権利について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもは、意思をもち、希望をもつ人であり、親や大人のものではないはず ・権利と義務について正しく教えることが大事だと思う ・子どもに対する愛情・個性を大切に。無関心というのが一番のいじめであり、人権問題だと思う ・成長段階の子どもの人権は守るべきだが、殺人を犯した子どもの人権はどうか ・子どもの人権をいう前に、人間としての人権を教えるべきではないか ・個の尊重とか権利の主張に偏っているように思う。個と社会、権利と義務を、バランスよく、社会全体で教えるくんでいかなければならないと思う
<p>情報の氾濫について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ、新聞等で犯罪の情報を頻繁に詳細に報道しすぎる。マスコミは、人の心に与える影響を考えてほしい ・マスコミなどメディアからの有害な情報が多すぎる（生死に関する事や犯罪を引き起こす要因となる事など）
<p>アンケートについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの選択肢が多すぎる ・質問が一般的すぎて、ポイントがぼやける。もっと工夫が必要
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自由をはき違え、あまりにも過保護にしすぎているように思われる。少年犯罪の多さはその表われで、悪い事をするとうなるか、厳しくしないと止める事はできないと思う ・最近、子どもが1人で外を歩けない悲しい出来事が多すぎる。下校時子どもを見かけると無事に家に帰るよう、心に念じている ・世情から子どもを守ろうと考えることも大切だが、守ろうとしすぎるのもどうかと思う。守られすぎているために、色々なもののありがたみを知らない子どもが増えていると思う ・食育という点も注目すべき点だと思う。手作りの栄養のある食事を子どもたちに食べさせるべきだと思う ・自分が子どもだった頃と、今では、あまりに変化が大きすぎてついていけない

資料（調査票）

尼崎市

子どもの健やかな育ちに関する市民意識調査

調査のご協力をお願い

皆様方には、日頃より、尼崎市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
近年、児童虐待など、子どもの人権侵害が大きな社会問題となっており、次代の大人である子どもたちの健やかな育ちが、たいへん危ぶまれています。

尼崎市では、こうした子どもを取り巻く厳しい現状を踏まえ、「尼崎市子どもに関する条例等検討委員会」を設置し、子どもの人権を尊重する視点から、子どもの健やかな育ちや、地域社会のあり方などに関して検討を進めているところです。

このたび、この検討の基礎資料とするために、19歳以上の市民の中から、無作為に3,000人を選ばせていただき、「尼崎の子ども」の健やかな育ちに関するお考えやご意見をお聞かせいただくことになりました。

この調査は無記名であり、皆様のお答えはすべてコンピューターにより統計的に処理し、本調査の目的以外には使用することはありません。

何かとお忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成18年7月

尼崎市長 白井 文

ご記入にあたってのお願い

1. アンケートの記入には、ボールペンまたは鉛筆を用い、はっきりとご記入ください。
2. アンケートの質問中の「あなた」とは、宛名のご本人のことを指しています。
3. 回答は、特に指示のあるものを除き、質問を読んでいただいて当てはまる番号に をつけてください。また、「その他」の回答に をつけた場合は、()の中に具体的にご記入ください。
4. 記入が済みましたら、同封の封筒(切手不要)に入れて7月31日(月)までにポストにお入れください。
5. ご回答いただくうえで、ご不明な点や調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

尼崎市 健康福祉局 児童福祉部 児童企画課
TEL : 06-6489-6341 FAX : 06-6489-6373

あなたご自身について

F 1 あなたの性別はどちらですか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F 2 あなたの年齢はおいくつですか。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 |
| 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 |
| 7. 70歳以上 | | |

F 3 あなたは結婚されていますか。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 結婚している（事実婚含む） | 2. 結婚していたことがある |
| 3. 結婚したことがない | |

F 3 - 1 F 3で「1. 結婚している（事実婚含む）」と回答された方にお聞きします。あなたのご家庭は共働きですか。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 共働きである | 2. 共働きではない |
|-----------|------------|

F 4 あなたには、18歳未満のお子さんがいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

F 4 - 1 F 4で「1. いる」と回答された方にお聞きします。あなたのお子さんは次のどれにあてはまりますか。（はいくつでも）

- | | | |
|---------------------------|-------------|--------|
| 1. 乳児（1歳未満） | 2. 幼児（1歳以上） | 3. 小学生 |
| 4. 中学生 | 5. 高校生 | |
| 6. 働いている（アルバイトなどの一時的就職含む） | 7. 無職 | |

F 5 あなたの世帯構成はどれですか。

- | | | |
|--------------------|---------------|------------------|
| 1. 一人世帯 | 2. 夫婦のみ | 3. 二世帯世帯（親と子の世帯） |
| 4. 三世帯世帯（親と子と孫の世帯） | 5. その他（1～4以外） | |

F 6 あなたは、尼崎市にお住まいになって通算して何年くらいになりますか。

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～3年未満 | 3. 3～5年未満 |
| 4. 5～10年未満 | 5. 10～15年未満 | 6. 15～20年未満 |
| 7. 20年以上 | | |

F 7 あなたはどこにお住まいですか。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 中央地区 | 2. 小田地区 | 3. 大庄地区 |
| 4. 立花地区 | 5. 武庫地区 | 6. 園田地区 |

この調査のなかで、「子ども」とは児童福祉法で定められた「18歳未満の者」すべてをいいます。

お子さんがいる方、お子さんがいない方ともに、「尼崎の子ども」に関して、あなたご自身の考え方などについてお答えください。

子どもを取り巻く環境について

問1 今の子どもたちには、健やかに育つ環境が整えられていると思いますか。(は1つ)

- | | | |
|------------------|----------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかというそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかというそう思わない | 5. そう思わない | |

問2 子どもの健やかな育ちに、良くない影響を及ぼすと思われることは何ですか。(は5つまで)

- | |
|---|
| 1. 家族とふれあう時間が少ない |
| 2. しつけや教育ができない親が増えている |
| 3. 大人の規範意識が低下している |
| 4. 他人の子どもに無関心な大人が増えている |
| 5. 自然体験や、スポーツ活動など体験や活動が少ない |
| 6. 子ども同士で遊ぶ機会が少ない |
| 7. 近所の大人など、多世代の人とふれあう機会が少ない |
| 8. テレビ、インターネット、雑誌などで子どもにとって有害な情報があふれている |
| 9. 近所に、繁華街や大人を対象とした娯楽施設などがある |
| 10. 勉強や習い事に追われ、時間や心にゆとりがない |
| 11. 子どもが安心して過ごすことができる場所が少ない |
| 12. その他() |

子どもの成長に関することについて

問3 子どもたちが、将来、どのような大人になることを望みますか。(は5つまで)

1. 個性が豊かな人	2. 向上心・チャレンジ精神のある人
3. 独創性や創造性のある人	4. 困難を乗り越える力のある人
5. 健康な人	6. 社会のルールやマナーを守る人
7. 責任感のある人	8. より良い人間関係が築ける人
9. 他人を思いやれる人	10. リーダーシップのとれる人
11. その他()	
12. 特にない	

問4 問3で選んだような大人になるには、子どもたちにとって何が必要だと思いますか。

(は5つまで)

1. 勉強すること	2. 親の言うことを聞くこと
3. 将来の夢をもつこと	4. 生活習慣を身につけること
5. たくさんの友だちとふれあうこと	6. 意見を聞いてもらうこと
7. いろいろな体験をすること	8. 自己決定をすること
9. 遊ぶこと	10. 周囲の大人から愛されて育つこと
11. 個性が尊重されること	12. 有益な情報にふれること
13. その他()	
14. 特にない	

問5 子どもたちが健やかに成長するために、大切だと思われる体験や活動は何だと思いますか。

(は3つまで)

1. 自然体験をする	2. 違う年齢の子ども同士で交流をする
3. ボランティア活動に参加する	4. 高齢者とふれあう活動に参加する
5. 就労体験をする	6. 地域の人々と祭りや行事で交流をする
7. スポーツ・文化・芸術活動に参加する	8. 育児体験をする
9. その他()	
10. 特にない	

問6 以下の項目に関して、どのように対応することがよいと思いますか。

((1) ~ (11) それぞれ1つずつ)

	子どもの考えを 中心に決める	子どもと 話し合っ て決める	大人の考えを 中心に決める
(1) 服装や髪型などのファッション	1	2	3
(2) 家の食事のメニュー	1	2	3
(3) 習い事	1	2	3
(4) 塾へ行くこと	1	2	3
(5) 家に帰る時間(門限)	1	2	3
(6) 見たいテレビ	1	2	3
(7) ゲームをする時間	1	2	3
(8) 進学や進路	1	2	3
(9) つきあう友だち	1	2	3
(10) クラブ活動	1	2	3
(11) お小遣いの額	1	2	3

問7 子どもたちが不安や悩みを抱えている場合、周囲に相談できる人はいると思いますか。

(は1つ)

1. いると思う	2. いないと思う	3. わからない
----------	-----------	----------

問7-1 問7で「1. いると思う」と回答された方にお聞きします。それは誰だと思いますか。

(は5つまで)

1. 父親	2. 母親	3. 祖父母
4. 兄弟姉妹	5. 親せき	6. 友だち・先輩
7. 担任の先生	8. 保健室の先生	9. 担任以外の先生
10. スクールカウンセラー	11. こどもクラブ・図書館などの職員	
12. 塾・習い事の先生	13. 地域の知り合いの人	
14. その他()		

家庭や地域における子どもの育ちについて

問8 「家庭において、親が子どもにしつけをしたり、教育をしたりする力が低下している」という見方がありますが、このような見方についてどう思いますか。(は1つ)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかというと思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかというと思わない |
| 5. そう思わない | |

問8 - 1 問8で「1. そう思う」「2. どちらかというと思う」と回答された方にお聞きします。その主な理由は何だと思えますか。(は5つまで)

- | |
|---|
| 1. しつけや教育に無関心な親が増えた |
| 2. しつけや教育に自信をもてない親が増えた |
| 3. 過保護、過干渉、放任など、かかわり方が不適切な親が増えた |
| 4. 親が、しつけや教育について、相談できる相手が少ない |
| 5. 親子がふれあい、一緒に行動する機会が少ない |
| 6. 家庭のなかで、個人主義化が進んだ |
| 7. 学校や塾などに、しつけや教育をまかせている |
| 8. 子どもに、いろいろな体験(生活体験など)をさせる機会が少ない |
| 9. 子どもを、親以外の大人(祖父母、近所の人など)とふれあわせる機会が少ない |
| 10. その他() |

問9 「「地域の大人が地域の子どもの育てる力」が低下している」という見方がありますが、このような見方についてどう思いますか。(は1つ)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかというと思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかというと思わない |
| 5. そう思わない | |

問9 - 1 問9で「1. そう思う」「2. どちらかというと思う」と回答された方にお聞きします。
その主な理由は何だと思えますか。(は5つまで)

1. 地域に、子どもの模範となる大人が減った
2. 地域の大人が、他人の子どもをほめたり、注意しなくなった
3. 子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などをする機会が減った
4. 家族同士の交流など、近所づきあいが減った
5. 地域での活動や行事などに無関心な大人が増えた
6. 地域の子どもの無関心な大人が増えた
7. 他人から干渉を受けたくない家庭が増えた
8. 地域での活動や行事などが減った
9. 子どもが参加する活動などの指導者が減った
10. その他()

問10 ふだん、地域の子どものように接していますか。(はいいくつでも)

1. 出会ったときは、あいさつをする
2. 出会ったときは、声をかけたり、話をする
3. 悪いことをしているところを見たときは、注意する
4. 良いことをしているところを見たときは、ほめる
5. 子どもが困ったときや悩んでいるときに相談にのっている
6. 子ども会などの地域活動や、スポーツ活動などを一緒にしている
7. 地域の子どものとはかかわりはない
8. その他()

問10 - 1 問10で「7. 地域の子どものとはかかわりはない」と回答された方にお聞きします。それはなぜですか。(はいいくつでも)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 近所に子どもがいない | 2. 忙しくて時間がない |
| 3. 子どもの方が自分に関心がないと思う | 4. かかわるのが面倒である |
| 5. かかわる機会や方法がわからない | 6. おせっかいと思われる |
| 7. 近所の人に不審に思われる | 8. かかわろうとしても相手にされない |
| 9. 子どもが好きではない | 10. その他() |

問 11 子どもの非行や犯罪が起きる主な理由は何だと思えますか。(は5つまで)

- 1 . 家庭でのしつけや教育力が低下している
- 2 . 家庭の教育方針が学力向上にかたよっている
- 3 . 親子のふれあいが少ない
- 4 . 地域で子どもを育てる力が低下している
- 5 . 本人の意思が弱い
- 6 . 友だちや仲間に誘われる
- 7 . 学校での指導が不十分である
- 8 . 子どもを取り巻く環境のなかに、悪い影響を与えるものが増えている
- 9 . 非行等の防止策が不十分である
- 10 . その他 ()
- 11 . 特にない

子どもの人権について

問 12 子どもの人権に関して、特に問題があると思われることは何ですか。(は3つまで)

- 1 . 親が子どもに、しつけのつもりで暴力をふるう
- 2 . 親が子育てを放棄したり、放任する
- 3 . 子ども同士が、「暴力」や「仲間はずれ」、「無視」などのいじめをしたり、させたりする
- 4 . いじめをしている子どもや、いじめられている子どもを見て見ぬふりをする
- 5 . 学校や就職先の選択などについて、大人が子どもの意見を無視する
- 6 . 親が子どもの手紙や日記、メールなどを勝手に見る
- 7 . 教師が、指導に従わない児童や生徒に体罰を加える
- 8 . 社会のなかに、暴力や性に関する情報があふれている

問 13 子どもの人権について、どのようなイメージをお持ちですか。

((1)~(5)それぞれ1つずつ)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
(1) 子どもが健やかに成長するために保障されるもの	1	2	3	4	5
(2) 大人と同じように当然に認められるもの	1	2	3	4	5
(3) 大人と比べてある程度の制限は仕方がない	1	2	3	4	5
(4) 社会のルールを守る方が大切だ	1	2	3	4	5
(5) 権利ばかり尊重すると、子どもがわがままになる	1	2	3	4	5

問 14 子どもの人権を守るためには、何が必要だと思いますか。(は5つまで)

1. 子どものための相談窓口などを充実する
2. 子どもの人権を守るための教育・啓発活動を進める
3. 体罰禁止を徹底させる
4. 学校の規律を緩やかなものにする
5. 成績だけを重んじる教育のあり方を改める
6. 子どもが独立した人格であることについて、大人が学ぶ
7. 教師の資質を高める
8. 夫婦関係など、家庭内の人間関係を安定させる
9. 子どもに、他人への思いやりを教える
10. 子どもの個性を尊重する
11. 子どもに豊かな体験をさせ、たくましく生きるための力を身につけさせる
12. いじめや非行、虐待の予防策や早期発見の充実に努める
13. その他()
14. 特にない

問 15 日本が、平成6年に批准した「児童の権利に関する条約」を知っていますか。(は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 詳しく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 聞いたことはあるが内容は知らない | 4. 聞いたことがない |

子どもの健やかな育ちや地域社会のあり方について

問 16 地域社会のなかで、子どもたちの健やかな育ちを支えていくには、家庭、地域の大人、保育所(園)・幼稚園・学校、行政が、今後、さらに連携を深めていくことが重要になります。こうした連携を深めながらも、子どもたちの育成に関する以下のことで、主に役割を担うところは、どこだと思いますか。((1) ~ (14) それぞれ は2つまで)

	家 庭	地 域 の 大 人	幼 稚 園 ・ 学 校 ・ 保 育 所 (園)	行 政
(1) しつけ、マナーを教える	1	2	3	4
(2) 健康なからだや健全な心を育てる	1	2	3	4
(3) 悩みや相談ごとに対応する	1	2	3	4
(4) 人格や人生観を形成する	1	2	3	4
(5) 様々な危険から子どもを守る	1	2	3	4
(6) 自然体験や社会体験の場を提供する	1	2	3	4
(7) 非行防止に取り組む	1	2	3	4
(8) 集団生活における社会性を育てる	1	2	3	4
(9) 社会に貢献する心を育てる	1	2	3	4
(10) 自ら考え、行動する力を育てる	1	2	3	4
(11) 子どもの模範となるように努める	1	2	3	4
(12) 子どもの育成に関する活動などを行う	1	2	3	4
(13) 子どもの育成に関する活動などを支援する	1	2	3	4
(14) 子どもを豊かに育てるための環境づくりを行う	1	2	3	4

問 17 本市では、尼崎の子どもたちの健やかな育ちや、地域社会のあり方などに関して検討を進めています。このことについて、どのように思いますか。(は1つ)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1 . 良いことだと思う | 2 . どちらかというの良いことだと思う |
| 3 . どちらでもいい | 4 . どちらかというの良いことだと思わない |
| 5 . 良いことだと思わない | 6 . わからない |

最後に、子どもの健やかな育ちに関することや、地域社会のあり方などに関して、ご意見があれば、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。ご回答もれがないかご確認のうえ、同封の封筒（切手不要）に入れて7月31日（月）までにポストにお入れください。

尼崎市 子どもの健やかな育ちに関する市民意識調査報告書

平成 18 年 11 月

編集・発行

尼崎市子どもに関する条例等検討調整会議（事務局 健康福祉局児童福祉部児童企画課）

〒660 - 8501 尼崎市東七松町 1 丁目 23 番 1 号

電話 06-6489-6341 FAX 06-6489-6373

E-mail ama-jidoukikaku@city.amagasaki.hyogo.jp

調査・分析

株式会社 関西計画技術研究所